brother

MFC-J6910CDW ユーザーズガイド －基本編－

ユーザーズガイドCD-ROM

付属のユーザーズガイドCD-ROMには、下記のユーザーズガイドが収録されています。あわせてご覧ください。

・ユーザーズガイド　応用編
・ユーザーズガイド　パソコン活用編
・ユーザーズガイド　ネットワーク知識編
・ユーザーズガイド　ネットワーク操作編

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 第6章「こんなときは」で調べる 89ページ

2

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

第1章 ご使用の前に

第2章 ファクス

第3章 電話帳

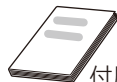
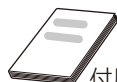
第4章 コピー

第5章 フォトメディアキャプチャ

第6章 こんなときは

付録（索引）

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Version B JPN

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子）

本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。

2. かんたん設置ガイド（冊子）

お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子）

本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。

付属

4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式）

基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。

5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式）

本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。

6. ユーザーズガイド ネットワーク知識編（PDF 形式）

本製品のネットワークの特長に関する基礎的な情報を記載しています。

7. ユーザーズガイド ネットワーク操作編（PDF 形式）

本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。

ユーザーズマニュアル CD-ROM の見かた ⇒ 139 ページ

■ 便利にお使いください

画面で見るマニュアル（HTML 形式）

上記のうち、3 〜 7 のユーザーズガイドを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。

上記はすべて、最新版がサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からもダウンロードできます。http://solutions.brother.co.jp/

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、⇒ 141 ページ「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

目次

ユーザーズガイドの構成
最新のドライバーやファームウェア
（本体ソフトウェア）を入手するときは？
目次 1
本書のみかた 5
編集ならびに出版における通告 5

使ってみよう ＜基本編＞ 6

ファクスを送る 6
ファクスを受ける 7
コピーする 8
写真や動画をプリントする 9
プリンターとして使う 11
Windows® の場合 11
Macintosh の場合 11
はがき（年賀状）に印刷する 12
スキャンする 14
こんなこともできます 15

第 1 章　ご使用の前に 17

かならずお読みください

各部の名称とはたらき 18
外観図 18
操作パネル 20
待ち受け画面 21
タッチパネル 22
電源ボタン 23
はじめに設定する 24
回線種別を設定する 24
日付と時刻を設定する 25
送信したファクスに印刷される自分の名前と
番号を登録する 26
受信モードを選ぶ 27
受信モードを設定する 29
着信音の回数を設定する 30
音量を設定する 31
記録紙のセット 32
使用できる記録紙 33
専用紙・推奨紙 34
記録紙の印刷範囲 35
トレイの種類 35
記録紙トレイ 1 にセットする 36
記録紙トレイ 2 にセットする 40
手差しトレイにセットする 43
記録紙トレイの設定をする 45
A3/B4 横目あんしん給紙 47
原稿のセット 48
ADF にセットできる原稿 48
原稿の読み取り範囲 48
原稿をセットする 49

第 2 章　ファクス 51

基本

ファクスを送る 52
ADF からファクスを送る 52
原稿台ガラスからファクスを送る
（1 枚のとき） 53
原稿台ガラスからファクスを送る
（2 枚以上のとき） 54
ファクスを受ける 55
自動的に受ける 55
電話に出てから受ける 55
電話に出ると自動的に受ける （親切受信） 56
ファクスの見かた 57
受信したファクスを画面で見る
（みるだけ受信） / 印刷する 57
ファクスを自動的に印刷する
（みるだけ受信を解除する） 59
ファクスの便利な受けかた 61
ファクスをメモリーで受信する 61
メモリー受信したファクスを印刷する 61
ファクスをメモリーから消去する 62

通信管理

通信状態を確かめる 63
送信待ちファクスを確認・解除する 63

第 3 章　電話帳 65

電話帳

電話帳を利用する 66
ワンタッチダイヤルに登録する 66
電話帳に登録する 68

第 4 章　コピー 71

基本

コピーに関するご注意 72
コピーする 73
1 部コピーする 73
複数部コピーする 73

第 5 章　フォトメディアキャプチャ ...75

デジカメプリント

写真や動画をプリントする前に 76

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする 77

動画プリント 79

写真や動画をプリントする 80

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする 80

PictBridge

デジタルカメラから直接プリントする 82

PictBridge とは 82

デジタルカメラで行う設定 82

写真をプリントする 83

スキャン to メディア

スキャンしたデータを保存する 84

スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する 84

第 6 章　こんなときは 89

日常のお手入れ

本製品が汚れたら 90

タッチパネルを清掃する 90

本製品の外側を清掃する 90

スキャナー（読み取り部）を清掃する 91

給紙ローラーを清掃する 92

排紙ローラーを清掃する 94

本体内部を清掃する 95

インクがなくなったときは 96

インクカートリッジを交換する 97

インク残量を確認する 99

印刷が汚いときは 100

定期メンテナンス 100

プリントヘッドをクリーニングする 100

記録紙のうら面が汚れるときは 101

印刷テストを行う 102

困ったときは

紙が詰まったときは 104

記録紙が詰まったときは 104

ADF に原稿が詰まったときは 108

紙片が本体内部に詰まったときは 109

エラーメッセージ 110

エラーが発生したときのファクスの転送方法 117

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に） 118

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に） 132

修理について 132

通信がうまくいかないときに回線環境を改善する 133

特別な回線に合わせて設定する 133

安心通信モードに設定する 133

ダイヤルトーン検出の設定をする 134

ナンバープレフィックスを設定する 135

初期状態に戻す 136

機能設定を元に戻す 136

ネットワーク設定を元に戻す 136

電話帳・履歴・メモリーを消去する 137

すべての設定を元に戻す 138

こんなときは 139

ユーザーズガイド CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは 139

インターネット上のサポートの案内を見るときは 140

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは 141

停電になったときは 142

本製品のシリアルナンバーを確認する 143

本製品の設定内容や機能を確認する 143

本製品を輸送するときは 144

本製品を廃棄するときは 145

付録 149

文字の入力方法 150
文字の割り当て 150
機能ボタンの使いかた 151
入力制限（入力できる文字の種類や文字数）...... 151
入力例 151
機能一覧 152
仕様 166
使用環境 169
索引 171
リモコンアクセスカード 177
関連製品のご案内 179
innobella 179
消耗品 179
消耗品などのご注文について 181
インクカートリッジの回収・
リサイクルのご案内 181
アフターサービスのご案内

付属のユーザーズガイド CD-ROM に収録
「ユーザーズガイド 応用編」の目次

第 1 章　お好みで設定する
画面の設定を変更する
ファクスモードに戻る時間を設定する
スリープモードに入る時間を設定する
セキュリティ機能ロックを設定する
ナンバー・ディスプレイサービスを利用する
ネーム・ディスプレイサービスを利用する

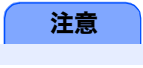
第 2 章　ファクス
ファクスの便利な送りかた
ファクスの便利な受けかた
通信状態を確かめる

第 3 章　電話帳
電話帳を利用する
パソコンを使って電話帳に登録する

第 4 章　転送・リモコン機能
外出先から本製品を操作する
外出先に転送する

第 5 章　コピー
いろいろなコピー

第 6 章　フォトメディアキャプチャ
写真や動画をプリントする
いろいろなプリント方法

付録
用語解説
索引

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
➡	参照先を記載しています。

注意

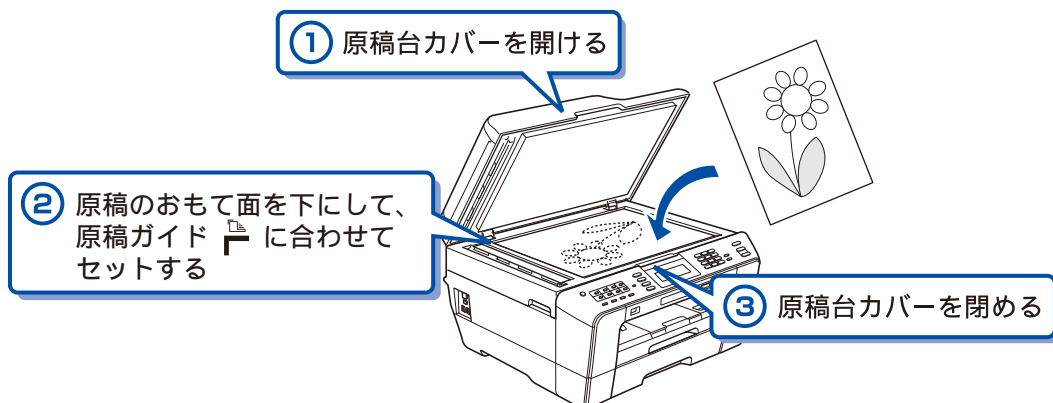
■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

編集ならびに出版における通告

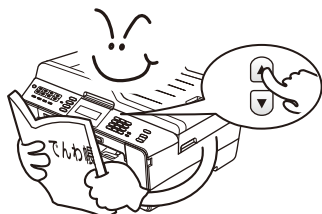
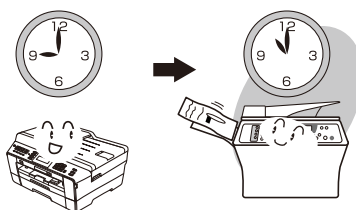
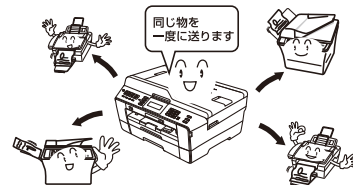
本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

ファクスを送る

ファクスを送ります。

1 原稿をセットする

2 ファクス を押して、操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号を入力する

3 モノクロで送る場合は、モノクロ スタート を、カラーで送る場合は、スタート カラー を押す

ファクスが送られます。

ファクスを受ける

「みるだけ受信」を設定すると、画面でファクスを確認できます。
「みるだけ受信」では、受信したファクスはメモリーに保存され、自動的に印刷されません。内容を確認してから印刷したり、印刷せずに消したりできます。

1 みるだけ受信を設定する

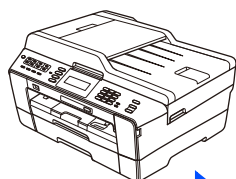
⇒ 57 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

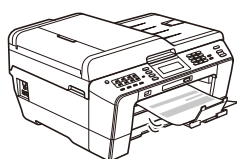
2 画面に【新着ファクス：XX】と表示されたら、みるだけ受信 を押す

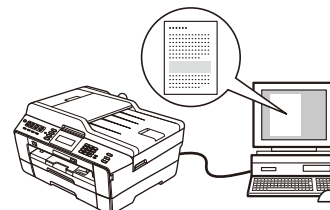
3 確認したいファクスを選ぶ

ファクスの内容が表示されます。

こんなこともできます

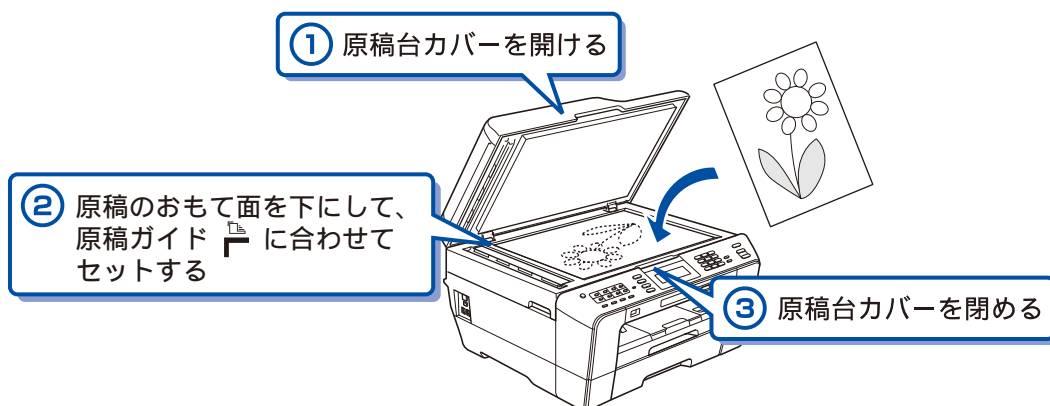
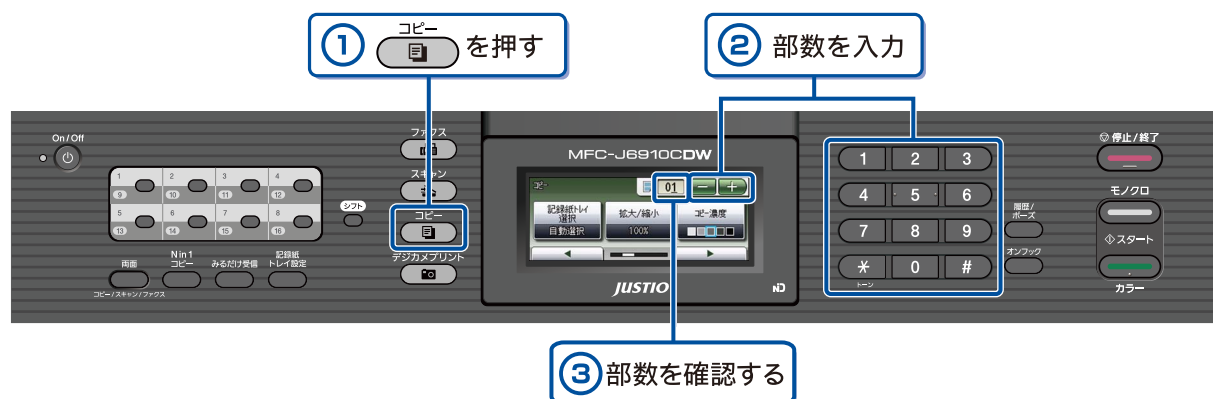
●着信音を鳴らさずにファクスを受ける

27 ページ

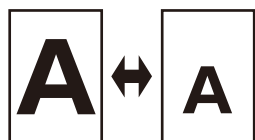
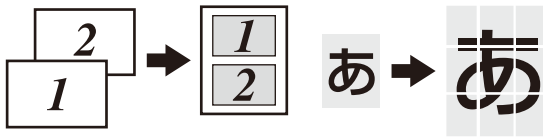
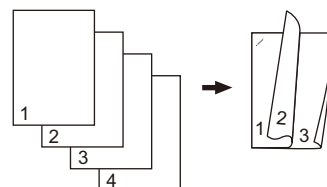
●ファクスを受信後、自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）

59 ページ

●パソコンに転送する

応用編（CD-ROM）

コピーする

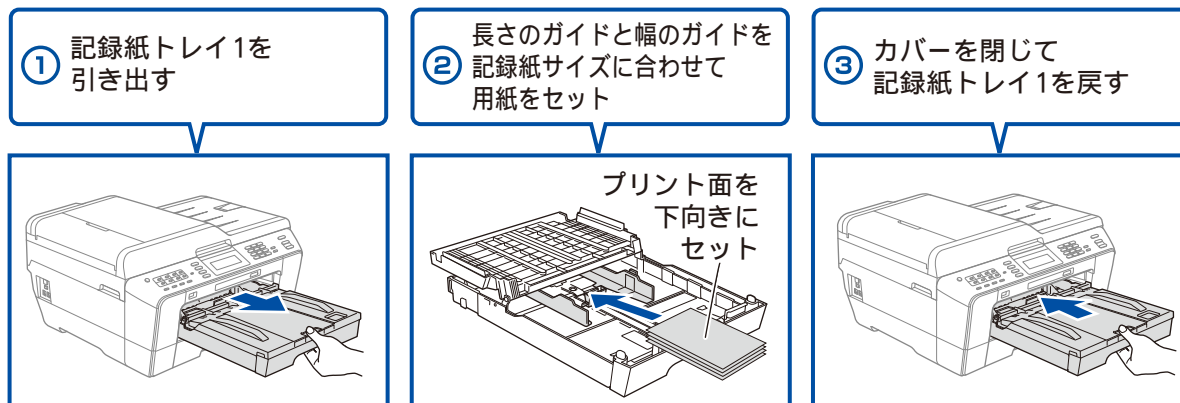
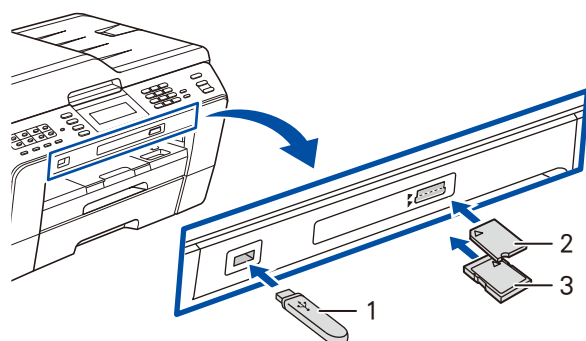
モノクロ / カラーでコピーします。

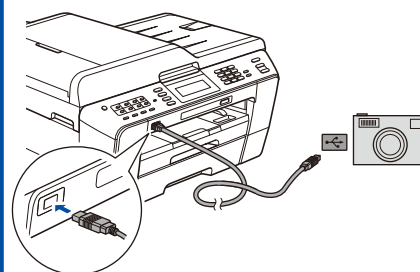
1 原稿をセットする

2 コピー を押し、操作パネルのダイヤルボタンまたは − / + で部数を入力する

3 モノクロでコピーする場合は、モノクロスタート を、カラーでコピーする場合は、カラースタート を押す

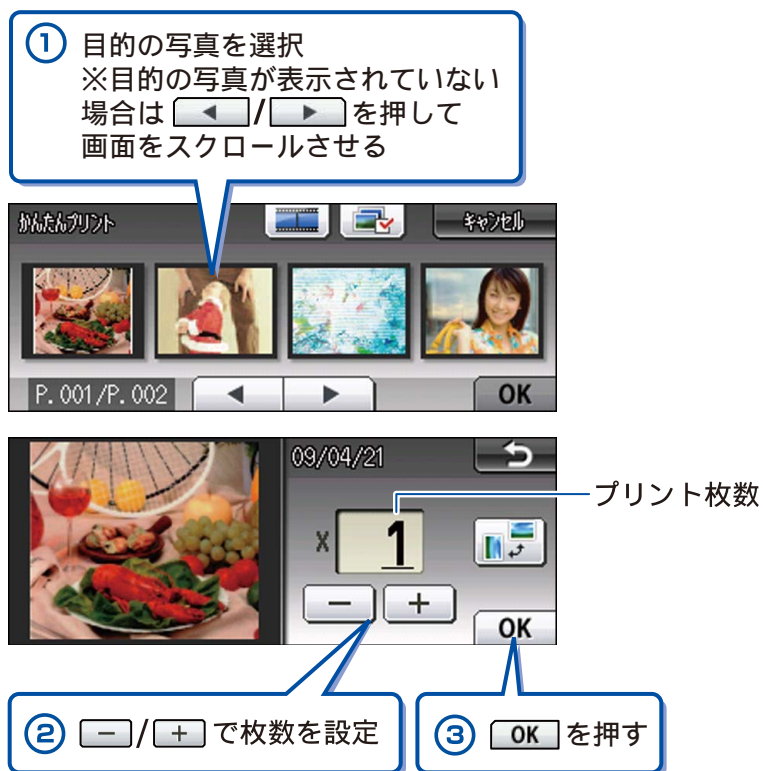
コピーが開始されます。

写真や動画をプリントする

メモリーカードや USB フラッシュメモリーなどメディアに保存された写真や、動画の画像をプリントします。動画は、本製品で自動的に 9 分割された画像を 1 枚の記録紙にプリントします。

1 記録紙を、記録紙トレイ 1 にセットする

※L 判の記録紙をセットする場合を説明しています。

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを入れる

1. USBフラッシュメモリー
2. メモリースティック™、メモリースティック PRO™、
   メモリースティック デュオ™、
   メモリースティック PRO デュオ™
3. SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、マルチメディアカード、マルチメディアカード plus

※ miniSDカード/microSDカード/miniSDHCカード/microSDHCカード/
メモリースティック マイクロ™ (M2™) /マルチメディアカード mobileも使用できます。
本製品にセットするときはアダプターが必要です。

3 【かんたんプリント】を選ぶ

4 プリントする画像と枚数を設定する

※複数の写真をプリントするには、①②③を繰り返します。
※動画は、ファイルを 9 分割して、それぞれ最初のシーンが縦 3 ×横 3 に配置されます。

5 OK を押す

6 モノクロスタート または カラースタート を押してプリントする

選択した画像がカラーでプリントされます。

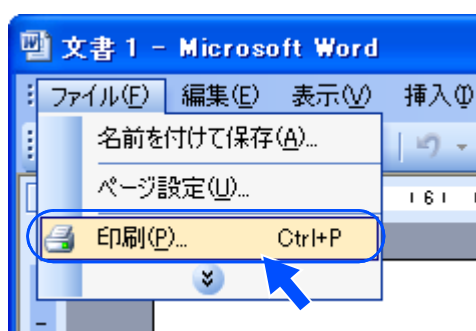
プリンターとして使う

本製品とパソコンを接続して、パソコンから印刷できます。

注意

■ パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

Windows® の場合

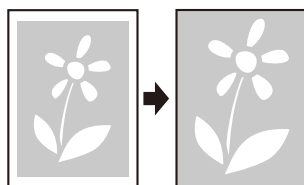
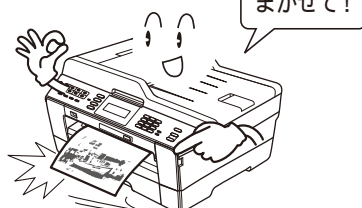
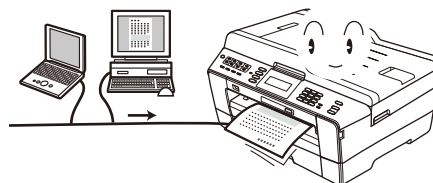
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

2 ［印刷］ダイアログボックスで、本製品を選び、［OK］をクリックする

Macintosh の場合

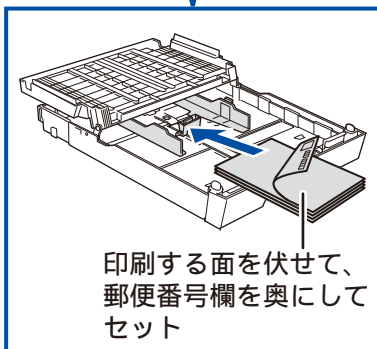
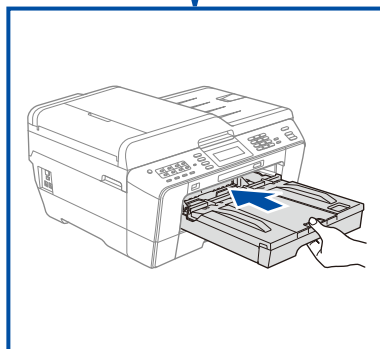
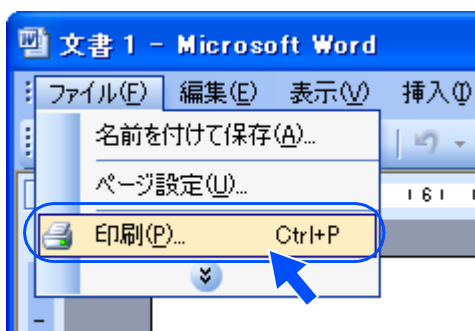
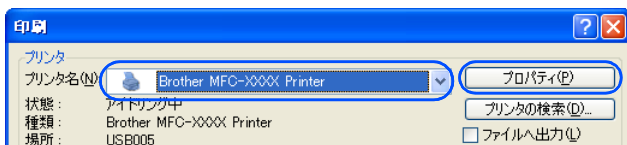
1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

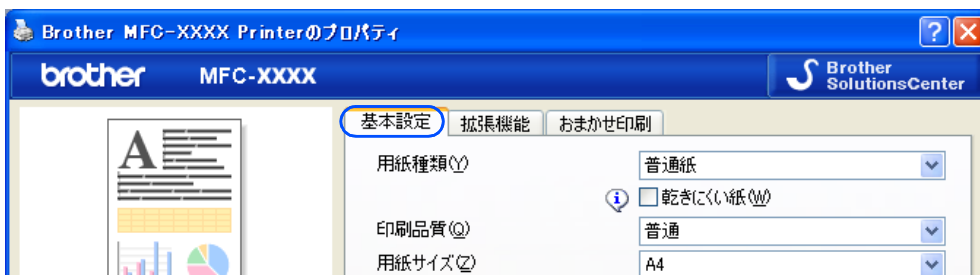
2 ［対象プリンタ］で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする

3 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

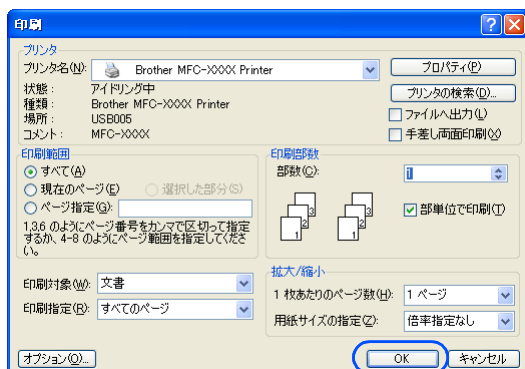
4 ［プリント］をクリックする

はがき（年賀状）に印刷する

操作方法は、お使いの OS やアプリケーションソフトによって異なります。

1 はがきを記録紙トレイ 1 にセットする

2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

3 ［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする

［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［基本設定］タブをクリックする

5 ［用紙種類］と［用紙サイズ］を設定し、［OK］をクリックする

例：インクジェット紙のはがきに印刷する場合
［用紙種類］を［インクジェット紙］に設定します。
［用紙サイズ］を［ハガキ］に設定します。

6 ［OK］をクリックする

印刷が始まります。

注意

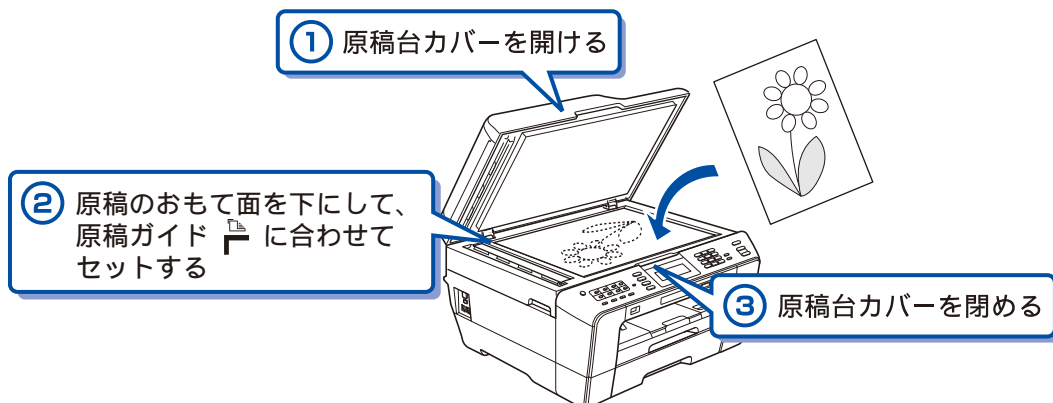
■ 印刷後、はがき・L 判以外のサイズの記録紙に入れかえるときは、プリンタードライバーの［用紙種類］および［用紙サイズ］を設定し直してください。

スキャンする

本製品でスキャンしたデータをパソコンに送ります。

注意

■ パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【イメージ：PC 表示】を選ぶ

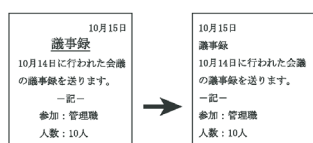
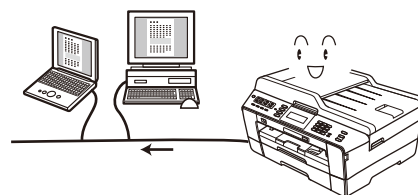
パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 に進んでください。

4 （ネットワークに接続されている場合）スキャンした画像を保存するパソコンを選び、OK を押す

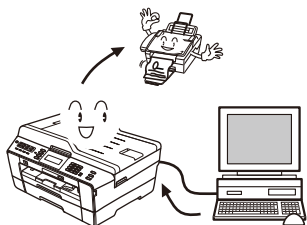
表示されている中から希望のパソコンを選びます。

5 モノクロスタート または カラースタート を押す

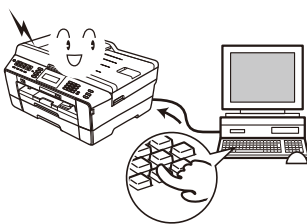
スキャンが開始されます。

こんなこともできます

こんなこともできます

● パソコンからファクスを送る
（PC-FAX 送信）

パソコンで作成した書類を、本製品の電話回線を利用して直接ファクスできます。印刷する必要がありません。

パソコン活用編（CD-ROM）

● 本製品の設定をパソコンから変更する

パソコンで電話帳を編集したり、本製品の設定を変更できます。

パソコン活用編（CD-ROM）

● スキャナー、フォトメディアキャプチャなどを簡単に起動する
［ControlCenter］

スキャナーやフォトメディアキャプチャ機能などを簡単に起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。

パソコン活用編（CD-ROM）

● メモリーカードやUSBフラッシュメモリーをリムーバブルディスクとして利用する

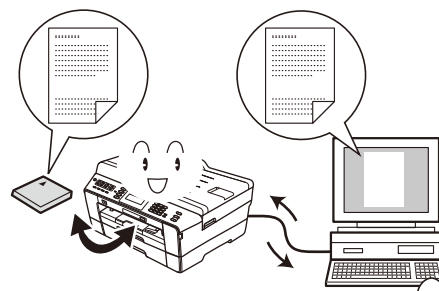
本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。

※リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter をご利用ください。

Windows® の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」

Macintosh の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」

パソコン活用編（CD-ROM）

● 写真をプリント / 加工する
［FaceFilter Studio］

写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したりできます。赤目の修正や表情を変化させたりすることもできます。
（Windows® のみ）

パソコン活用編（CD-ROM）

その他の機能については、「ユーザーズガイド 応用編」、「ユーザーズガイド パソコン活用編」および「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

第 1 章

ご使用の前に

かならずお読みください

各部の名称とはたらき 18
外観図 18
操作パネル 20
待ち受け画面 21
タッチパネル 22
操作例 22
電源ボタン 23
電源をオフにする 23
電源をオンにする 23

はじめに設定する 24
回線種別を設定する 24
日付と時刻を設定する 25
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 26

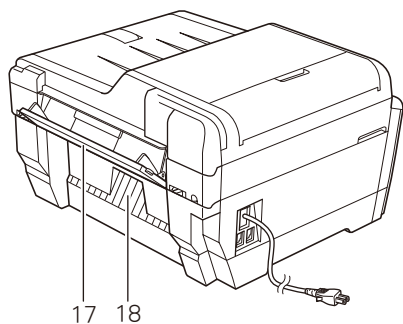
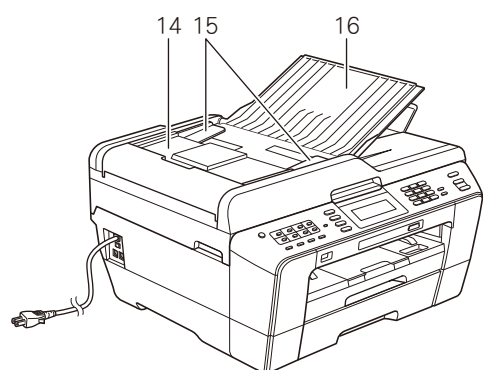
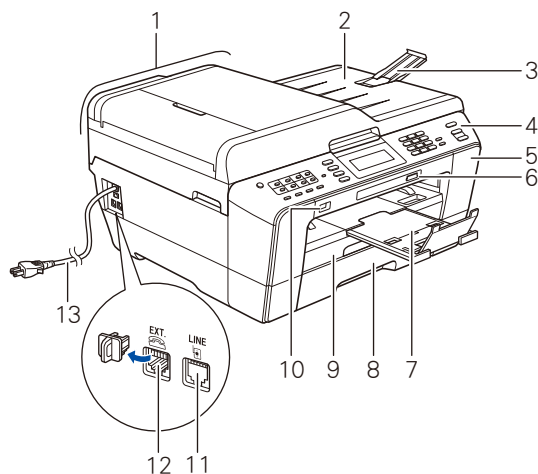
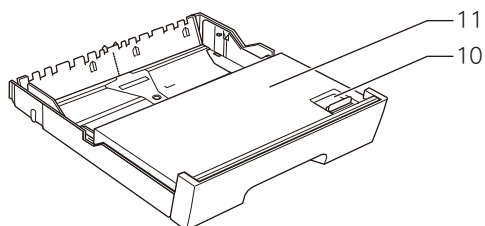
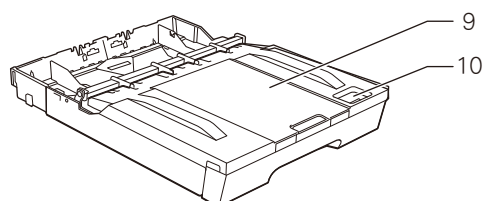
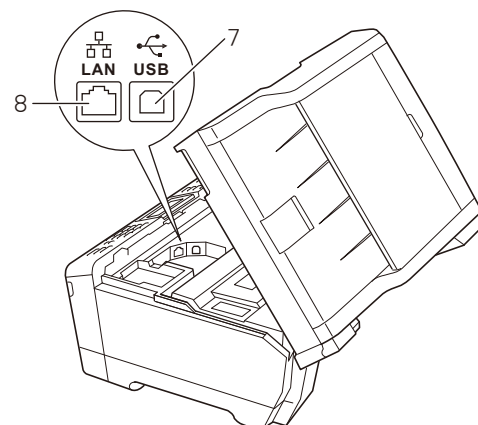
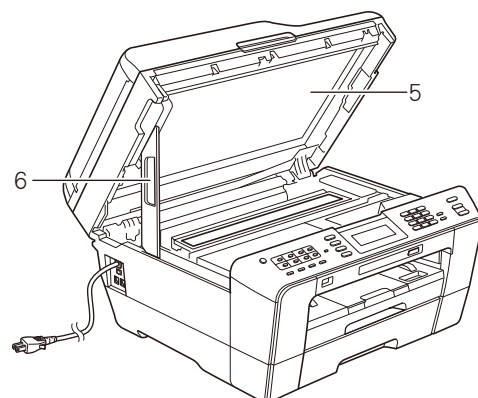
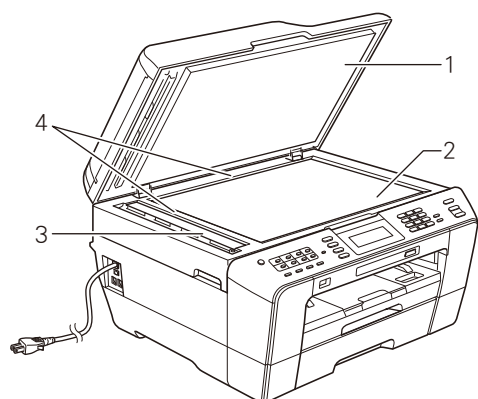
受信モードを選ぶ 27
受信モードを設定する 29
着信音の回数を設定する 30
呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する） 30
再呼出回数を設定する 30

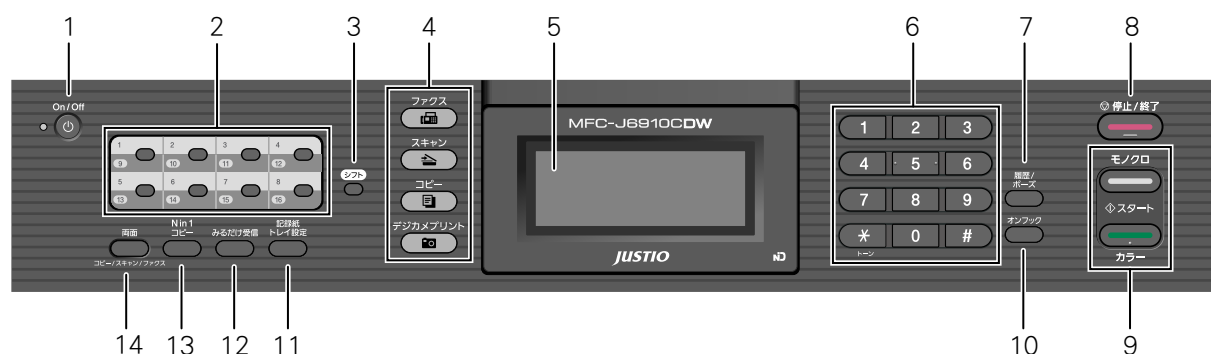
音量を設定する 31

記録紙のセット 32
使用できる記録紙 33
専用紙・推奨紙 34
記録紙の印刷範囲 35
トレイの種類 35
記録紙トレイ 1 35
記録紙トレイ 2 35
手差しトレイ 35
記録紙トレイ 1 にセットする 36
記録紙トレイ 2 にセットする 40
手差しトレイにセットする 43
記録紙トレイの設定をする 45
記録紙トレイ 1 の記録紙サイズと種類を設定する 45
記録紙トレイ 2 の記録紙サイズを設定する 45
コピーのときに使うトレイを選択する 46
ファクスのときに使うトレイを選択する 46
A3/B4 横目あんしん給紙 47

原稿のセット 48
ADF にセットできる原稿 48
ADF に原稿をセットする場合の注意事項 48
原稿の読み取り範囲 48
原稿をセットする 49
原稿台ガラスに原稿をセットする 49
ADF に原稿をセットする 49

各部の名称とはたらき かならずお読みください

外観図

1	ADF（自動原稿送り装置）
2	原稿台カバー
3	ADF 原稿ストッパー
4	操作パネル
5	インクカバー（インク挿入口）
6	カードスロット
7	記録紙ストッパー
8	記録紙トレイ 2
9	記録紙トレイ 1
10	PictBridge ケーブル差し込み口 / USB フラッシュメモリー差し込み口
11	回線接続端子
12	外付け電話端子 お手持ちの電話を外付け電話端子にモジュラーケーブルでつないでお使いください。ただし、ファクス付き電話は使用できません。
13	AC 電源コード
14	ADF カバー
15	ADF ガイド
16	ADF 原稿トレイ
17	手差しトレイ
18	紙づまり解除カバー

1	原稿台カバー
2	原稿台ガラス
3	スキャナー（ADF 読み取り部）
4	原稿ガイド
5	本体カバー
6	本体カバーサポート
7	USB ケーブル差し込み口
8	LAN ケーブル差し込み口
9	記録紙トレイ 1
10	リリースボタン
11	記録紙トレイ 2

操作パネル

1	電源ボタン	電源をオン / オフするときに押します。 ⇒ 23 ページ「電源ボタン」 電源をオフにした場合でも、定期的にヘッドクリーニングを行います。
2	ワンタッチボタン	ワンタッチダイヤルの登録、発信で使用します。外付け電話端子にお手持ちの電話機が接続されていれば、本製品でのファクス送信に限らず、電話機のワンタッチダイヤルとしても機能します。
3	シフトボタン	ワンタッチダイヤルの 9 ～ 16 を登録またはダイヤルするときに、シフトボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。
4	モードボタン	ファクス / スキャン / コピー/ デジカメプリントの各モードに切り替えます。 点灯しているボタンが、現在選択されているモードです。
5	タッチパネル	各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。 画面に直接タッチして各設定を行います。 ⇒ 21 ページ「待ち受け画面」 ⇒ 22 ページ「タッチパネル」
6	ダイヤルボタン	ダイヤルするとき、コピー部数を入力するときに押します。
7	履歴 / ポーズボタン	発信履歴、着信履歴（ナンバー・ディスプレイサービス契約時のみ表示可能）を表示させるときに押します。履歴から直接電話帳に登録したり、ファクス送信したりできます。 ダイヤル中は、ポーズを入力するときに押します。
8	停止 / 終了ボタン	操作を中止するときや設定を終了するときに押します。
9	モノクロ/カラースタートボタン	ファクス、コピー、デジカメプリントまたはスキャンをスタートするときに押します。
10	オンフックボタン	電話回線を接続 / 切断するときに押します。 電話回線の種別設定や発信テストなどで使用します。
11	記録紙トレイ設定ボタン	記録紙トレイの設定をするときに押します。 ⇒ 45 ページ「記録紙トレイの設定をする」
12	みるだけ受信ボタン	みるだけ受信を設定するときに押します。 また、みるだけ受信が設定されているときは、受信したファクスの内容を確認するときに押します。
13	Nin1 コピーボタン	レイアウトコピーをするときに押します。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「レイアウトコピーする」
14	両面コピー / スキャン / ファクスボタン	両面コピーをするとき、両面原稿をファクス送信またはスキャンするときに押します。 ⇒ 84 ページ「スキャンしたデータを保存する」 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「両面原稿を送る」 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「両面コピーする」

待ち受け画面

現在の状態やメッセージが表示されます。通常は、以下のように「待ち受け画面」が表示され、現在の日時やインク残量などを確認でき、【メニュー】や【ファクス確認】などよく使用するボタンが並んでいます。

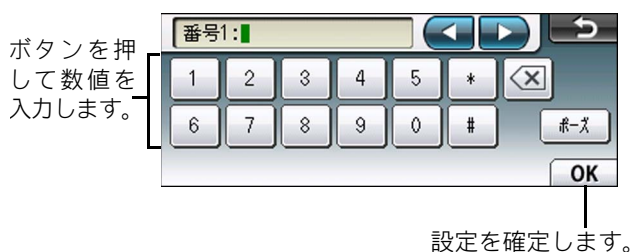
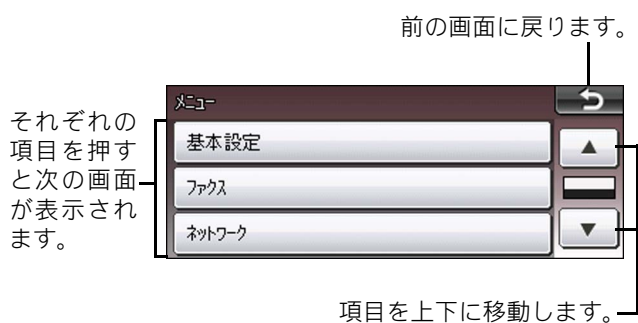
1	日時表示		現在の日時および曜日を表示します。
2	エラー表示		エラーまたは保守メッセージがあるときに表示されます。表示されたこのマークを押すと本製品の現在の状態や、保守手順を表示します。 ⇒ 110 ページ「エラーメッセージ」の手順に従って操作、保守を行ってください。 を押すと待ち受け画面に戻ります。
3	履歴ボタン		発信履歴、着信履歴（ナンバー・ディスプレイサービス契約時のみ表示可能）を表示させるときに押します。履歴から直接電話帳に登録することもできます。
4	電話帳ボタン		登録されている宛て先やワンタッチダイヤルを表示させたり、検索するときに押します。新たに登録する場合もここから入れます。
5	メモリー残量表示		本製品のメモリー残量を表示します。
6	受信モード表示		現在の受信モードを表示します。 ⇒ 29 ページ「受信モードを設定する」
7	インクボタン / 残量表示		ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの各インクについてそれぞれ残量の目安を表示します。押すとインクに関するメニューを表示します。
8	無線 LAN 電波強度		無線 LAN 接続時に電波強度を 4 段階（ ）で表示します。
9	メニューボタン		メインメニューを表示させるときに押します。
10	ファクス確認ボタン / みるだけ受信ボタン		受信したファクスの内容を確認するときに押します。 みるだけ受信が設定されていないときは、みるだけ受信にするかどうかの設定ができます。
11	保存されている受信ファクス数		メモリーに保存されている受信ファクスの数を表示します。[*1]
12	メッセージ表示		みるだけ受信設定時に新着ファクスの件数を表示します。
			エラーがあることをメッセージでお知らせします。

[*1] 原稿サイズが混在するファクス（A4 と A3 など）を受信した場合は、本製品は 1 件のファクスを複数のファクスとして認識することがあります。その場合は、本製品が認識したファクス件数が表示されます。

タッチパネル

画面に表示された項目やボタンを指で軽く押して使用します。

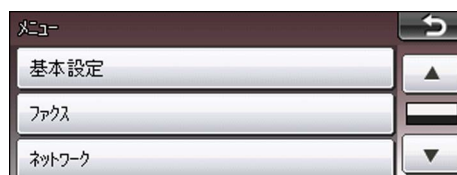
注意

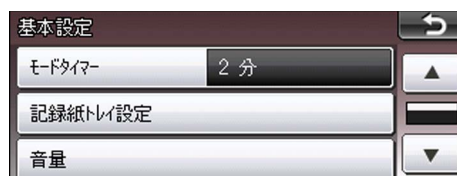
■ タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

操作例

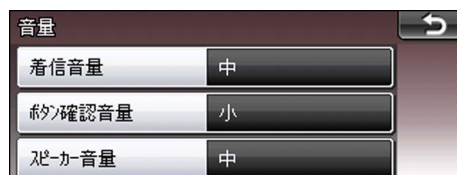
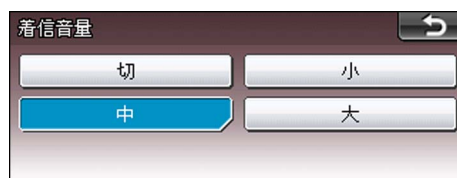
【基本設定】の【音量】の設定方法を例に説明します。

1 【メニュー】を押す

メニュー画面が表示されます。

2 【基本設定】を押す

次の階層が表示されます。

3 【音量】を押す

次の階層が表示されます。

4 【着信音量】を押す

5 目的の音量を押す

着信音量が変更されます。

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

電源ボタン

電源ボタンを押すと、本製品の電源をオン / オフできます。電源をオフにした場合でも、印刷品質を維持するために本製品のヘッドクリーニングを定期的に行います。

本体の電源がオフのときは、電話機コードが接続されていてもファクスは受信できません。電源がオフの場合に使用できない機能は以下のとおりです。

- ファクス
- パソコンからの印刷
- デジカメプリント
- コピー
- スキャン

ヘッドクリーニングの頻度は、ご利用の環境によって異なります。

ヘッドクリーニング時は、全色のヘッドをクリーニングするため、カラーインクも消費します。

電源をオフにする

1 On / Off **を 2 秒以上押す**

画面に【電源をオフにします　オフ後はファクスが使用できなくなります】と表示され、電源がオフになります。

電源をオンにする

1 On / Off **を押す**

電源がオンになります。

はじめに設定する

別冊の「かんたん設置ガイド」に沿って回線種別の設定が既に完了している場合は、次のページにお進みください。引っ越しなどで電話回線の環境に変更があったときは、設定し直してください。

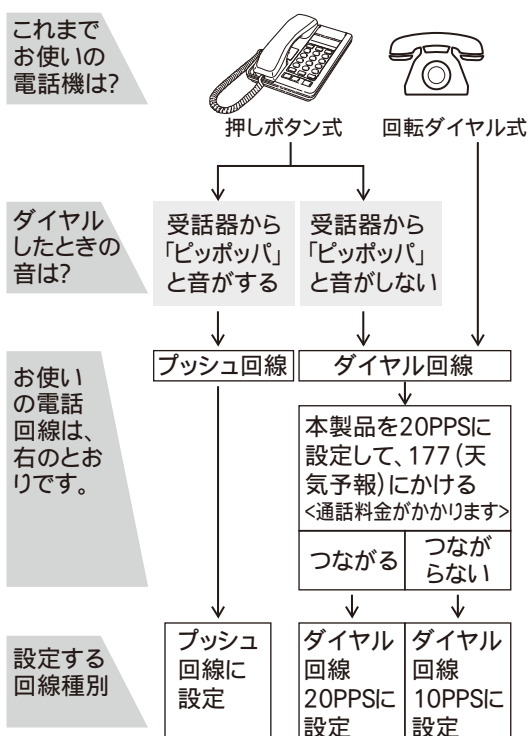
回線種別を設定する

[回線種別設定]

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

1 オンフック を押し「ツー」という音が聞こえることを確認する

- 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。（⇒かんたん設置ガイド）
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。
- 確認したあとは、もう一度 オンフック を押してから手順 2 に進みます。

2 回線種別を確認する

3 【メニュー】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

5 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【回線種別設定】を押す

6 回線種別を選ぶ

> 回線種別がわからないときは、【ダイヤル 20PPS】【プッシュ回線】【ダイヤル10PPS】の順に設定してみてください。
>
> ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

設定が有効になります。

7 停止/終了 を押して設定を終了する

回線種別の手動設定終了後、「177」（天気予報）などにつながることをご確認ください。（通話料金がかかります）

日付と時刻を設定する

［時計セット］

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、ファクスを送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【時計セット】を押す

年の入力画面が表示されます。

4 画面に表示されているテンキーで西暦の下 2 桁を押し、OK を押す

例：2011 年の場合は、1 1 を押します。

> 日付や時刻を間違って入力したときは、⌫ を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで月を 2 桁で押し、OK を押す

例：1 月の場合は、0 1 を押します。

日付の入力画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで日付を 2 桁で押し、OK を押す

例：21 日の場合は、2 1 を押します。

時刻の入力画面が表示されます。

7 画面に表示されているテンキーで時刻を 24 時間制で押し、OK を押す

例：午後 0 時 45 分の場合は、1 2 4 5 を押します。

日付と時刻が設定されます。

8 停止/終了 を押す

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。

> 時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。
>
> 発信元登録をしていない場合は、相手側の記録紙に日時は印刷されません。

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する

［発信元登録］

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。

2011/01/21 15:25 | 052XXXXXXX 山田 太郎 | ページ 01/01

○○○のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【発信元登録】を押す

ファクス番号の入力画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力し、OK を押す

20 桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

> ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

名前の入力画面が表示されます。

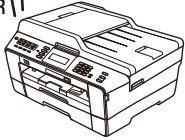
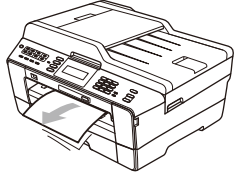
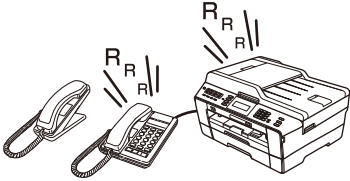
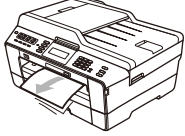
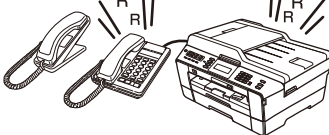
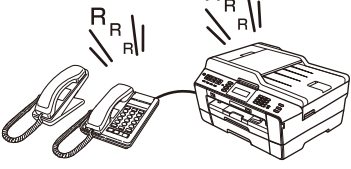
5 名前を入力し、OK を押す

16 文字まで入力できます。

⇒ 150 ページ「文字の入力方法」

設定が有効になります。

6 停止/終了 を押して設定を終了する

発信元登録を削除する

(1) 「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」の手順 3 までを行う

(2) ⌫ を 1 秒以上押してファクス番号を削除し、OK を押す

(3) 停止/終了 を押す

受信モードを選ぶ

お使いの環境にあわせて受信モードを選びます。お買い上げ時は「ファクス専用モード」に設定されています。

電話機を接続しない

お買い上げ時

● ファクス専用【FAX= ファクス専用】

ファクスのとき

※呼出回数を 0 回にすると、着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
⇒ 30 ページ「呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）」

※ファクス専用モードで電話を受けるには、呼出音が 4 回鳴るまでに電話に出る必要があります。**お使いの電話機を本製品に接続する場合は、このモードに設定しないでください。**

電話機を接続する

● 自動で切り換える【F/T= 自動切換え】

※ファクス付き電話は接続できません。

※呼出回数を 0 回にすると、着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
⇒ 30 ページ「呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）」

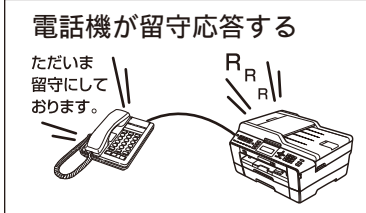
※本製品が着信すると、本製品と接続している電話機に出なかった場合でも相手に通話料金がかかります。

※回線がつながった後に鳴る再呼出音の回数も設定できます。
⇒ 30 ページ「再呼出回数を設定する」

※ファクスが自動受信されない場合は、受話器をとってから 【受信】の順に押して手動でファクスを受信してください。

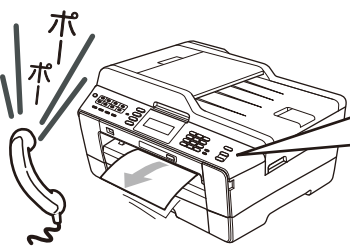
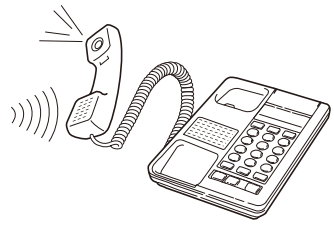
● 手動で切り換える【TEL= 電話】

*1 本製品がファクスモードになっている場合は（ファクス が点灯）、ファクス を押す必要はありません。

電話機を接続する	● 外出するとき【留守＝外付け留守電】 ※ファクス付き電話は接続できません。 ※本製品と接続している留守番電話機の設定は、以下のようにしてください。 • 本製品と接続している留守番電話機の設定は「留守」にしてください。 • より確実に受信するために、呼出回数が設定できる機種では、応答するまでの呼出回数を短め（1 ～ 2 回）に設定してください。 • 応答メッセージは、最初に 4、5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20 秒以内）に録音してください。 • 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。 • 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に取り付けられていることを確認してください。

- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動受信しません。
- 留守番電話機の機能が一部使えなくなる場合があります。（転送機能など）

着信音が鳴っている間に本製品と接続している電話に出た場合

相手がファクスのとき

受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら、相手がファクスです。

  【受信】を押してファクスを受信します。[*1]

※「親切受信」の設定を【する】にしている場合は、7 秒待つと自動的にファクスを受信します。
⇒ 56 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

[*1] 本製品がファクスモードになっている場合は（ファクス が点灯）、ファクス を押す必要はありません。

相手が電話のとき

そのまま通話できます。

受信モードを設定する

［受信モード］

本製品の使用目的に応じて、受信モードを選びます。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【受信モード】を押す

4 受信モードを選ぶ

⇒ 27 ページ「受信モードを選ぶ」

- 【FAX= ファクス専用】
  ファクス専用モードです。
- 【F/T= 自動切換え】
  自動切換モードです。
- 【留守 = 外付け留守電】
  外付け留守電モードです。
- 【TEL= 電話】
  電話モードです。

> 待ち受け画面には、設定した受信モードが表示されます。
>
> 【FAX= ファクス専用】以外を選んだ場合は、必ずお使いの電話機を接続してください。

5 停止/終了を押して設定を終了する

着信音の回数を設定する

【呼出回数 / 再呼出回数】

呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）

「ファクス専用モード」と「自動切換えモード」の場合、本製品が自動受信するまでに鳴る着信音の回数を設定します。

本製品に接続されている電話機も、ここで設定した回数だけ着信音が鳴ります。
お買い上げ時は【4】に設定されています。

【0】に設定すると、着信音を鳴らさずに自動受信します。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【呼出回数】を押す

5 呼出回数を選ぶ

【0 ～ 10】から選びます。

【0】にすると、着信音を鳴らさずに自動受信できます。

目的の呼出回数が表示されていない場合は、◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

- お使いの電話機を接続している場合、本製品の呼出回数を【0】に設定しても、お使いの電話機の着信音が 1 ～ 2 回鳴ることがあります。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品に複数台の電話機を接続すると、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

再呼出回数を設定する

「自動切換えモード」の場合、電話のときは着信音の後に「トゥルートゥルー」という呼出音が鳴ります。この呼出音の鳴る回数を設定します。
お買い上げ時は【8】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【再呼出回数】を押す

5 再呼出回数を選ぶ

【8 ／ 15 ／ 20】から選びます。

6 停止/終了 を押して設定を終了する

- 設定した再呼出回数の間に電話に出なかった場合は、本製品が自動的に電話を切ります。

音量を設定する

本製品の音量を調整します。

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 【音量】を押す

音量調節画面が表示されます。

4 変更したい音量を選ぶ

- 【着信音量】
  着信時のベルの音量を調整します。
- 【ボタン確認音量】
  操作パネル上のボタンを押したときに鳴る確認音の音量を調整します。
- 【スピーカー音量】
  オンフック時の音量を調整します。

5 音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

6 停止/終了を押して設定を終了する

スピーカー音量は、オンフックを押し「ツー」という音が聞こえているときに停止/終了を押して表示される / でも調整できます。
終了するには再度オンフックを押します。

着信音量を【切】に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。
- 本製品が自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルートゥルー」という再呼出音

ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った記録紙を選んでください。また、記録紙をセットしたときは、本製品の「記録紙タイプ」（⇒ 45 ページ「記録紙トレイの設定をする」）またはプリンタードライバーの「用紙種類」の設定を変更してください。（Windows® の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」、Macintosh の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」）
記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷することをお勧めします。

使用できる記録紙

種類	厚さ	サイズ			一度にセットできる枚数		
		コピー	デジカメプリント	プリンター	記録紙トレイ1	記録紙トレイ2	手差しトレイ
普通紙	$64g/m^2$ ～ $105g/m^2$ (0.08mm ～ 0.15mm)	A3 B4 A4 B5 A5	A3 A4	A3 JIS B4 A4 レジャー レター エグゼクティブ JIS B5 A5 A6	250[*1]	250[*1]	1
		—	—	リーガル	250	250	
インクジェット紙	$64g/m^2$ ～ $200g/m^2$ (0.08mm ～ 0.25mm)	A3 B4 A4 B5	A3 A4	A3 JIS B4 A4 レジャー レター エグゼクティブ JIS B5 A5 A6 リーガル L 判 2L 判[*3]	20	—	
光沢紙	$220g/m^2$ 以下 (0.25mm 以下) [*2]	A3 B4 A4 B5 L 判 2L 判[*3]	A3 A4 L 判 2L 判[*3]		20		
OHP フィルム	0.13mm 以下	B4 A4 B5	—		10		
封筒	$75g/m^2$ ～ $95g/m^2$	—	—	長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 角形 2 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒 C5 封筒 COM-10 DL 封筒 モナーク	10		
ポストカード	0.25mm 以下	—	—	101.6mm × 152.4mm	20		
インデックスカード	$120g/m^2$ 以下 (0.15mm 以下)	—	—	127mm × 203.2mm	30		
はがき（普通紙）	$220g/m^2$ 以下 (0.25mm 以下)	ハガキ	ハガキ	ハガキ	20		
はがき（インクジェット紙）	$220g/m^2$ 以下 (0.25mm 以下)	ハガキ	ハガキ	ハガキ	20		
はがき（写真用光沢はがき）	$220g/m^2$ 以下 (0.25mm 以下) [*2]	ハガキ	ハガキ	ハガキ	20		
ラベル[*4]	—	—	—	ユーザ定義	—		

[*1] $80g/m^2$ の場合

[*2] ブラザー BP71 写真光沢紙の厚さは $260g/m^2$ ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。

[*3] 127mm × 178mm

[*4] 手差しトレイにのみセットできます。

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA3（A3）	250 枚入り
		BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA3（A3）	20 枚入り
		BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA3（A3）	25 枚入り
		BP60MA（A4）	25 枚入り

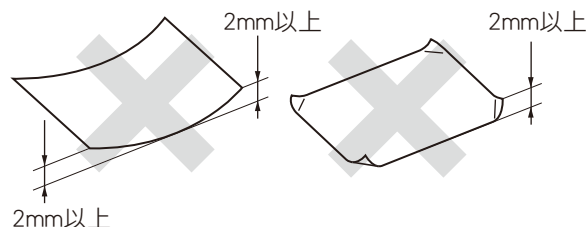
OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。
住友スリーエム社製 OHP フィルム 型番：CG3410

記録紙トレイ 1 または記録紙トレイ 2 にブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くセットしてください。
※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。

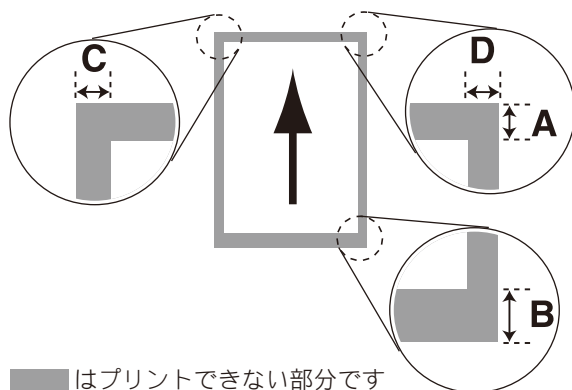
ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、光沢紙に同封されている「取扱説明書」と「取扱説明書ー印刷後の乾燥・保存方法について」をよくお読みください。

注意

- 指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。
  傷がついている記録紙、カールしている記録紙、シワのある記録紙、留め金のついた記録紙、すでに印刷された記録紙（写真つきはがきを含む）
- 指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- 使用していない記録紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

カールしている記録紙について
特に、はがきや光沢紙（L 判、2L 判）はカールしている場合があるため、曲がりやそりを直して使用してください。
カールしている記録紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、記録紙づまりが発生します。

記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

- 下記の数値は、プリンター機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を行っている場合、印刷できる範囲はお使いの OS やプリンタードライバーによって異なります。
- ふちなし印刷を行う場合は、記録紙トレイ 1 に記録紙をセットしてください。

（単位：mm）

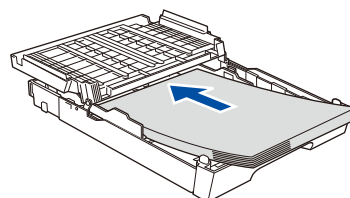
記録紙	A	B	C	D
普通紙 インクジェット紙 光沢紙 OHP フィルム ポストカード インデックスカード	3	3	3	3
普通紙 （A3、B4 サイズに両面コピー時）	22	22	3	3
封筒 （長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、角形 2 号封筒、洋形 2 号封筒、洋形 4 号封筒）	12	22	3	3
封筒 （C5 封筒、COM-10、DL 封筒、モナーク）	22	22	3	3

※印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。また、この数値はお使いの記録紙やプリンタードライバーによっても変わることがあります。

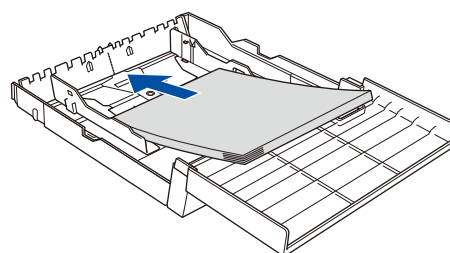
トレイの種類

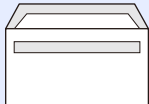
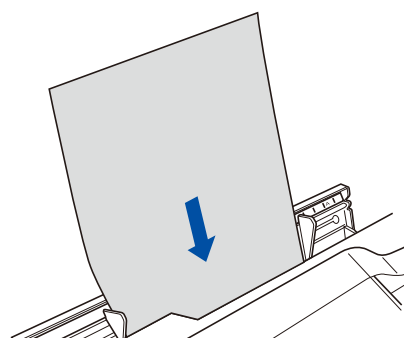
記録紙トレイ 1

主に、A3、A4、B5 などの記録紙、写真用光沢はがき、封筒などをセットします。

⇒ 36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」

記録紙トレイ 2

主に、A3、B4、A4またはB5の普通紙をセットします。

⇒ 40 ページ「記録紙トレイ 2 にセットする」

手差しトレイ

記録紙トレイ設定を変更しないですぐに 1 枚だけ印刷したいときや、封筒や厚紙に印刷するときにセットします。

⇒ 43 ページ「手差しトレイにセットする」

- 厚さ 80g/m^2 の A4 記録紙の場合、最大 50 枚まで排紙できます。
- 写真用光沢紙や OHP フィルムに印刷した場合は、インク汚れを防ぐため、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

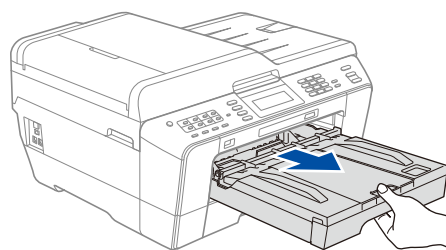
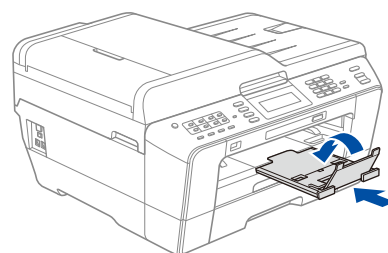
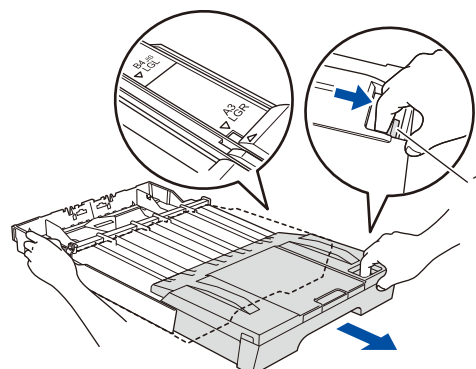
記録紙トレイ 1 にセットする

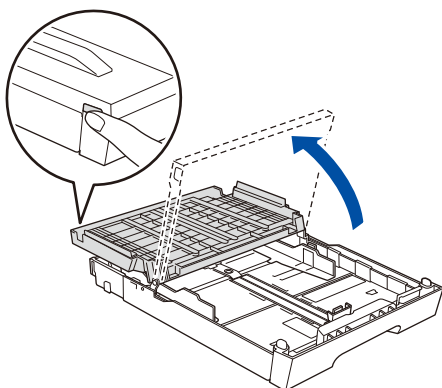
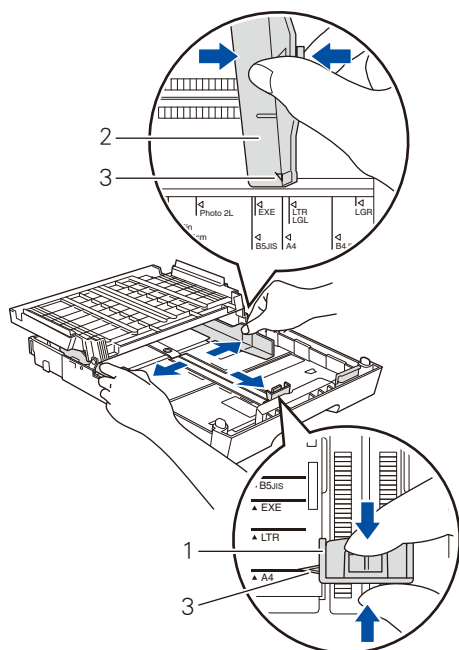
注意

- ■ 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
- ■ インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
- ■ 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。
- ■ 封筒は、坪量 75g/m^2 ～ 95g/m^2 のものをお使いください。
- ■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
  - ・窓付き封筒
  - ・エンボス加工がされたもの
  - ・留め金のついたもの
  - ・内側に印刷がほどこされているもの
  - ・ふたにのりが付いているもの

  - ・二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）

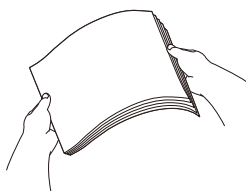
- ■「通常はがき」を自動で両面印刷する場合に、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛て先面から先に印刷することをお勧めします。
- ■ 写真用光沢はがきを自動両面印刷することはできません。宛て先面、通信面ともに印刷する場合は、片面ずつ印刷してください。この場合、宛て先面から先に印刷し、よく乾かしたのち、通信面を印刷することをお勧めします。

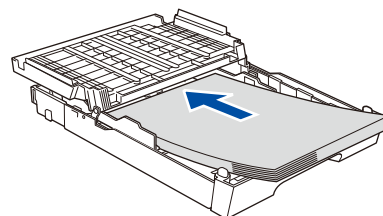
1 記録紙トレイ 1 を引き出す

記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてください。

A3、B4、レジャーまたはリーガルサイズの記録紙をセットするときは、リリースボタン（1）をつまんだままトレイを引き出し、長さを合わせてください。

A5 サイズよりも小さい記録紙をセットする場合は、記録紙トレイを広げないでください。

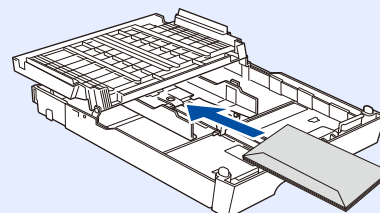
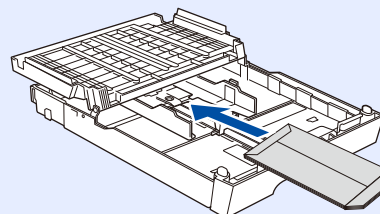
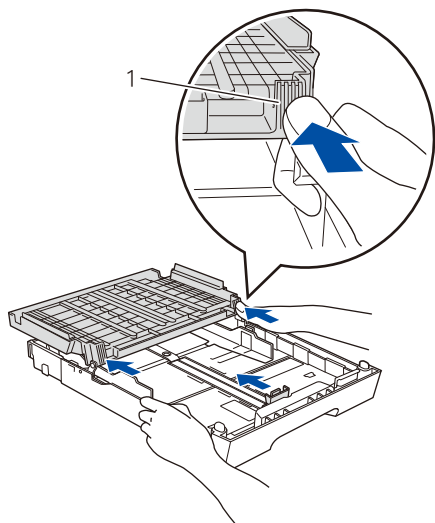
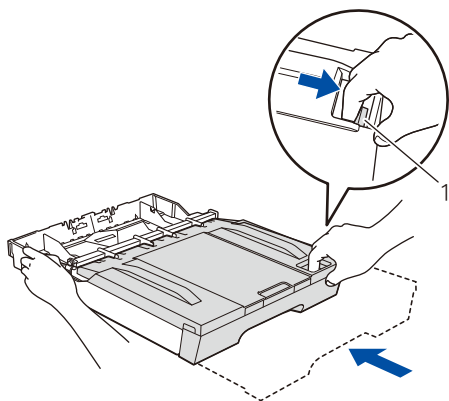
2 トレイカバーを開く

3 長さのガイド（1）と幅のガイド（2）の△の目印（3）を、記録紙サイズの目盛りに合わせる

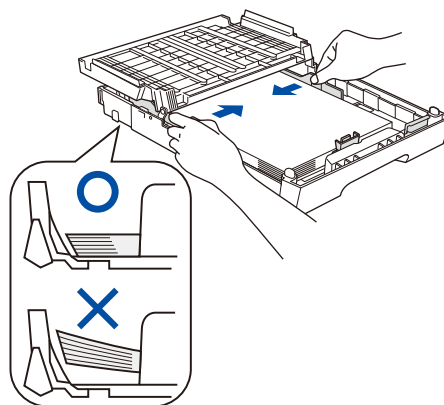
ガイドは両手で動かしてください。

4 記録紙をさばく

記録紙がカールしていないことを確認してください。記録紙がカールしていると紙づまりの原因になります。

5 印刷する面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

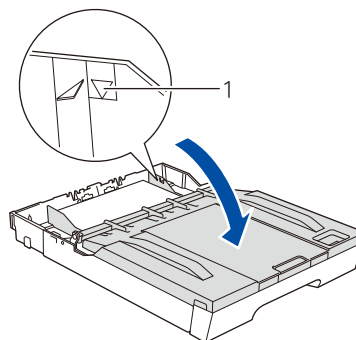
記録紙の先端がコツンと当たるところまでセットします。
強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、本製品の内部に入り込んでしまうことがあります。

注意

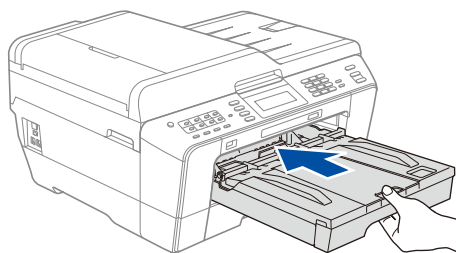
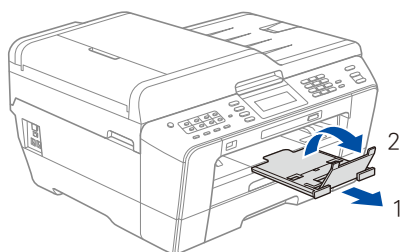
- 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- 横長封筒は、ふたを折りたたんで縦方向にセットしてください。横向きにセットすることはできません。

- 縦長封筒は、ふたのない面から縦方向にセットしてください。ふたのある方向からセットすると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。

L 判の記録紙をセットするときは、トレイカバー両側の（1）を押しこんでトレイカバーのロックを外し、トレイカバーを奥にずらしてください。

A3、B4、レジャーまたはリーガルサイズの記録紙がセットされている場合は、トレイがのばされています。これらの記録紙より小さい記録紙をセットする場合は、大きい記録紙をいったん取り出し、カバーを閉じて、リリースボタン（1）をつまんだままトレイの手前部分を押し戻してください。

6 幅のガイドと長さのガイドを、記録紙サイズに合わせる

両手で幅のガイドを寄せるように調節します。
記録紙がトレイの中で平らになっていることを確認してください。

注意

■ ガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりして、うまく給紙されない場合があります。

7 トレイカバーを閉じる

記録紙が、トレイの中で▽の目印（1）よりも下の位置にあることを確認してください。

8 記録紙トレイ 1 をゆっくりと戻す

力を入れて押し込まないでください。強く押し込むと、紙づまりの原因になります。

9 記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）

10 セットした記録紙に合わせて、【記録紙トレイ設定】を行う

⇒ 45 ページ「記録紙トレイ 1 の記録紙サイズと種類を設定する」
⇒ 46 ページ「コピーのときに使うトレイを選択する」
⇒ 46 ページ「ファクスのときに使うトレイを選択する」

注意

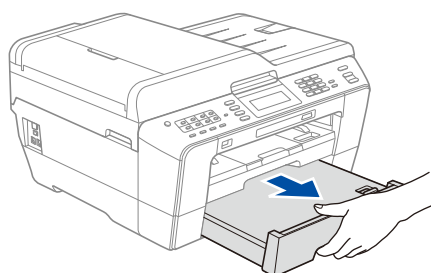
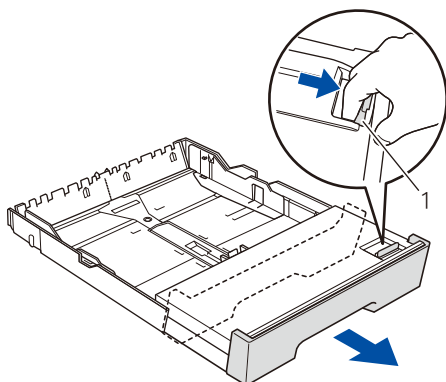
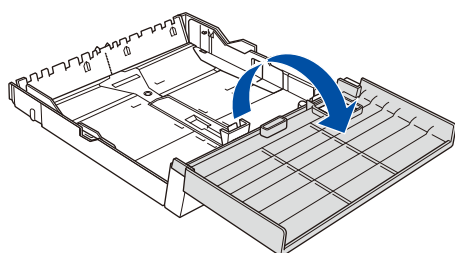
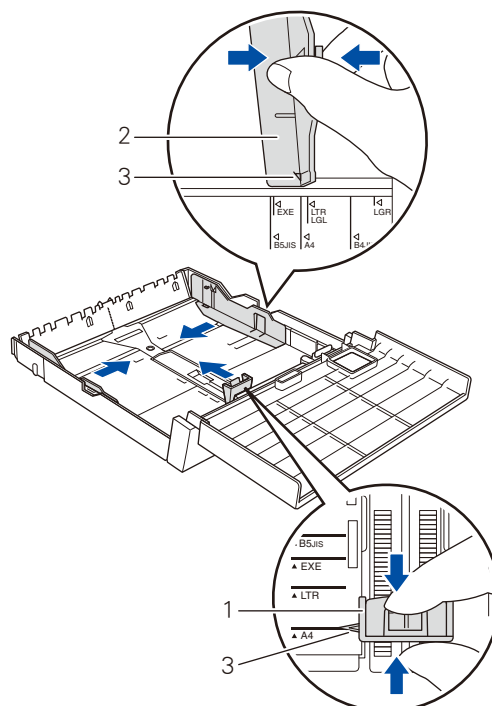
- お買い上げ時、記録紙トレイ 1 の記録紙サイズは【A4】、記録紙タイプは【普通紙】に設定されています。記録紙を変更する場合は、【記録紙トレイ設定】で記録紙サイズまたはタイプを変更する必要があります。
- 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。
- 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。

うまく印刷できない場合は、使用しているアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してください。

記録紙トレイ 2 にセットする

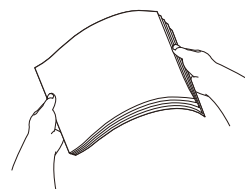
記録紙トレイ 2 には、普通紙を 250 枚までセットできます。

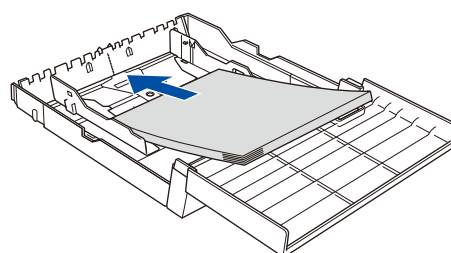
> ふちなし印刷を行う場合は、記録紙トレイ 1 に記録紙をセットしてください。

1 記録紙トレイ 2 を引き出す

> A3、B4、レジャーまたはリーガルサイズの記録紙をセットするときは、リリースボタン（1）をつまんだままトレイを引き出し、長さを合わせてください。

2 トレイカバーを開く

3 長さのガイド（1）と幅のガイド（2）の△の目印（3）を、記録紙サイズの目盛りに合わせる

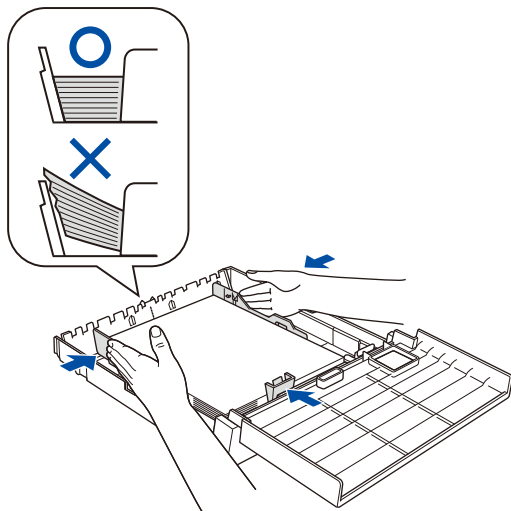
ガイドは両手で動かしてください。

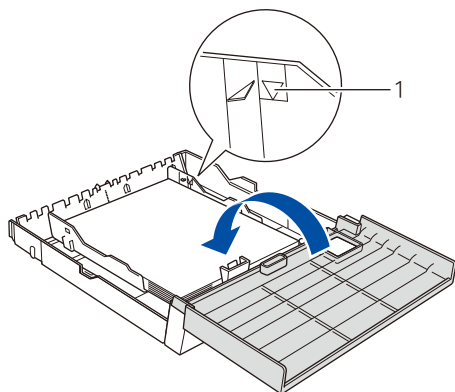
4 記録紙をさばく

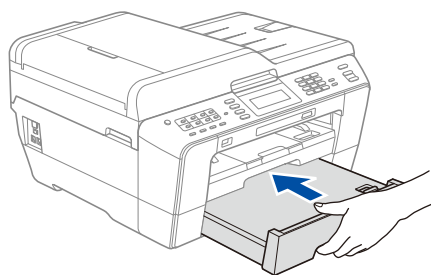
記録紙がカールしていないことを確認してください。記録紙がカールしていると紙づまりの原因になります。

5 印刷する面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

記録紙の先端がコツンと当たるところまでセットします。
強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、本製品の内部に入り込んでしまうことがあります。

6 幅のガイドと長さのガイドを、記録紙サイズに合わせる

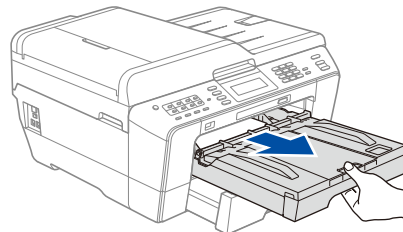
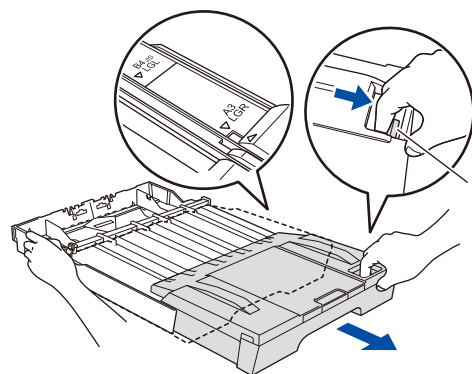
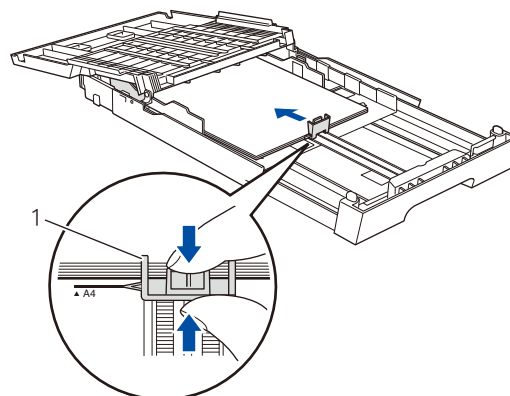
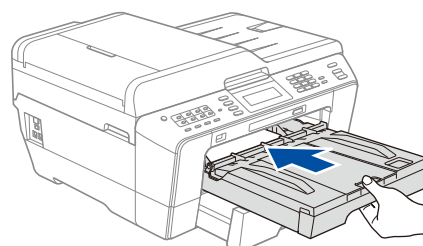
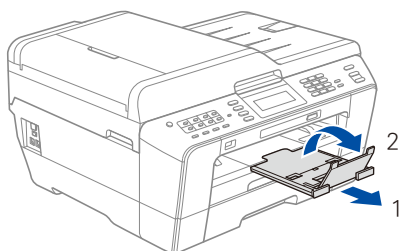
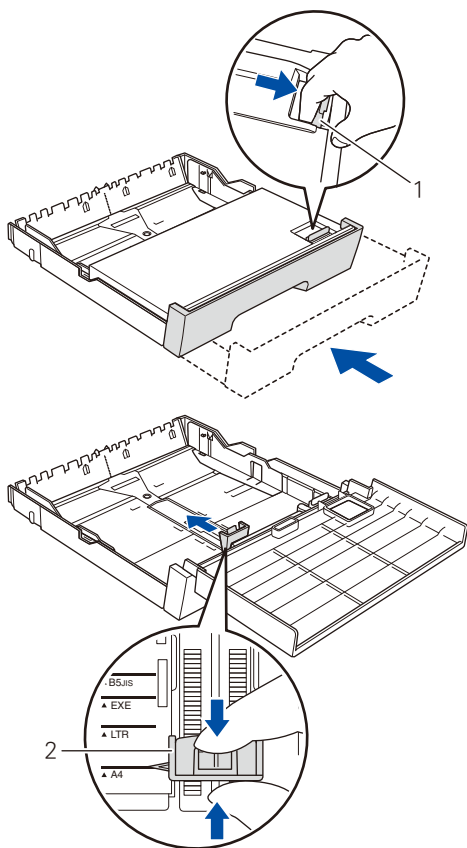
両手で幅のガイドを寄せるように調節します。

記録紙がトレイの中で平らになっていることを確認してください。

7 トレイカバーを閉じる

記録紙が、トレイの中で▽の目印（1）よりも下の位置にあることを確認してください。

8 記録紙トレイ 2 をゆっくりと戻す

力を入れて押し込まないでください。強く押し込むと、紙づまりの原因になります。

9 A3 の記録紙をセットした場合は、記録紙トレイ 1 をのばす

排紙時に記録紙が落ちないように、記録紙トレイ 1 をのばしておきます。

(1) 記録紙トレイ 1 を引き出す

(2) リリースボタン（1）をつまんで、トレイを完全に引き出す

(3) トレイカバーを開き、長さのガイド（1）を記録紙の長さに合わせて調節し直す

(4) トレイカバーを閉じて、記録紙トレイ 1 をゆっくりと戻す

⑩ 記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）

A3、B4、レジャーまたはリーガルの記録紙を使用したあとに小さなサイズの用紙をセットするときは、記録紙トレイから用紙を取り出し、リリースボタン（1）と長さのガイド（2）をつまんで動かし、サイズを合わせてください。

⑪ セットした記録紙に合わせて、【記録紙トレイ設定】を行う

⇒ 45 ページ「記録紙トレイ 2 の記録紙サイズを設定する」
⇒ 46 ページ「コピーのときに使うトレイを選択する」
⇒ 46 ページ「ファクスのときに使うトレイを選択する」

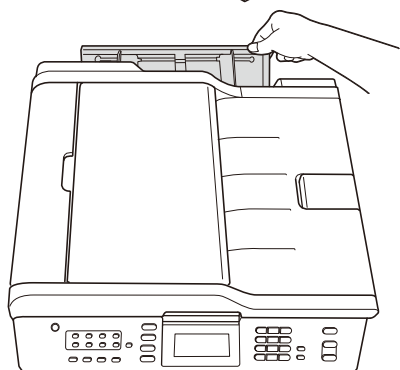
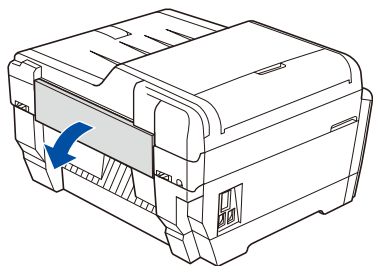
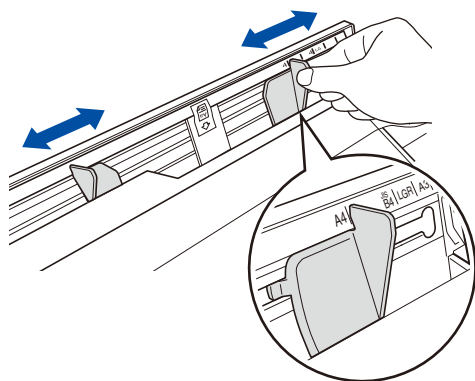
注意

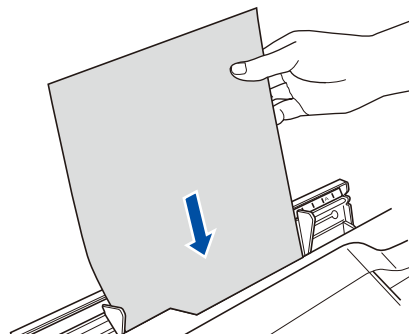
■ お買い上げ時、記録紙トレイ 2 の記録紙サイズは【A4】に設定されています（セットできる記録紙は「普通紙」のみです）。記録紙を変更する場合は、【記録紙トレイ設定】で記録紙サイズを変更する必要があります。

手差しトレイにセットする

記録紙トレイ設定を変更しないですぐに 1 枚だけ印刷したいときや、封筒や厚紙に印刷するときに手差しトレイを使用します。
一度にセットできるのは 1 枚です。

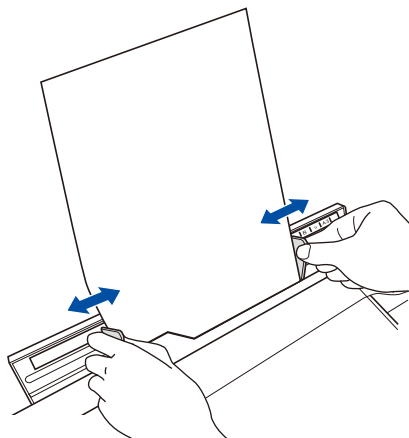
ふちなし印刷を行う場合は、記録紙トレイ 1 に記録紙をセットしてください。

1 手差しトレイを開く

2 ガイドをつまんで動かし、記録紙のサイズに合わせる

3 印刷する面を手前にして、記録紙を 1 枚だけセットする

記録紙の上端を下にしてセットしてください。

注意

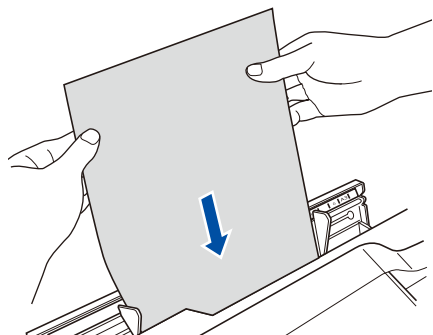
- 記録紙を 2 枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 記録紙トレイ 1 または記録紙トレイ 2 での印刷中に、手差しトレイに記録紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

4 ガイドを記録紙のサイズに合わせる

記録紙がトレイの中央にセットされるように、両手でガイドを調節します。

注意

- ガイドで記録紙を強くはさまないでください。記録紙が折れて、うまく給紙されない場合があります。
- 中央にセットされなかった場合は、記録紙を取り出してセットし直してください。

5 奥に当たるまで記録紙を差し込む

記録紙が奥に当たって、記録紙が本製品に少し引き込まれたら手を離してください。画面に【手差しトレイ記録紙セット OK　記録紙を 1 枚ずつセットしてください】と表示されます。

注意

■ 封筒や厚紙は、本製品に引き込まれにくいことがあります。引き込まれるまで奥に差し込んでください。

6 複数枚の記録紙に印刷する場合は、1 枚目の印刷が終わって、画面に【手差しトレイに次の用紙をセットしてスタート を押してください】と表示されてから、次の記録紙をセットする

- 印刷が終了してから手差しトレイを閉じてください。
- 記録紙が手差しトレイにセットされていると、常に手差しトレイから給紙されます。
- レポート印刷（⇒ 143 ページ）、テストプリント（⇒ 102 ページ）、受信ファクスは、手差しトレイからは印刷できません。手差しトレイの記録紙は自動的に排紙され、記録紙トレイから印刷されます。
- ヘッドクリーニングが始まると、手差しトレイの記録紙は自動的に排紙されます。ヘッドクリーニングが終了してからもう一度記録紙をセットしてください。

記録紙トレイの設定をする

【記録紙トレイ設定】

記録紙トレイごとに、通常よく使う記録紙のサイズや種類を設定します。また、コピー、ファクスのときに使用する記録紙トレイをあらかじめ選択できます。

記録紙トレイ 1 の記録紙サイズと種類を設定する

セットした記録紙のサイズと種類を設定します。
お買い上げ時はサイズが【A4】、種類（タイプ）は【普通紙】に設定されています。

- コピーやフォトメディアキャプチャを行うときに、一時的に記録紙のサイズや種類を変更することもできます。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「いろいろなコピー」
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「いろいろなプリント方法」
- パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」

1 記録紙トレイ設定 を押す

2 【記録紙トレイ #1】を押す

3 記録紙サイズを選ぶ

【A4 ／ B4 ／ A3 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】から選びます。

4 記録紙タイプを選ぶ

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】から選びます。

- ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、必ず【ブラザー BP71 光沢】を選んでください。それ以外の光沢紙をお使いの場合は【その他光沢】を選んでください。
- カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷するときは、【インクジェット紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

記録紙トレイ 2 の記録紙サイズを設定する

セットした記録紙のサイズを設定します。
お買い上げ時は【A4】に設定されています。

- 記録紙トレイ 2 にセットできる記録紙タイプは【普通紙】のみです。
- パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」

1 記録紙トレイ設定 を押す

2 【記録紙トレイ #2】を押す

3 記録紙サイズを選ぶ

【A4 ／ B4 ／ A3 ／ B5】から選びます。

4 停止/終了 を押して設定を終了する

コピーのときに使うトレイを選択する

コピーのときに使用する記録紙トレイを選択します。
お買い上げ時は【自動選択】に設定されています。

1 記録紙トレイ設定 **を押す**

2 ▼/▲ **を押して画面をスクロールさせ、【トレイ選択：コピー】を押す**

3 使用するトレイを選ぶ

- 【記録紙トレイ #1】
  常に記録紙トレイ 1 を使用します。
- 【記録紙トレイ #2】
  常に記録紙トレイ 2 を使用します。
- 【自動選択】
  コピーモードの設定に合わせて、本製品が最適なトレイを選びます。

4 停止/終了 **を押して設定を終了する**

ファクスのときに使うトレイを選択する

ファクスのときに使用する記録紙トレイを選択します。
お買い上げ時は【自動選択】に設定されています。

1 記録紙トレイ設定 **を押す**

2 ▼/▲ **を押して画面をスクロールさせ、【トレイ選択：ファクス】を押す**

3 使用するトレイを選ぶ

- 【記録紙トレイ #1】
  常に記録紙トレイ 1 を使用します。
- 【記録紙トレイ #2】
  常に記録紙トレイ 2 を使用します。
- 【自動選択】
  受信したファクスに合わせて、本製品が最適なトレイを選びます。

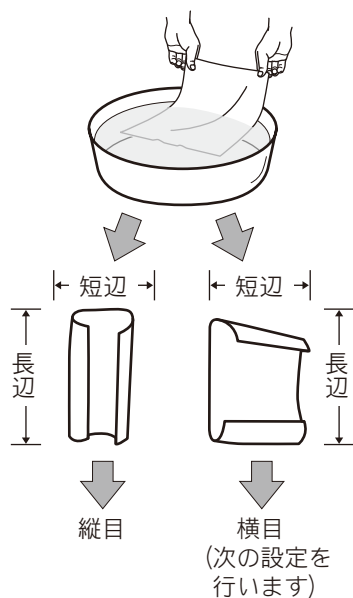
> 【自動選択】に設定すると、通常は記録紙トレイ 1 を使用し、次の場合に記録紙トレイ 2 を使用します。
> - 記録紙トレイ 1 に用紙がない
> - 記録紙トレイ 1 と記録紙トレイ 2 に同じサイズの用紙がセットされているが、記録紙トレイ 1 に普通紙がセットされていない
> - 記録紙トレイ 1 の用紙サイズがファクスの受信サイズに適していない

4 停止/終了 **を押して設定を終了する**

A3/B4 横目あんしん給紙

[A3/B4 横目あんしん給紙]

用紙の繊維方向には「縦目」と「横目」があります。横目紙は縦目紙よりも紙づまりを起こす可能性が高いため、万一、用紙のトラブルが重なるようなときは、お手持ちの用紙の繊維方向をお調べください。A3 および B4 サイズの横目紙であれば次の設定を行います。

用紙のメーカー型番やパッケージに「縦目」「横目」の表記があるかどうか、確認してください。
表記がない場合は、以下の方法で確認することができます。
(1) 用紙全体を軽く水にひたして、すぐに引き上げる
(2) 用紙の巻き方向を確認する

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【A3/B4 横目あんしん給紙】を押す

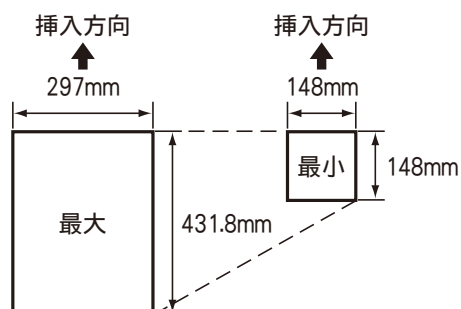
4 【オン】を押す

【オン】に設定すると印刷時間が長くなります。

5 停止/終了を押して設定を終了する

原稿のセット

ADF にセットできる原稿

ADF にセットできる原稿サイズは下記のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

厚さ：0.08mm ～ 0.12mm
坪量：64g/m^2 ～ 90g/m^2

ADFに原稿をセットする場合の注意事項

- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿にクリップやホチキスの針が付いていると、故障の原因になります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜて ADF にセットしないでください。
- ADF に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、ADF にセットしないでください。原稿台ガラスから送信してください。

しわ、折り目のついた原稿

カールした原稿

折ってある原稿

クリップの付いた原稿

ホチキスでとじてある原稿

破れた原稿

とじ穴のある原稿

付箋など接着面のある原稿

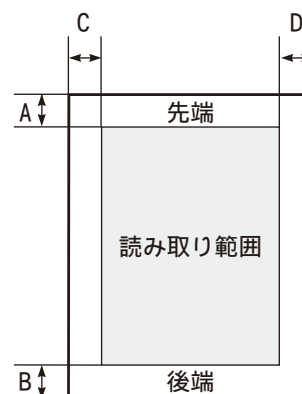
トレーシングペーパーのような半透明な原稿

セロハンテープなどでつなぎ合わせてある原稿

カーボン紙、ノーカーボン紙、裏カーボン紙の原稿

その他特殊な原稿

原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。

（単位：mm）

機能	用紙サイズ	A	B	C	D
ファクス	A3、B4	3		4.5	
	A4	3		原稿台ガラス：3 ADF：1	
コピー	－	3		3	
スキャン	－	3		3	

原稿をセットする

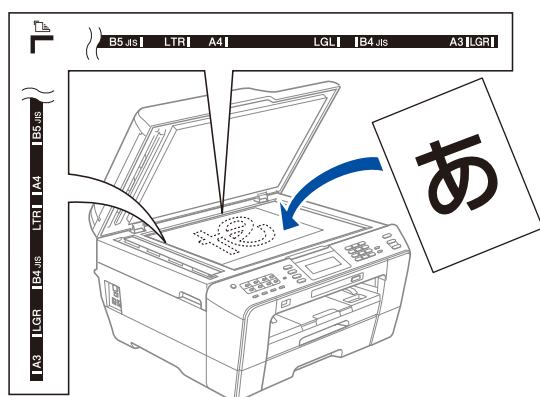
原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

注意

■ インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする

3 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

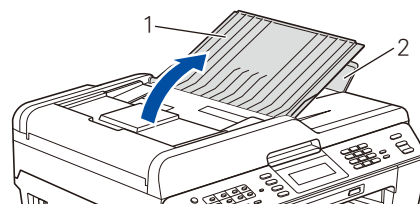
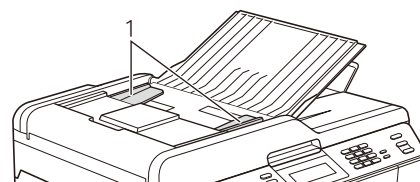
注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

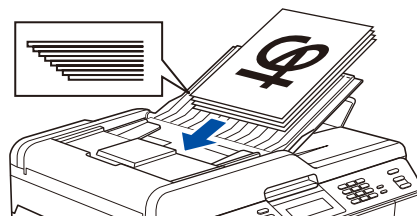
■ 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

ADF に原稿をセットする

本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を読み取るときは、ADF に原稿をセットすると便利です。

1 ADF 原稿トレイ（1）と ADF 原稿ストッパー（2）を開く

2 ADF ガイド（1）を原稿の幅に合わせる

3 原稿をさばく

4 原稿をそろえ、読み取りたい面を上にして、画面に【原稿セット OK】と表示されるところまで差し込む

一度に 35 枚までセットできます。原稿は、一番上から順番に読み取られます。

注意

■ ADF ガイドで左右から原稿を強くはさみつけないようにご注意ください。原稿が浮いたり、位置がずれたりして、うまく読み取りができなくなることがあります。

第２章

ファクス

基本

ファクスを送る 52
ADF からファクスを送る 52
原稿台ガラスからファクスを送る（1 枚のとき） 53
原稿台ガラスからファクスを送る（2 枚以上のとき） 54

ファクスを受ける 55
自動的に受ける 55
電話に出てから受ける 55
電話に出ると自動的に受ける（親切受信） 56
親切受信を設定する 56
親切受信でファクスを受ける 56

ファクスの見かた 57
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する 57
みるだけ受信を設定する 57
受信したファクスを見る 57
すべてのファクスを印刷する 59
すべてのファクスを消去する 59
ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する） 59

ファクスの便利な受けかた 61
ファクスをメモリーで受信する 61
メモリー受信したファクスを印刷する 61
ファクスをメモリーから消去する 62

通信管理

通信状態を確かめる 63
送信待ちファクスを確認・解除する 63

ファクスを送る

基本

カラーまたはモノクロでファクスを送ります。原稿に合わせて、画質を変更することもできます。

注意

- 相手先のファクシミリがモノクロの場合は、カラーで送ってもモノクロで受信されます。
- モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。
- ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くかかります。
- ファクスをカラーで送ると、メモリーに読み込まれずに送信されます。そのため、メモリーを使った送信（同報送信、タイマー送信、とりまとめ送信、ポーリング送信、デュアルアクセス、自動での再ダイヤル）をすることができません。

ADF からファクスを送る

［自動送信］

本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を送るときは、ADF に原稿をセットしてファクスを送ります。

1 ADF に原稿をセットする

⇒ 48 ページ「ADF にセットできる原稿」
⇒ 49 ページ「ADF に原稿をセットする」

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

- オンフック は押さないでください。
- 履歴／ポーズ を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロで送るときは モノクロ スタート を、カラーで送るときは スタート カラー を押す

モノクロ スタート を押した場合：

原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、ファクスが送られます。

スタート カラー を押した場合：

相手につながってから原稿の読み取りが開始されます。

送信する前にファクスをキャンセルする

ダイヤル中または送信中に、停止/終了 を押してください。

※モノクロ送信の場合は、【停止しますか ？／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

送信した後でファクスをキャンセルする

モノクロでファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、【メニュー】から【ファクス】を選び、【通信待ち一覧】を選んでキャンセルします。（63 ページ）

再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。

※手動送信（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「相手先の受信音を確認してから送る」）や、カラー送信の場合は、自動で再ダイヤルしません。

原稿台ガラスからファクスを送る（1 枚のとき）

［自動送信］

1 枚のファクスを送ります。

1 原稿をセットする

⇒ 49 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

オンフック は押さないでください。

履歴／ポーズ を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

- モノクロスタート を押した場合：
原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わり、【次の原稿はありますか ？／はい ／いいえ 】と表示されたら、【いいえ】または モノクロスタート を押してください。

- カラースタート を押した場合：
【カラーファクスを 1 枚のみ送信します 複数枚送信のときは [いいえ] を選びモノクロスタートを押してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されたら、【はい（カラー送信)】を押してください。

原稿の送信が開始されます。

送信する前にファクスをキャンセルする

ダイヤル中または送信中に、停止／終了 を押してください。

※モノクロ送信の場合は、【停止しますか ？／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

送信したあとでファクスをキャンセルする

モノクロでファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、【メニュー】から【ファクス】を選び、【通信待ち一覧】を選んでキャンセルします。（63 ページ）

再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。

※手動送信（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「相手先の受信音を確認してから送る」）や、カラー送信の場合は、自動で再ダイヤルしません。

原稿台ガラスからファクスを送る（2 枚以上のとき）

[自動送信]

モノクロでファクスを送る場合に限り、原稿台ガラスからも複数枚の原稿を送ることができます。この場合は、すべての原稿をメモリーに蓄積してから送信します。ADF が使用できない原稿を送る場合に使用します。（⇒ 48 ページ「ADF に原稿をセットする場合の注意事項」）

注意

- リアルタイム送信を【する】にしている場合は、原稿台ガラスから複数枚のファクスを送ることができません。原稿台ガラスから複数枚のファクスを送る場合は、リアルタイム送信を【しない】にしてください。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「原稿をすぐに送る」
- カラーで複数枚送信する場合は、ADF を使用してください。
  ⇒ 52 ページ「ADF からファクスを送る」

1）1 枚目の原稿を読み込む

1 1 枚目の原稿をセットする

⇒ 49 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

注意

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

オンフック は押さないでください。

履歴／ポーズ を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロスタート を押す

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ 】と表示されます。

5 【はい】を押す

【次の原稿をセットして／スタートキーを押してください】と表示されます。

2）2 枚目の原稿を読み込む

6 原稿台に 2 枚目の原稿をセットして、モノクロスタート を押す

2 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ 】と表示されます。

- 3 枚目の原稿がある場合 ⇒ 手順 7 へ
- これで送信する場合 ⇒手順 8 へ

3）3 枚目の原稿を読み込む

7 【はい】を押し、3 枚目の原稿をセットして、モノクロスタート を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 5、6 を繰り返します。

8 最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】または モノクロスタート を押す

ファクスが送られます。

送信中・印刷中に次のファクスを読み取る（デュアルアクセス）

ファクス送信中やパソコンからの印刷実行中に、次に送りたい原稿を読み取ることができます。これを「デュアルアクセス」といいます。画面には、新しいジョブ番号とメモリー残量が表示されます。
※カラーファクスの場合は、デュアルアクセス機能は無効になります。

ファクスを受ける

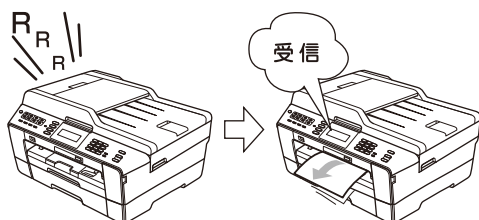
本製品では、以下の方法でファクスを受けることができます。

注意

■ 画面に【まもなくインク切れ】と表示されると、カラーファクスはモノクロで印刷されます。カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。
⇒ 97 ページ「インクカートリッジを交換する」

自動的に受ける

［自動受信］

設定した回数の着信音が鳴り終わると、本製品が自動的にファクスを受信し、印刷します。受信したファクスは、画面または記録紙のいずれかで確認できます。お買い上げ時は、「みるだけ受信」が設定されていないため、記録紙で確認します。

注意

■ 受信モードが【TEL= 電話】の場合は、自動的に受信しません。

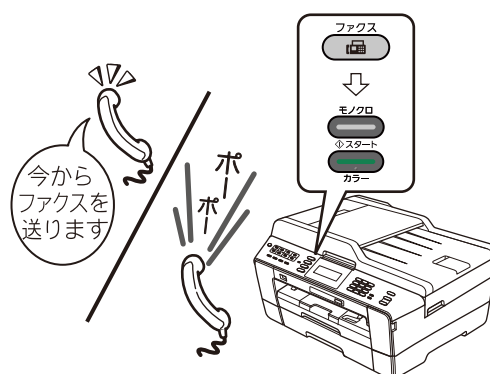
電話に出てから受ける

［手動受信］

本製品と接続している電話機で電話に出たあとに、ファクスを受信するときの手順です。

1 着信音が鳴ったら、本製品と接続している電話機で電話に出る

2 「ポーポー」と音がしていたら、ファクス を押してファクスモードにしてから、モノクロスタート または カラースタート を押す

相手と通話したあとにファクスを受信するには相手へファクスに切り替えることを伝えて モノクロスタート または カラースタート を押します。

【ファクスしますか？／送信 ／受信】と表示されます。

3 【受信】を押す

ファクスを受信します。

4 電話を切る

- 本製品と接続している電話機で電話に出なかった場合は、設定している受信モードに従った動作をします。
- 親切受信（⇒ 56 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」）が設定されている場合は、電話に出て約 7 秒待つと、自動的にファクスを受信します。

ご使用の前に / ファクス / 電話帳 / コピー / フォトメディアキャプチャ / こんなときは / 付録

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

［親切受信］

本製品と接続している電話機で電話に出たときにファクスであれば、受話器を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信できます。これを「親切受信」といいます。本製品を手動で操作する必要がないため、離れた場所で電話に出たときなどに便利です。
お買い上げ時は【しない】に設定されています。

親切受信を設定する

お買い上げ時は、親切受信は設定されていません。この機能を利用するためには、あらかじめ、親切受信を設定しておく必要があります。

1. **【メニュー】を押す**
2. **【ファクス】を押す**
3. **【受信設定】を押す**
4. **【親切受信】を押す**
5. **【する】を押す**
6. **停止/終了 を押して設定を終了する**

親切受信でファクスを受ける

1. **着信音が鳴ったら、電話に出る**

   ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。

2. **そのまま 7 秒待つ**

   約 7 秒後に、自動的にファクスを受信します。

3. **画面に【受信中】と表示されたら、電話を切る**

注意

■ 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【しない】にしてください。

- ファクスの受信が始まったら受話器を置いてください。
- 本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。
  ⇒ 55 ページ「電話に出てから受ける」
- 回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、手動で受信してください。
  ⇒ 55 ページ「電話に出てから受ける」
- 親切受信は、電話に出たあと、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、電話に出たまま手動で受信してください。
  ⇒ 55 ページ「電話に出てから受ける」

ファクスの見かた

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する

[みるだけ受信]

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。お買い上げ時は、みるだけ受信が設定されていません。受信したファクスを画面で見るには、みるだけ受信を【する】に設定してください。受信したファクスを印刷するようにしたい場合は、お買い上げ時の【しない】のままご使用ください。

注意

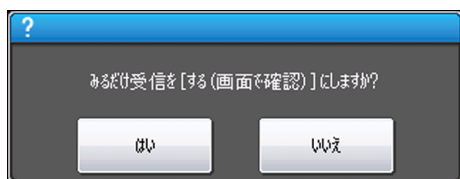
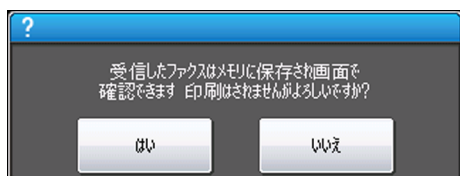
- 【みるだけ受信】と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。
- 【みるだけ受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。

みるだけ受信を設定する

お買い上げ時は、みるだけ受信は設定されていません。受信したファクスを画面で見るには、あらかじめ、みるだけ受信を設定しておく必要があります。

1 **みるだけ受信 または、待ち受け画面の【みるだけ受信】を押す**

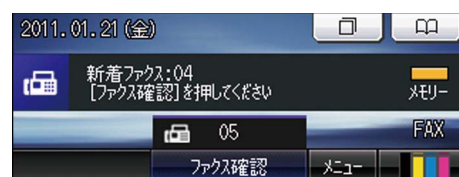
みるだけ受信をするように設定されている場合は、待ち受け画面に【ファクス確認】が表示されています。この場合は、みるだけ受信 を押すと新着ファクスまたは既存ファクスの一覧が表示されます。

2 **【はい】を押す**

3 **メッセージを確認して、【はい】を押す**

みるだけ受信が設定されます。

4 **停止/終了 を押して設定を終了する**

受信したファクスを見る

1 **【新着ファクス：XX】が表示されたら、みるだけ受信 または、待ち受け画面の【ファクス確認】を押す**

現在メモリーに保存されているファクスの件数は、【ファクス確認】の上に表示されています。

新着ファクスの一覧が表示されます。

- 新着ファクスがないときは、既読ファクスの一覧が表示されます。
- サイズの異なるファクスが届いた場合は、複数ページが表示されることがあります。

2 **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、確認したいファクスを選んで押す**

既読ファクスを見るには、【既読ファクス】を押してください。

ファクスの内容が表示されます。
表示されたファクスは、既読ファクスの一覧に移動します。

3 下表を参考にして操作を行う

ボタン	操作内容
[戻る]	既読ファクスの一覧に戻ります。
▲/▼	縦方向にスクロールします。
◀/▶	横方向にスクロールします。
[拡大]/[縮小]	拡大 / 縮小表示します。
[前ページ]/[次ページ]	前のページ / 次のページを表示します。
[回転]	90° ずつ右回転します。
[消去]	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 58 ページ「ファクスをメモリーから消去する」
[印刷]	ファクスを印刷します。 ⇒ 58 ページ「ファクスを印刷する」
[×]	プレビュー画面のメニューバーを閉じます。
メニュー	プレビュー画面でメニューバーを表示します。

- 受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。
- メモリーに保存できるファクスは 99 件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

ファクスを印刷する

(1) 印刷したいファクスが画面に表示された状態で[印刷]を押す

(2) 次のいずれかを行って、ファクスを印刷する

◆すべてのページを印刷する場合は、【すべてのページをプリント】を押して、(3) に進みます。

◆見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押して、(4) に進みます。

◆見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押して、(4) に進みます。

(3) ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す

(4) [停止/終了]を押す

ファクスをメモリーから消去する

(1) 消去したいファクスが画面に表示された状態で、[消去]を押す

◆【すべてのページを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す

◆ファクスのデータが消去されます。

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

1 みるだけ受信 または、待ち受け画面の【ファクス確認】を押す

新着ファクスまたは既読ファクスの一覧が表示されます。

2 【メニュー】を押す

3 【すべてプリント】を押す

表示されているファクス一覧のデータがすべて印刷されます。

4 停止/終了 を押す

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。

1 みるだけ受信 または、待ち受け画面の【ファクス確認】を押す

新着ファクスまたは既読ファクスの一覧が表示されます。

2 【メニュー】を押す

3 【すべて消去】を押す

【消去しますか ？／はい ／いいえ 】と表示されます。

4 【はい】を押す

表示されているファクス一覧のデータがすべて消去されます。

5 停止/終了 を押す

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）

[みるだけ受信]

【みるだけ受信をしない】に設定しておくと、受信したファクスは自動的に印刷されます。お買い上げ時の設定です。

注意

- ■ みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたいデータがある場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。
⇒ 58 ページ「ファクスを印刷する」
⇒ 59 ページ「すべてのファクスを印刷する」
- ■【みるだけ受信】と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。また、【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 みるだけ受信 または、待ち受け画面の【ファクス確認】を押す

新着ファクスまたは既読ファクスの一覧が表示されます。

2 【メニュー】を押す

3 【みるだけ受信をしない（受信したら印刷)】を押す

【みるだけ受信をしないにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか?／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

メモリー内にファクスデータがない場合：操作は終了です。

メモリー内にファクスデータがある場合：【みるだけ受信をしないにすると受信ファクスが消去されます／消去する／全て印刷してから消去／キャンセル】と表示されます。

5 【消去する】または【全て印刷してから消去】を押す

みるだけ受信が解除されます。今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

【みるだけ受信をしない】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- 記録紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 記録紙が詰まったとき
- 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

※電源を抜いたときや停電のときは、数時間以上たつとメモリーに記憶された受信ファクスメッセージが消去されます。

※メモリー代行受信できるのは約 400 枚です。

ファクスの便利な受けかた

ファクスをメモリーで受信する

［メモリー受信］

メモリー受信を設定すると、みるだけ受信する / しないにかかわらず、受信したファクスを本製品のメモリーに保存できます。
お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

注意

- 【メモリー受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。
- 【メモリ保持のみ】は、【ファクス転送】、【PCファクス受信】、【電話呼び出し】と同時に設定できません。
- 保存されたファクスデータは画面で確認できます。ただし、みるだけ受信が設定されていないときは、一時的にみるだけ受信に変更する必要があります。
  ⇒ 57 ページ「みるだけ受信を設定する」

1. **【メニュー】を押す**
2. **【ファクス】を押す**
3. **【受信設定】を押す**
4. **▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す**
5. **【メモリ保持のみ】を押す**
6. **停止/終了 を押して設定を終了する**

メモリー受信は最大 99 件で 400 ページまでできます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。

メモリーに受信データが残っていて、みるだけ受信を設定していない場合は、手順 5 で、【オフ】を選択すると【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。消去する場合は【はい】を押してください。

メモリー受信したファクスを印刷する

［ファクス出力］

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1. **【メニュー】を押す**
2. **【ファクス】を押す**
3. **【ファクス出力】を押す**
4. **モノクロスタート または カラースタート を押す**

   メモリーに記憶されていたファクスメッセージが印刷されます。
   印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

5. **停止/終了 を押して操作を終了する**

ファクスをメモリーから消去する

本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス】を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す

5 【オフ】を押す

以下のメッセージが表示されます。

・ファクス転送、PC ファクス受信をオフするときに、未転送のファクスがある場合

【すべてのファクスをプリントしますか ？／はい／いいえ】

・メモリー受信をオフする場合

【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】

6 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去されます。

メモリー受信の設定が解除されます。

7 停止/終了を押して操作を終了する

通信状態を確かめる

通信管理

送信待ちファクスを確認・解除する

[通信待ち一覧]

タイマー送信など、設定している内容を確認し、解除できます。

1. 【メニュー】を押す
2. 【ファクス】を押す
3. ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【通信待ち一覧】を押す
4. 確認または解除する設定を選び、OKを押す

   【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。
5. 解除する場合は、【はい】を押す

   送信待ちのファクスが解除されます。
6. 停止/終了を押して操作を終了する

第３章

電話帳

電話帳

電話帳を利用する 66
ワンタッチダイヤルに登録する 66
電話帳に登録する 68

電話帳を利用する

電話帳

よくファクスを送る相手先のファクス番号を、ワンタッチダイヤルや電話帳に登録します。また、複数の相手先をグループダイヤルに登録すると、ひとつのグループ番号を指定するだけで複数の相手先にファクスを送ることができます。

「リモートセットアップ」を使用して、パソコンから簡単に電話帳を作ることもできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「パソコンを使って電話帳に登録する」

ワンタッチダイヤルに登録する

[ワンタッチダイヤル登録]

もっとも多くファクスする宛て先を 16 件まで選んで、操作パネル上のワンタッチボタンに登録できます。
それぞれ 20 桁までの電話番号と 10 文字までの名称が登録できます。
ワンタッチボタンに登録すると電話帳にも自動的に記録されます。
ワンタッチボタンの 1 ～ 8 はそのまま押し、 9 ～ 16 は シフト を押しながら 1 ～ 8 を押して使用します。

1 待ち受け画面の 、または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【電話帳】を押す

パネル上のワンタッチボタンを押しても登録できます。登録されていないワンタッチボタンを押すと【<未登録> 登録しますか？／はい／いいえ】と表示されます。登録する場合は【はい】を押し、手順 5 に進みます。

2 【メニュー】を押す

3 【ワンタッチダイヤル登録】を押す

番号を入力する画面が表示されます。

4 画面に表示されているテンキーで登録したいワンタッチボタンの番号を入力し、 OK を押す

番号を編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

5 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、 OK を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
⇒ 150 ページ「文字の入力方法」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

6 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、 OK を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

7 画面に表示されているテンキーで相手先の電話番号を入力し、OK を押す

電話番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下の通りです。

- 数字（0 ～ 9）
- 記号（＊、＃）
- スペース
  ▶ を押す
- ポーズ（p）
  ポーズ を押す

※電話番号にハイフン、カッコは入力できません。

> E メールアドレスを入力する場合は、[電話/メール] を押して、E メールアドレス入力用キーボードに切り替えます。

8 登録内容を確認し、OK を押す

ワンタッチダイヤルが登録されます。

9 停止/終了 を押す

> ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に「＊」を押してください。

> ワンタッチダイヤルはリモートセットアップでも登録できます。詳しくは下記を参照してください。
> Windows® の場合
> ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「リモートセットアップを利用する」
> Macintosh の場合
> ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「リモートセットアップを利用する」

> ワンタッチダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷します。
> ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「電話帳リストを印刷する」

> 電話番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

ワンタッチダイヤルを変更する

(1) 「ワンタッチダイヤルに登録する」（66 ページ）の手順 3 で、【変更】を押す
(2) 変更したい相手先を選ぶ
(3) 変更したい項目を選ぶ
(4) 名前や電話番号を入力し直し、OK を押す
(5) 複数の項目を変更する場合は、手順（3）（4）を繰り返す
(6) OK を押す
◆変更した内容が反映されます。
(7) 停止/終了 を押す

ご使用の前に
ファクス
電話帳
コピー
フォトメディアキャプチャ
こんなときは
付録

電話帳に登録する

[電話帳登録]

相手先のファクス番号と名称を、2 桁の短縮番号 00 ～ 99（最大 100 件× 2 番号）に登録します。

1 待ち受け画面の [📖]、または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【電話帳】を押す

2 【メニュー】を押す

3 【電話帳登録】を押す

名前を入力する画面が表示されます。

4 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、OK を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。

⇒ 150 ページ「文字の入力方法」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、OK を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。

読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

6 画面に表示されているテンキーで【番号 1】に登録する相手先の電話番号を入力し、OK を押す

電話番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下の通りです。

- 数字（0 ～ 9）
- 記号（＊、＃）
- スペース
  ▶ を押す
- ポーズ（p）
  ポーズ を押す

※電話番号にハイフン、カッコは入力できません。

E メールアドレスを入力する場合は、[📞✉] を押して、E メールアドレス入力用キーボードに切り替えます。

7 同様の手順で【番号 2】に登録する相手先の電話番号を入力し、OK を押す

【番号 2】を登録しない場合は、そのまま OK を押してください。

8 画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、OK を押す

短縮番号を編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

9 登録内容を確認し、OK を押す

短縮ダイヤルが電話帳に登録されます。

10 停止/終了 を押す

注意

■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しく番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「電話帳リストを印刷する」

短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リスト（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「電話帳リストを印刷する」）を印刷すると確認できます。

こんなときは～電話番号を登録するとき～

(A)「186」または「184」を付ける場合

同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。
例）
○ 186 XXX XXX XXXX
（市外局番）（市内局番）（相手先番号）
× 186 XXX XXXX
（市内局番）（相手先番号）

(B) 構内交換機（PBX）で“0”発信の場合

“0”の後にポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

(C) 国際電話の場合

国番号の後にポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
  010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号
- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
  （国際電話サービス会社指定の番号）
  +010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号

※入力したポーズは「p」で表示されます。

電話帳の内容を変更する

(1) 「電話帳に登録する」（68 ページ）の手順 3 で、【変更】を押す
(2) 変更したい相手先を選ぶ
(3) 変更したい項目を選ぶ
(4) 名前や電話番号を入力し直し、OK を押す
(5) 複数の項目を変更する場合は、手順 (3)（4）を繰り返します。
(6) OK を押す
◆変更した内容が反映されます。
(7) 停止/終了 を押す

電話帳の内容を削除する

(1) 「電話帳に登録する」（68 ページ）の手順 3 で【消去】を押す
(2) 消去したい相手先を選び、OK を押す
◆【消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。
(3) 【はい】を押す
◆選んだ番号が削除されます。
(4) 停止/終了 を押す

第４章

コピー

基本

コピーに関するご注意 72

コピーする 73
　１部コピーする 73
　複数部コピーする 73

コピーに関するご注意

基本

コピーを行うときは、以下の点にご注意ください。

- **法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）**
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やはがき
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- **著作権のあるもの**
  - 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。
- **その他注意を要するもの**
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など
- **記録紙について**
  - しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
  - 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。
  - コピーをする場合（特にカラーの場合）は、記録紙の選択が印刷品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。
- **原稿について**
  - インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。スキャナー（読み取り部）が汚れて、印刷品質が悪くなることがあります。
    ⇒ 48 ページ「ADF にセットできる原稿」
- **スキャナー（読み取り部）について**
  - スキャナー（読み取り部）は常にきれいにしておいてください。汚れているときれいにコピーできません。
    ⇒ 91 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

原稿の読み取り範囲について
⇒ 48 ページ「原稿の読み取り範囲」

コピーする

モノクロまたはカラーでコピーします。

注意

■ スキャナー（読み取り部）はきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。スキャナー（読み取り部）のお手入れ方法について詳しくは、⇒ 91 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」をご覧ください。

1 部コピーする

1枚の原稿をモノクロまたはカラーでコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 49 ページ「原稿をセットする」

2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、一時的に設定を変更することもできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「設定を変えてコピーする」

4 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

途中でコピーを中止するには、停止/終了 を押してください。

原稿がコピーされます。

複数部コピーする

1 ～ 99 部までコピーする枚数を指定してコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 49 ページ「原稿をセットする」

2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 ダイヤルボタンで部数を入力する

1 ～ 99 部まで設定できます。

①を押して表示されるテンキーを押したり、②を押すことでも部数の入力ができます。

入力した部数を取り消すときは、①を押して表示される画面で クリア を押します。

4 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

途中でコピーを中止するには、停止/終了 を押してください。

原稿がコピーされます。

第５章

フォトメディアキャプチャ

デジカメプリント

写真や動画をプリントする前に 76
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする 77
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況 78
動画プリント 79
写真や動画をプリントする 80
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする 80

PictBridge

デジタルカメラから直接プリントする 82
PictBridge とは 82
デジタルカメラで行う設定 82
写真をプリントする 83

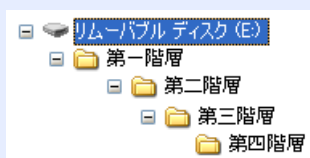
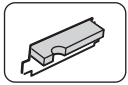
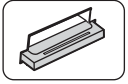
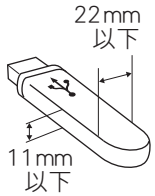
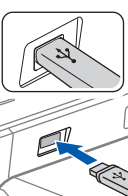
スキャン to メディア

スキャンしたデータを保存する 84
スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する 84

写真や動画をプリントする前に　デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで写真や動画の画像をプリントします。パソコンがなくてもデジタルカメラの写真や動画の画像をプリントできます。

注意

- デジカメプリントで使用される記録紙は記録紙トレイ 1 または手差しトレイから給紙されます。記録紙は必ず「記録紙トレイ 1」または「手差しトレイ」にセットしてください。
  ⇒ 36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」
  ⇒ 43 ページ「手差しトレイにセットする」
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- 画像データのフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式の画像データには対応していません。）
- 拡張子が「.JPEG」「.JPE」のファイルは認識しません。拡張子を「.JPG」に変えてください。（拡張子の大文字と小文字は区別せず、どちらも認識します。ただし、インデックスシートにはすべて大文字で表示されます。）
- 動画のフォーマットは「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG をお使いください。ただし 1 ファイルのファイルサイズが 1GB 以上（撮影時間およそ 30 分前後）の AVI ファイル、2GB 以上（撮影時間およそ 60 分前後）の MOV ファイルは印刷できません。
- 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ (横幅が 8192 ピクセル以内) を超えた場合は、印刷できません。
- 日本語のファイル名が付けられたデータは、インデックスプリント（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「インデックスシートをプリントする」）を行うと、ファイル名が正しく表示されません。画像データのファイル名を英数字に変えてください。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データは、4 階層までしか認識されません。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにパソコン上から画像データを書き込んだ場合、5 階層以上のフォルダーに保存しないでください。

- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データは、フォルダーとファイルを合わせて 999 個まで認識します。
- フォトメディアキャプチャとパソコンからのメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。
- Macintosh の場合、デスクトップにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンが表示されているときは、フォトメディアキャプチャが使用できません。デスクトップのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをゴミ箱に移動したあと、フォトメディアキャプチャをお使いください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

1 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけ差し込む

下記のメモリーカードおよび USB フラッシュメモリーを使用できます。

種類		セットする位置
• メモリースティック TM（最大 128MB） • メモリースティック PRO TM（最大 32GB）		上段に
• メモリースティック デュオ TM（最大 128MB） • メモリースティック PRO デュオ TM（最大 32GB）		
• メモリースティック マイクロ TM（M2 TM）（最大 32GB）	アダプターが必要です	
• SD メモリーカード（最大 2GB） • SDHC メモリーカード（最大 32GB） • マルチメディアカード（最大 2GB） • マルチメディアカード plus（最大 4GB）	SD HC TM	下段に
• miniSD カード（最大 2GB） • microSD カード（最大 2GB） • miniSDHC カード（最大 32GB） • microSDHC カード（最大 32GB） • マルチメディアカード mobile（最大 1GB）	アダプターが必要です	
• USB フラッシュメモリー（最大 32GB）	22mm 以下 11mm 以下	

デジカメプリント が点灯します。

注意

■ 著作権保護機能には対応していません。

■ カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。

■ 2 つのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。

■ デジカメプリント が点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況

デジカメプリント の表示で、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況がわかります。

点灯 デジカメプリント	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれています。このときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すことができます。
点滅 デジカメプリント	読み取り、または書き込みが行われています。このときはメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにさわらないでください。
消灯 デジカメプリント	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが差し込まれていません。または、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていないため、本製品に認識されていません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが認識されないときは、記録した機器に戻して確認してください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは

デジカメプリント が点滅していないことを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへのアクセスを終了してから、デジカメプリント が点滅していないことを確認して、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを引き抜いてください。

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、接続しているパソコンからもアクセスできます。
詳しくは、下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」

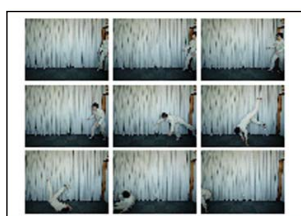
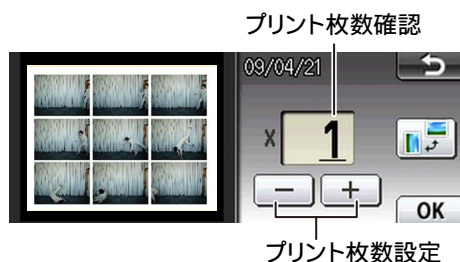
動画プリント

本製品はメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている動画から画像をプリントできます。
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを本製品にセットして表示されるデジカメプリントメニューから【かんたんプリント】または【こだわりプリント】を選ぶと、以下の画面が表示されます。

写真と共に保存されている動画も表示されます

動画を選択すると、動画プリントの設定画面が表示されます。
動画は動画記録時間から自動的に 9 分割され、縦 3 ×横 3 に配置して表示／プリントされます。

プリント枚数確認

プリント枚数設定

出力例

動画の特定のシーンを指定することはできません。

写真や動画をプリントする

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたはUSB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで写真や動画の画像をプリントします。

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスしている間は、デジカメプリント機能は使用できません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする

[かんたんプリント]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの画像を画面で確認・プリントできます。

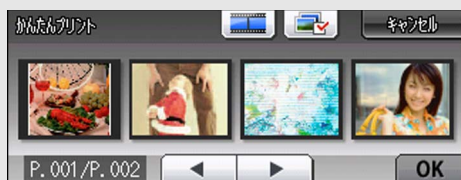
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 77 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリント が点灯し、画面にデジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像が表示されます。

画像のファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせます。

を押すとスライドショーが始まり、順番に画像を見ることができます。
終了するときは、 を押します。
スライドショーの途中で印刷したい場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する」をご覧ください。

すべての画像を選択したい場合は、 を押し、【はい】を押します。
すべての画像を 1 枚プリントする設定になります。⇒手順 6 へ

4 − / + でプリント枚数を設定し、OK を押す

プリント枚数

プリント枚数表示を押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

を押すたびに 90゜ずつ右回りに回転します。

5 手順 3、4 を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選ぶ

6 OK を押す

7 画面で設定を確認する

プリント
合計枚数

- を押すと、色や明るさを補正することができます。
- 画質や記録紙のサイズなど、設定を変えることもできます。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「設定を変えてプリントする」

8 モノクロ スタート または スタート カラー を押す

選択した画像がプリントされます。

DPOF を使用する場合

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）*1 を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットすると、【DPOF で印刷しますか ?／はい／いいえ】というメッセージが表示されます。
DPOF でプリントする場合は、以下の手順で操作してください。

(1) 【はい】を押す

(2) 【印刷設定】を押す
　◆デジカメプリントの設定画面が表示されます。

(3) 【記録紙サイズ】を押す

(4) 記録紙サイズを選ぶ
　◆他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。

(5) モノクロ スタート または スタート カラー を押す
　◆DPOF で指定したとおりに写真がプリントされます。

*1 デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。
※DPOF からの動画のプリントはできません。

デジタルカメラから直接プリントする PictBridge

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。

注意

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。
- PictBridge 使用中はメモリーカードの使用はできません。
- 本製品は、動画を 9 分割画像にしてプリントできますが、PictBridge ではこの機能は使用できません。

デジタルカメラで行う設定

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラの以下の設定が有効になります。

設定項目	設定内容
記録紙サイズ	A3、A4、L 判、2L 判、はがき
記録紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOFプリント*1	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正 *2	する、しない
日付印刷	する、しない

*1 DPOF とは、デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品で指定する必要がありません。

*2 画質補正を「する」に設定した場合は、本製品のメニュー【画質強調】で、設定を行います。

設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
デジタルカメラから設定ができない場合、またはデジタルカメラでプリンター設定を選んだ場合は、以下の設定でプリントされます。

- プリント画質：きれい
- 記録紙タイプ：その他光沢
- 記録紙サイズ：L 判
- 画質強調：しない
- ふちなし印刷：する

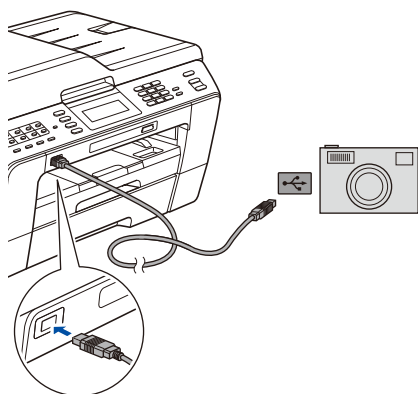
写真をプリントする

注意

- PictBridge 使用中は、ファクスの送受信ができません。
- PictBridge を使用する前に、本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがセットされていないことを確認してください。

1 デジタルカメラの電源を切る

2 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

本製品前面にある、PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。

注意

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。

3 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

デジタルカメラから設定ができない場合は、固定の設定でプリントされます。
⇒ 82 ページ「デジタルカメラで行う設定」

4 デジタルカメラからプリントを実行する

設定した内容で写真がプリントされます。

注意

- プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

DPOF を使用する

DPOF 設定を行ったメモリーカードをデジタルカメラから取り出して本製品にセットします。
⇒ 81 ページ「DPOF を使用する場合」

スキャンしたデータを保存する　スキャン to メディア

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する

［メディア保存］

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 77 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

2 原稿をセットする

A）両面原稿の場合（A4 サイズまで）

(1) ADF に原稿をセットする

⇒ 49 ページ「ADF に原稿をセットする」

> 両面スキャンをするときは、ADF に原稿をセットしてください。

(2) 停止/終了 を押し、待ち受け画面を表示させる

(3) 両面 コピー/スキャン/ファクス を押し、【スキャン】を押す

読取方法選択画面が表示されます。

⇒手順 3 へ

B）片面原稿の場合

ADF または原稿台ガラスに原稿をセットして、スキャン を押す。

⇒ 49 ページ「原稿をセットする」

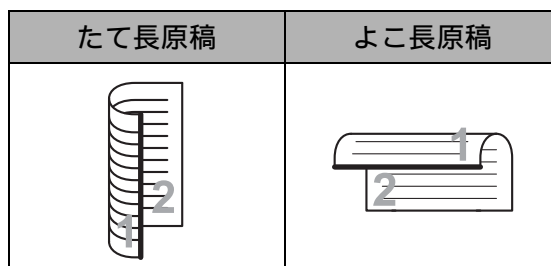
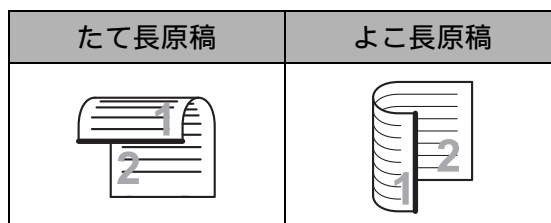
スキャンメニューが表示されます。

⇒手順 4 へ

3 原稿の綴じ方向を選ぶ

【オフ／両面スキャン：長辺綴じ原稿／両面スキャン：短辺綴じ原稿】から選びます。

- 【オフ】
  片面読み取りとなります。
- 【両面スキャン：長辺綴じ原稿】

たて長原稿	よこ長原稿
2 1	1 2

- 【両面スキャン：短辺綴じ原稿】

スキャンメニューが表示されます。
⇒手順 4 へ

4 【メディア保存】を押す

5 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

【カラー 100 dpi ／カラー 200 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 100 dpi ／モノクロ 200 dpi ／モノクロ 300 dpi】から選びます。

6 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 手順 5 で、カラーを選んだ場合
【PDF ／ JPEG】から選びます。
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
【TIFF ／ PDF】から選びます。

7 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【ガラス面読取サイズ】を押して原稿のサイズを選ぶ

【A4 ／ B4 ／ A3】から選びます。

ADF に原稿をセットした場合は、自動的にサイズを検知します。

8 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力し、OK を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

※あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
例）2011 年 5 月 3 日にスキャンすると、ファイル名は「110503XX」になります。（「XX」は通し番号です）

※ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。ファイル名はアルファベット、数字、記号で付けてください。

※間違って入力した場合は、⌫ を押して消去します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、1 枚目の原稿を読み取り後、【メディアを抜かないで下さい　次の原稿はありますか？／はい ／いいえ 】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合 ⇒手順 12 へ

読み取る原稿が複数枚の場合 ⇒手順 10 へ

10 【はい】を押す

【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されます。

注意

■ 【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されたあと、停止/終了 を押したり、操作しないでしばらく放置した場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されません。

11 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、モノクロスタート または カラースタート を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 10、11 を繰り返します。

12 すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押す

スキャンを終了します。

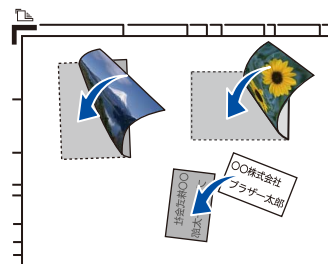
注意

■ デジカメプリント が点滅しているときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

本製品をスキャナーとして使う操作については、下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
「Windows® 編」－「スキャナーとして使う前に」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
「Macintosh 編」－「スキャナーとして使う前に」

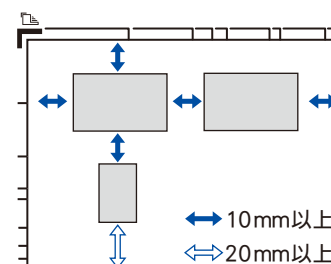
パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。

(1) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

(2) 原稿をセットする

下記に注意して原稿をセットしてください。

- ADF からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
- すべての角が直角（90゜）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 原稿台ガラスの端から 10mm 以上（手前部分のみ 20mm 以上）空けてセットしてください。
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10゜以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。

(3) スキャン ボタンを押す

(4)【メディア保存】を押す

(5)【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

(6)【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 【PDF ／ TIFF】：
  複数のページで構成される1つのファイルとして保存します。
- 【JPEG】：
  個別のファイルとして保存します。

(7) ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【おまかせ一括スキャン】を押す

(8)【オン】を押す

(9) モノクロスタート または カラースタート を押す

◆スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(10)【OK】を押す

◆スキャン結果が画面に表示されます。

※ ◀ / ▶ で次の画像を確認できます。

(11)【全て保存】を押す

◆メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにデータが保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

設定を保持する

(1) スキャン ボタンを押す

(2)【メディア保存】を押す

(3) 初期値にしたい設定に変更する

(4) ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【設定を保持する】を押す

◆【設定を保持しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(5)【はい】を押す

◆変更した設定が初期値として登録されます。

※手順 (1) ～ (2) のあと、手順 (4) で【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

第 6 章

こんなときは

日常のお手入れ

本製品が汚れたら 90
タッチパネルを清掃する 90
本製品の外側を清掃する 90
スキャナー（読み取り部）を清掃する 91
給紙ローラーを清掃する 92
記録紙トレイ 1 の給紙ローラーを清掃する 92
記録紙トレイ 2 の給紙ローラーを清掃する 93
排紙ローラーを清掃する 94
本体内部を清掃する 95

インクがなくなったときは 96
インクカートリッジを交換する 97
インク残量を確認する 99

印刷が汚いときは 100
定期メンテナンス 100
プリントヘッドをクリーニングする 100
記録紙のうら面が汚れるときは 101
印刷テストを行う 102
印刷品質をチェックする 102
印刷位置のズレをチェックする 103

困ったときは

紙が詰まったときは 104
記録紙が詰まったときは 104
記録紙が前面に詰まったときは 105
記録紙が背面に詰まったときは 106
記録紙が前面と背面に詰まったときは 106
ADF に原稿が詰まったときは 108
紙片が本体内部に詰まったときは 109

エラーメッセージ 110
エラーが発生したときのファクスの転送方法 117

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に） 118

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に） 132

修理について 132

通信がうまくいかないときに回線環境を改善する 133
特別な回線に合わせて設定する 133
安心通信モードに設定する 133
ダイヤルトーン検出の設定をする 134
ナンバープレフィックスを設定する 135

初期状態に戻す 136
機能設定を元に戻す 136
ネットワーク設定を元に戻す 136
電話帳・履歴・メモリーを消去する 137
すべての設定を元に戻す 138

こんなときは 139
ユーザーズガイド CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは 139
Windows® の場合 139
Macintosh の場合 140
インターネット上のサポートの案内を見るときは 140
Windows® の場合 140
Macintosh の場合 141
最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは 141
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の URL 141
ドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードするときは 141
ドライバーをインストールするときの注意 142
ファームウェアをインストールするときの注意 142
停電になったときは 142
本製品のシリアルナンバーを確認する 143
本製品の設定内容や機能を確認する 143
本製品を輸送するときは 144
本製品を廃棄するときは 145

本製品が汚れたら

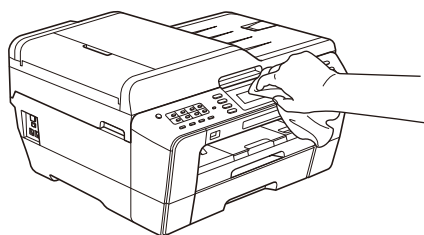
日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

タッチパネルを清掃する

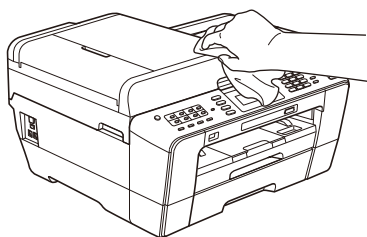
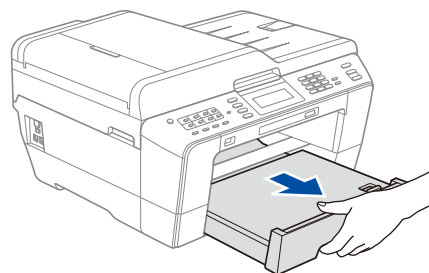
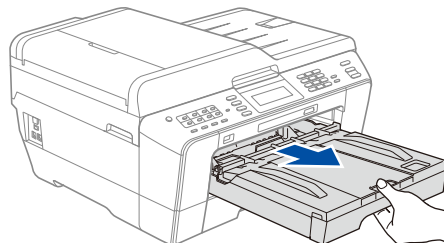
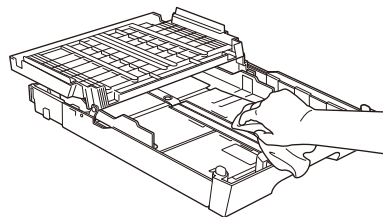
注意

- タッチパネルを清掃するときは、本製品の電源をオフしてください。
- 液体の洗浄剤は使用しないでください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽くふいてください。

本製品の外側を清掃する

注意

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。本製品の操作パネルの文字が消えることがあります。

1 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で本体を軽く拭く

2 記録紙トレイ 1、2 を引き出す

3 トレイカバーを開けて、記録紙トレイから記録紙を取り除き、記録紙トレイの内側と外側を軽く拭く

4 トレイカバーを閉じて、記録紙トレイ 1、2 をゆっくりと戻す

スキャナー（読み取り部）を清掃する

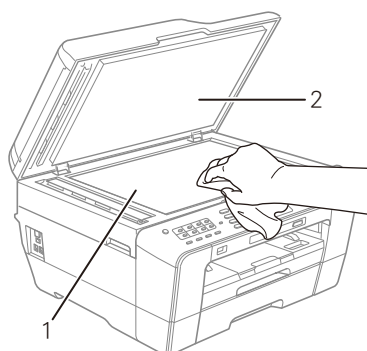
スキャナー（読み取り部）が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナー（読み取り部）を清掃してください。

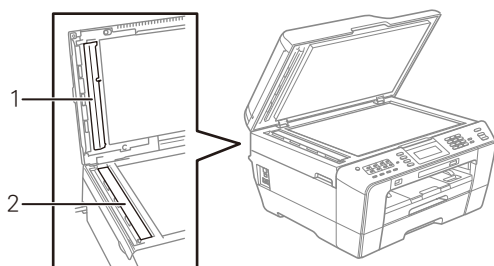
注意

■ 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台ガラス（1）、原稿台カバーのプラスチック面（2）を拭いてください。

3 ADF 読み取り部を拭く

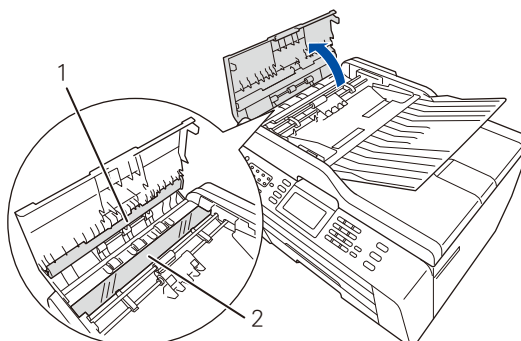
水を含ませて固く絞った柔らかい布で、白色のバー（1）と ADF 読み取り部（2）を拭いてください。

注意

■ コピーで黒い細い線が入るときには、ADF 読み取り部（2）を清掃してください。
非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、念入りに拭いてください。
汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のグラスを手で触ってどこに汚れがあるかを確認し、その部分をオーディオ用クリーニング液（イソプロピルアルコール）などを含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。
最後に ADF からコピーしてみて、黒い縦線が消えていることを確認してください。

無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーが使用できます。

4 原稿台カバーを閉じる

5 ADF カバーを開き、ADF 読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、白色のバー (1) と ADF 読み取り部 (2) を拭いてください。

6 ADF カバーを閉じる

7 電源プラグをコンセントに差し込む

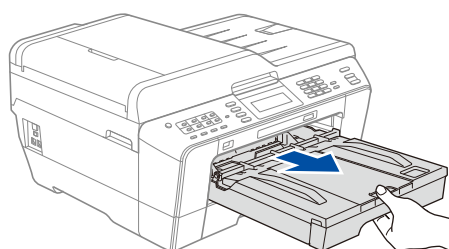
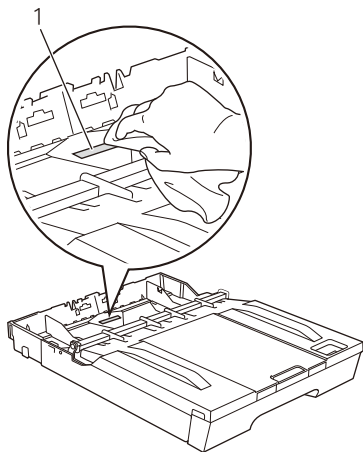
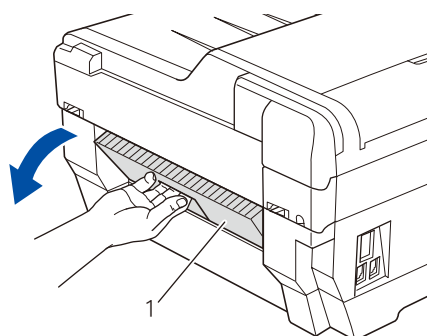
給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーが汚れていると、記録紙の汚れが発生したり給紙しにくくなったりします。

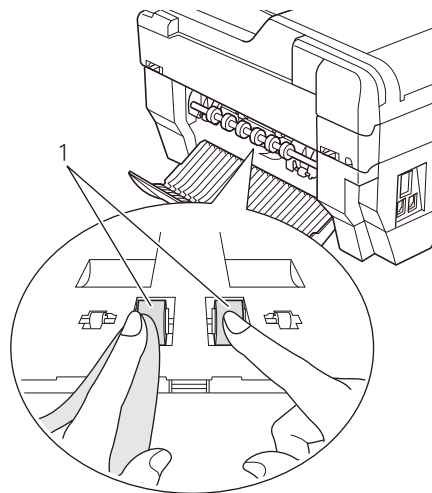
記録紙トレイ1の給紙ローラーを清掃する

1 電源プラグをコンセントから抜く

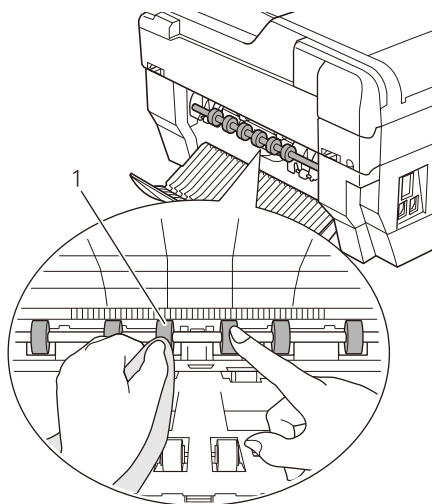
2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

3 記録紙トレイ 1 を引き出す

> 記録紙が残り数枚の場合に複数枚の印刷をするときは、コルクの部分（1）を拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。
>
>
>

4 本製品背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

5 下の給紙ローラー（1）を拭く

ローラーを縦方向にゆっくり回転させながら、横方向に拭いてください。

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

6 上の給紙ローラー（1）を拭く

ローラーを縦方向にゆっくり回転させながら、横方向に拭いてください。

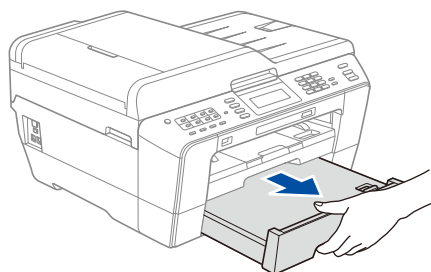
そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

7 紙づまり解除カバーを閉める

8 記録紙トレイ 1 をゆっくりと戻す

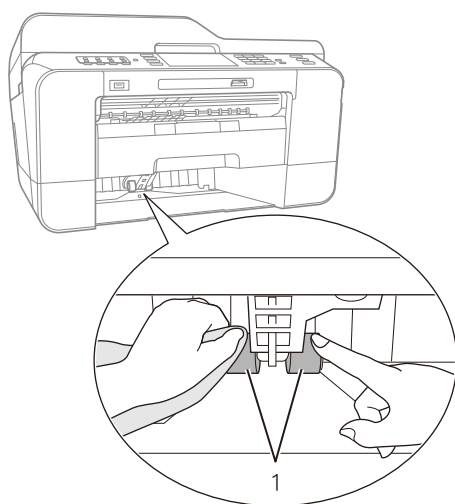
9 電源プラグをコンセントに差し込む

記録紙トレイ2の給紙ローラーを清掃する

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙トレイ 2 を引き出す

3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

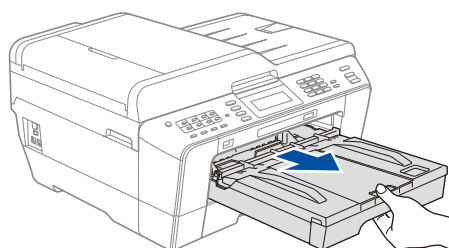
4 給紙ローラー（1）を拭く

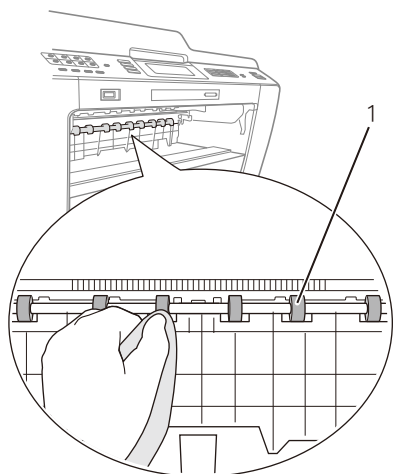
ローラーを縦方向にゆっくり回転させながら、横方向に拭いてください。
そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

5 記録紙トレイ 2 をゆっくりと戻す

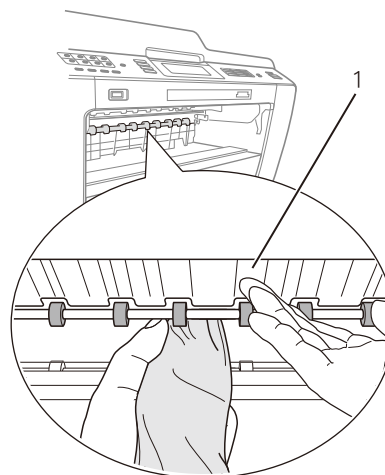
6 電源プラグをコンセントに差し込む

排紙ローラーを清掃する

排紙ローラーが汚れていると、記録紙が排出されなかったり、両面印刷ができなくなったりします。

1. **電源プラグをコンセントから抜く**
2. **記録紙トレイ 1 を引き出す**

3. **柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る**
4. **排紙ローラー（1）を拭く**

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

5. **フラップ（1）を手前に持ち上げて排紙ローラーのうら側を拭く**

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

6. **記録紙トレイ 1 をゆっくりと戻す**
7. **電源プラグをコンセントに差し込む**

本体内部を清掃する

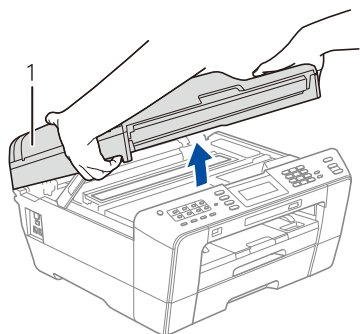
記録紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で記録紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れている可能性があります。

警告

● 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

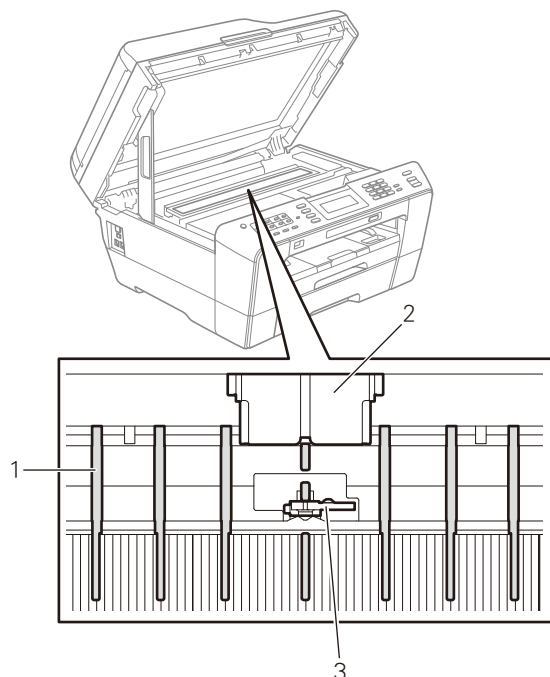
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 両手で本体カバー（1）を開く

本体カバーが固定される位置まで上げてください。

3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン（1）を軽く拭く

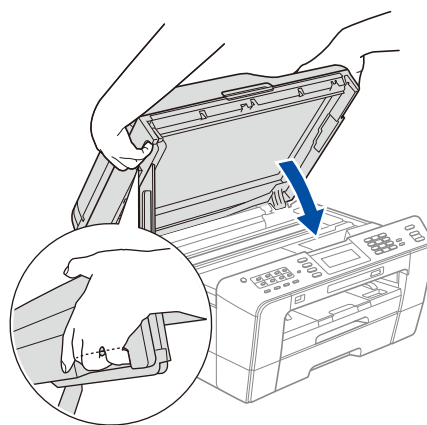
インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でていねいに拭き取ってください。

注意

■ (2) と (3) の部分には触れないでください。本製品が損傷する恐れがあります。

4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

5 電源プラグをコンセントに差し込む

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。インクの残りが少なくなると、文字のカスレなどが発生しやすくなります。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき（ブラックが少なくなったとき）：【まもなくインク切れ　BK】
- インクがなくなったとき（ブラックがなくなったとき）：【印刷できません　インク交換　BK】

注意

■【モノクロ印刷のみ可能です】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、「印刷設定」をモノクロに設定する必要があります。

  Windows® の場合

  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」

  Macintosh の場合

  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」

- 記録紙タイプが、コピーの場合は【普通紙】に、ファクス場合は【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。

ただし、次の場合はモノクロでも印刷ができなくなりますので、速やかにインクカートリッジを交換してください。

- 電源プラグを抜いたり、空のインクカートリッジを取り外した場合
- ブラックインクがなくなったとき
- 記録紙タイプを【ブラザー BP71 光沢】、【ブラザー BP61 光沢】、【その他光沢】、【OHP フィルム】に設定している場合
- プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしている場合

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

■ インクカートリッジは、色によってセットする場所が決められています。間違った色の場所にインクカートリッジをセットしないようご注意ください。

必要なときに、インク残量を確認することもできます。
⇒ 99 ページ「インク残量を確認する」

インクカートリッジは、それぞれの機種に対応したカートリッジをお買い求めください。お近くの販売店で交換用の純正インクカートリッジが手に入らないときは、弊社ダイレクトクラブでご注文ください。
⇒ 179 ページ「消耗品」
⇒ 181 ページ「消耗品などのご注文について」

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません　インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

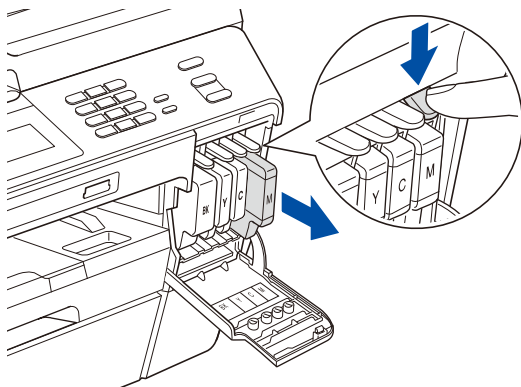
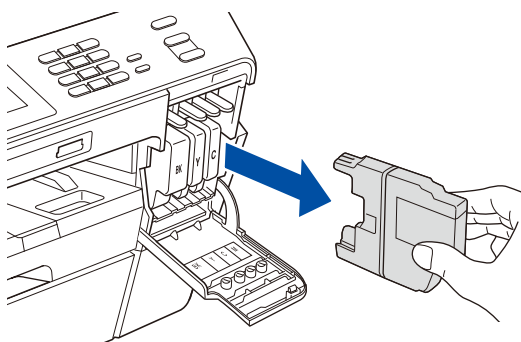
⚠注意

● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

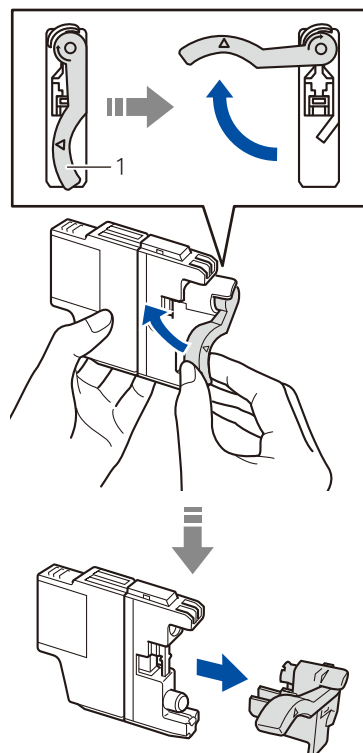
注意

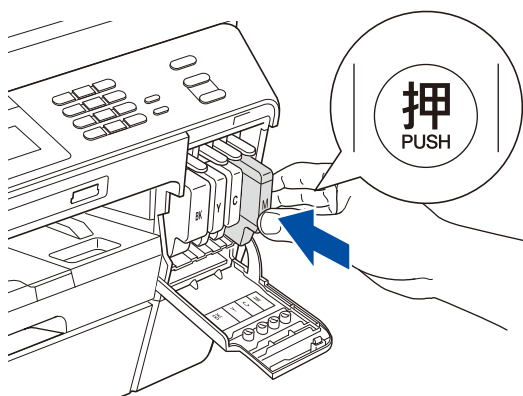
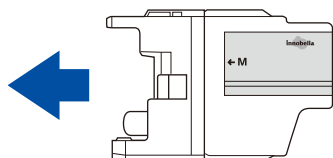
■ インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。
■ 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。
（6ヶ月以上のご使用は、水分が蒸発しインクの粘度が高まるため、吐出不良の恐れがあります。）
■ 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
■ インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる可能性があります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

2 なくなった色のリリースレバーを押し下げる

3 インクカートリッジを取り出す

4 新しいインクカートリッジを準備する

緑色の取っ手（1）を図のように回して封印を開放し、オレンジ色の保護カバーを引き抜きます。

ご使用の前に
ファクス
電話帳
コピー
フォトメディアキャプチャ
こんなときは
付録

5 新しいインクカートリッジを取り付ける

「カチッ」と音がしてリリースレバーが上がるまで、「押」の部分を押し込みます。

本製品に向かって左の面にラベルがあるように、垂直にして差し込みます。

注意

- 間違った色のインクをセットしてしまった場合は、正しい色の場所に付け直したあと、プリントヘッドのクリーニングを複数回行ってください。

  ⇒ 100 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」

6 インクカバーを閉じる

インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／ BK ブラック／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

内蔵カウンターがリセットされます。

注意

- 画面に【インクを交換しましたか／ BK ブラック／はい ／いいえ】と表示されたときは、必ず、【はい】を押してください。【はい】を押さなかった場合、本製品の内蔵カウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなることがあります。
- 【インクカートリッジがありません】【インクを検知できません】と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してください。
- インクカートリッジはリリースレバーの色に合わせて正しい位置にセットしてください。間違った位置にセットすると正しい色で印刷されません。

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジを廃却するときは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃却してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）
また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。
⇒ 181 ページ「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

［インク残量］

本製品は、以下の手順でインク残量を確認できます。

1 待ち受け画面のを押す

2 【インク残量】を押す

インク残量が表示されます。

3 停止/終了 を押して確認を終了する

パソコンからも本製品のインク残量を確認できます。詳しくは、下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「本製品の設定を確認・変更する」

印刷が汚いときは

横縞が目立つときなど、印刷画質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングや、印刷ズレを補正する必要があります。

印刷したものに横縞が目立つときは、ヘッドクリーニングが効果的です。

定期メンテナンス

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は自動的にプリントヘッドをクリーニングしています。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用いただくために以下の点にご注意ください。

注意

- ヘッドクリーニングをしない状態で長く放置すると目詰まりをおこします。ヘッドクリーニングが定期的に行われるように、本製品の電源プラグはコンセントに差したままご利用になることをお勧めします。
- On / Off で電源を切ることにより、本製品を使用しないときの消費電力を極力抑えることができます。
- 本製品の電源プラグを頻繁に抜き差しすると、内部の時計が狂うため、必要以上にクリーニングが実行されることがあります。その際、インクが多く消費されたり、クリーニング時に排出される微量のインクを吸収するための部品が通常よりも早く限界に達して、交換が必要となる場合があります。

プリントヘッドをクリーニングする

[ヘッドクリーニング]

プリントヘッドをクリーニングします。1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。

目詰まり時

正常

ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 待ち受け画面の［インク］を押す

2 【ヘッドクリーニング】を押す

ヘッドクリーニングの設定画面が表示されます。

3 クリーニングする色を選ぶ

【ブラック／カラー／全色】から選びます。

ヘッドクリーニングが開始されます。

【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約 1、2 分かかります。【全色】を選んだときは、約 2 分かかります。

記録紙のうら面が汚れるときは

印刷したあと、記録紙のうら面に汚れが付く場合は、プリンター内部（プラテン、給紙 / 排紙ローラー）にインクが付着している可能性があります。以下の手順で、クリーニングを行います。

1 本体内部のプラテンを清掃する

⇒ 95 ページ「本体内部を清掃する」

2 紙づまり解除カバーを開け、給紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 92 ページ「給紙ローラーを清掃する」

3 原稿台や ADF に原稿をセットせずに、［コピー］、［モノクロスタート］の順に押してコピーを行う

記録紙が排紙され、それによって本製品の内部がクリーニングされます。

印刷テストを行う

【テストプリント】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

印刷品質をチェックする

1 記録紙トレイ 1 に A4 サイズ以上の記録紙がセットされているかを確認する

B5 など、A4 よりも小さいサイズの記録紙がセットされている場合は、A4 サイズの記録紙をセットして、記録紙トレイ設定を必ず行ってください。

⇒ 36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」

注意

- 記録紙は記録紙トレイ 1 にセットしてください。印刷テスト用の記録紙はトレイ 1 から給紙されます。
- 記録紙をセットし直した場合は必ず記録紙トレイ設定を行ってください。⇒ 45 ページ「記録紙トレイの設定をする」

2 待ち受け画面の［インク］を押す

3 【テストプリント】を押す

4 【印刷品質チェックシート】を押す

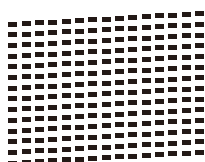
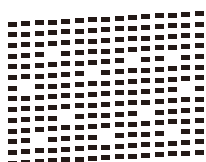
5 ［スタート カラー］を押す

「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

6 きれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、【いいえ】を押します。

＜良い例＞

＜悪い例＞

【はい】を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。⇒手順 11 へ

【いいえ】を押した場合は、【ブラックは OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。⇒手順 7 へ

7 黒色がきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【カラーは OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

8 カラーがきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【クリーニング を開始しますか?スタートボタンを押す】と表示されます。

9 ［スタート カラー］を押す

プリントヘッドがクリーニングされます。

クリーニングが終わると、【スタートボタンを押す】と表示されます。

10 ［スタート カラー］を押す

もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

きれいに印刷されていたら、【はい】を押して、印刷品質チェックを終了します。

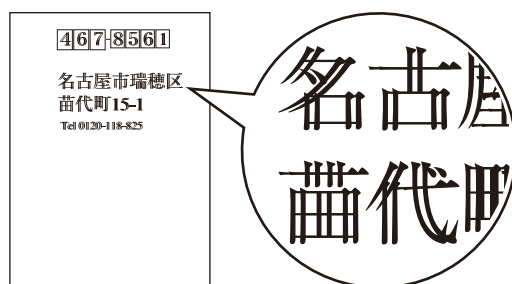
きれいに印刷されていない場合は、【いいえ】を押して手順 7 に戻ります。

11 ［停止／終了］を押してチェックを終了する

注意

- 上記の操作を行っても正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

印刷位置のズレをチェックする

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて補正します。

1 記録紙トレイ 1 に A4 サイズ以上の記録紙がセットされているかを確認する

B5 など、A4 よりも小さいサイズの記録紙がセットされている場合は、A4 サイズの記録紙をセットして、記録紙トレイ設定を必ず行ってください。

⇒ 36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」

注意

- 記録紙は記録紙トレイ 1 にセットしてください。印刷テスト用の記録紙はトレイ 1 から給紙されます。
- 記録紙をセットし直した場合は必ず記録紙トレイ設定を行ってください。
  ⇒ 45 ページ「記録紙トレイの設定をする」

2 待ち受け画面の [インク] を押す

3 【テストプリント】を押す

4 【印刷位置チェックシート】を押す

5 [モノクロスタート] を押す

「印刷位置チェックシート」が印刷されます。

6 (A) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

7 (B) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

8 (C) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

9 (D) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

10 [停止/終了] を押してチェックを終了する

紙が詰まったときは

記録紙が詰まったときは

注意

■ 紙づまりが解消されても本体カバーの開け閉めは必ず行ってください。

■ プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

■ 何度も紙が詰まるときは…。

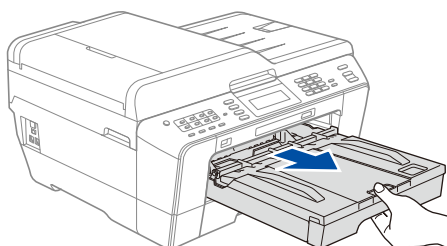
- 紙の曲がりやそりを直して使用してください。
⇒ 34 ページ「カールしている記録紙について」
- 給紙ローラーを清掃してください。
⇒ 92 ページ「給紙ローラーを清掃する」
- 紙づまり解除カバーがしっかりと閉められていることを確認してください。
⇒ 106 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 ❺
- 紙の切れ端、クリップなどの異物が内部に残っていないかどうか、記録紙トレイを抜いて確認してください。
- 記録紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。
⇒ 34 ページ「専用紙・推奨紙」
- それでもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグの抜き差しを行ってください。

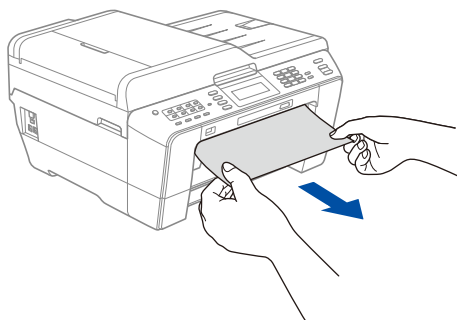
■ 紙づまりの対処法については、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://solutions.brother.co.jp/) の「よくあるご質問（Q&A)」で、より詳しい内容をご案内しています。

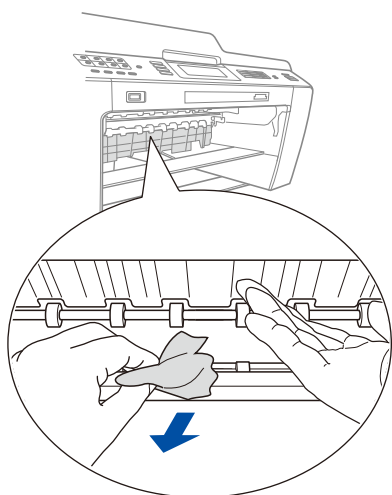
記録紙が前面に詰まったときは

前面に記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています　前】と表示されます。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙トレイ 1 を引き出す

3 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

4 フラップを持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

5 記録紙トレイ 1 をゆっくりと戻す

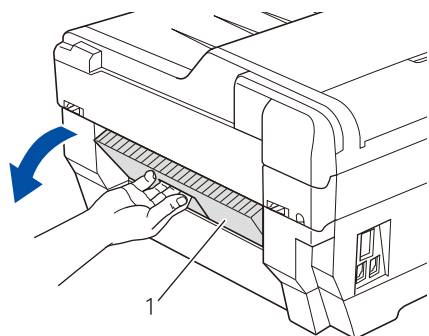
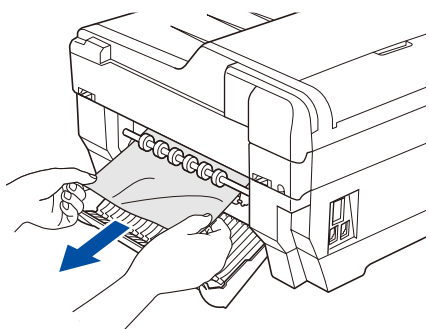
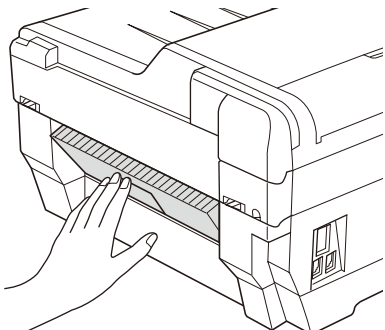
6 電源プラグをコンセントに差し込む

7 エラーメッセージが消えていることを確認する

> 上記の対処をしても紙づまりが繰り返される場合は、本体内部に小さな紙片が詰まっている可能性があります。
> ⇒ 109 ページ「紙片が本体内部に詰まったときは」

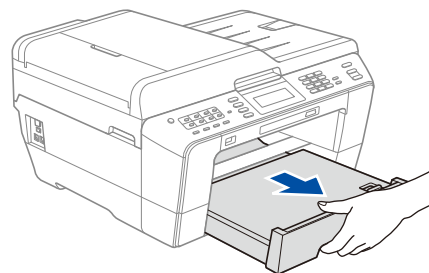
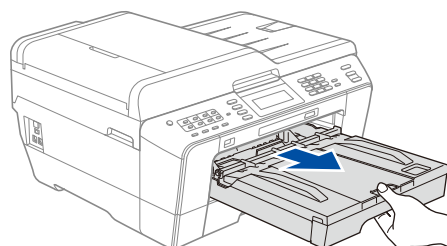
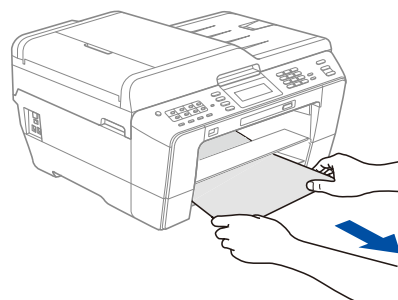
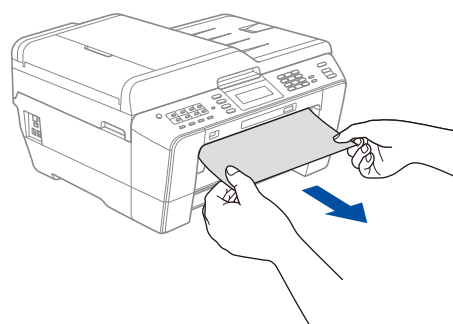
記録紙が背面に詰まったときは

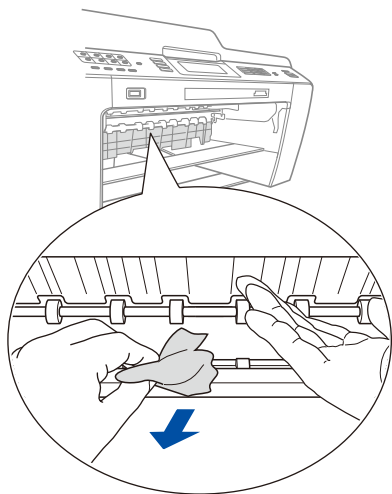
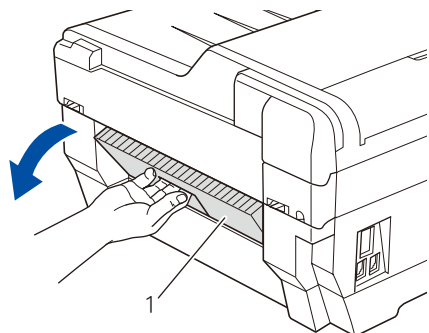
背面に記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています　後ろ】と表示されます。

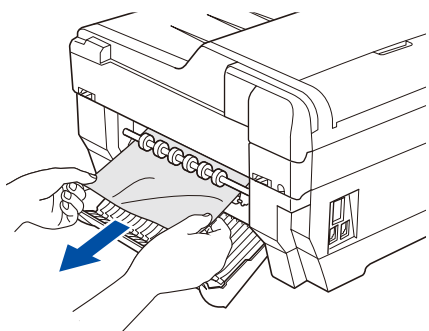
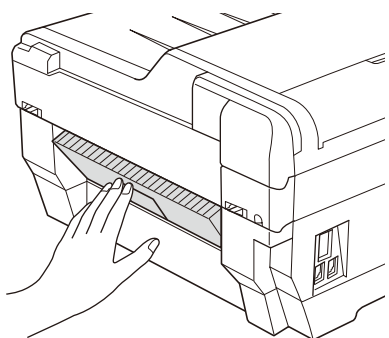
1. **電源プラグをコンセントから抜く**
2. **手差しトレイを使用している場合は、記録紙を取り除き、手差しトレイを閉じる**
3. **本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く**

4. **詰まった記録紙を手前に抜き取る**
   紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

5. **紙づまり解除カバーを閉じる**

6. **電源プラグをコンセントに差し込む**
7. **エラーメッセージが消えていることを確認する**

記録紙が前面と背面に詰まったときは

前面と背面に記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています　前，後ろ】と表示されます。

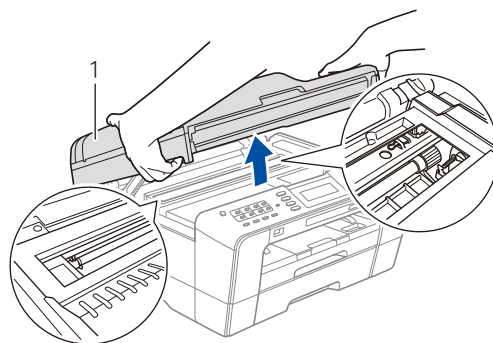
1. **電源プラグをコンセントから抜く**
2. **手差しトレイを使用している場合は、記録紙を取り除き、手差しトレイを閉じる**
3. **記録紙トレイ 1、2 を引き出す**

4. **詰まった記録紙を手前に抜き取る**
   紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

5 フラップを持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

6 本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

7 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

8 紙づまり解除カバーを閉じる

9 記録紙トレイ 1、2 をゆっくりと戻す

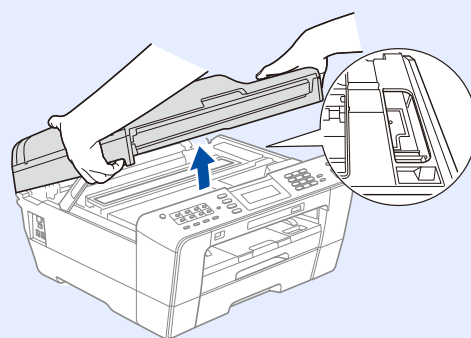
10 両手で本体カバー（1）を開けて、内部に記録紙が残っていないかを確認する

本体カバーが固定される位置まで上げてください。

残っている記録紙があれば、破れないように静かに抜き取ります。

注意

■ プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

■ 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。

■ プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。

(1) 電源プラグを差し込んだ状態で、 を長押しする

プリントヘッドが中央に移動します。

(2) 電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

(3) 本体カバーを閉めて、電源プラグをコンセントに差し込む

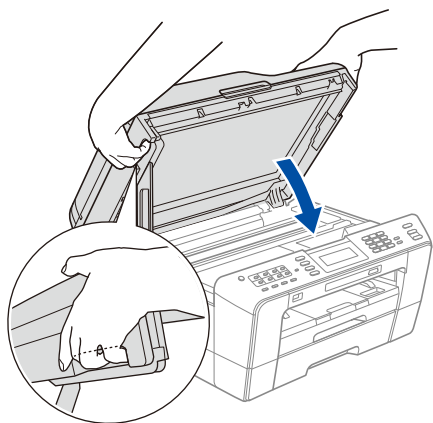
本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

■ 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

11 本体カバーを閉める

⚠注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

12 電源プラグをコンセントに差し込む

13 エラーメッセージが消えていることを確認する

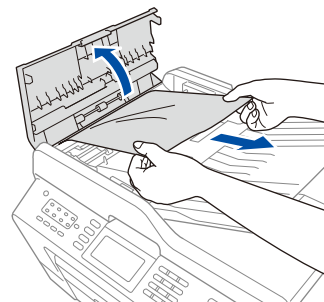
上記の対処をしても紙づまりが繰り返される場合は、本体内部に小さな紙片が詰まっている可能性があります。
⇒ 109 ページ「紙片が本体内部に詰まったときは」

ADF に原稿が詰まったときは

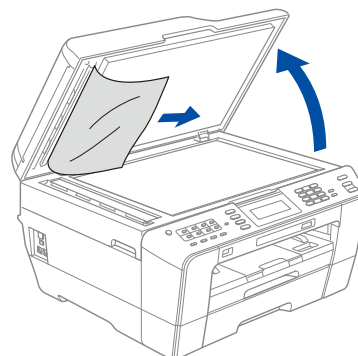
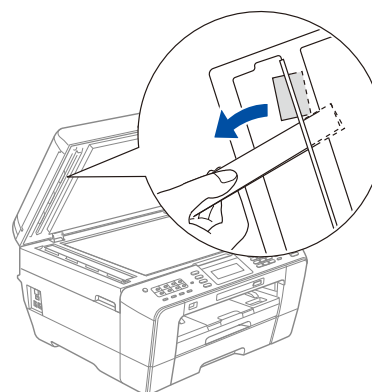
ADF に原稿が詰まると、画面に【原稿が詰まっています / 長すぎます】と表示されます。

1 ADF から、詰まっていない原稿をすべて取り除く

2 ADF カバーを開き、詰まった原稿を抜き取る

原稿が破れないように静かに抜き取ります。

3 ADF カバーを閉める

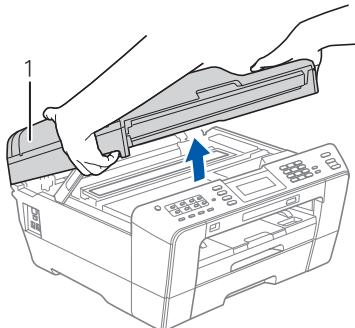
4 原稿台カバーを開き、詰まった原稿を抜き取る

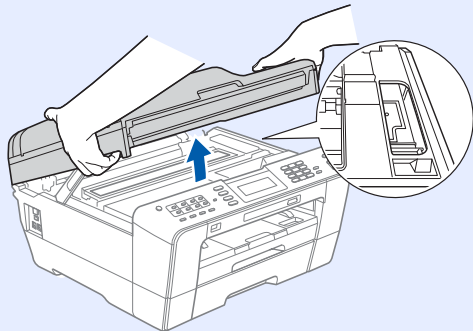
原稿が破れないように静かに抜き取ります。

原稿の切れ端を取り除くには、名刺などの曲がりにくい紙を ADF に差し込みます。

5 原稿台カバーを閉める

6 停止/終了 を押す

紙片が本体内部に詰まったときは

1 両手で本体カバー（1）を開く

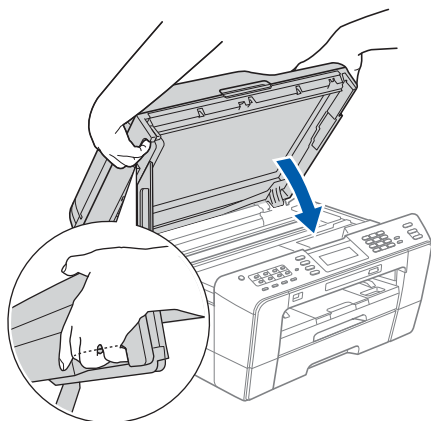
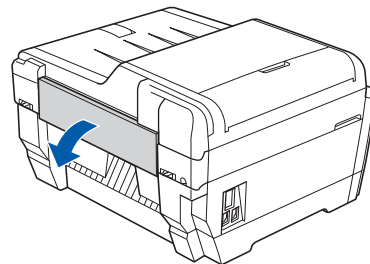
本体カバーが固定される位置まで上げてください。

注意

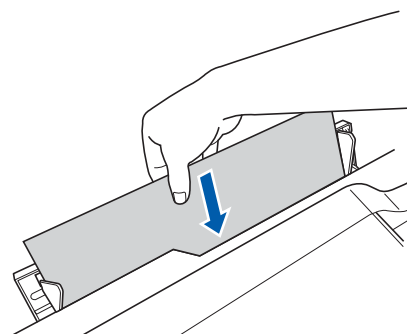
■ プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、停止/終了 を長押しして、プリントヘッドを中央に移動させてください。

2 電源プラグをコンセントから抜く

3 本体カバーを閉める

⚠注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

4 手差しトレイを開く

5 A4 サイズの厚紙を横向きにセットする

トレイの奥に厚紙を押し込んでください。押し込まないと、電源プラグを差し込んだときに厚紙が吸い込まれません。

光沢紙を使用することをお勧めします。

6 電源プラグをコンセントに差し込む

厚紙が吸い込まれて本体内部を通り、詰まっていた紙片と共に排紙されます。

7 排紙された厚紙を取り除く

8 記録紙トレイ 1 を引き出し、内部に紙片があれば取り除く

9 記録紙トレイ 1 をゆっくりと戻す

10 両手で本体カバーを開けて、内部に紙片が残っていないかを確認する

紙片が残っている場合は、手順 2 ～ 9 を何度か試します。

11 本体カバーを閉める

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

エラーメッセージ

本製品や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、エラーメッセージを控えた上でお客様相談窓口にご連絡ください。

エラーメッセージ	原因	対処
インクカートリッジがありません	インクカートリッジがセットされていない。	インクカートリッジをセットしてください。 ⇒ 97 ページ「インクカートリッジを交換する」
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいカートリッジを取り外し、もう一度取り付けてください。
	純正ではないインクカートリッジをセットしている。	純正のカートリッジをセットしてください。純正カートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	カチッと音がするまでカートリッジを確実に押してセットします。
印刷できません インク交換 BK Y C M	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になった。ファクスメッセージはすべてモノクロでメモリーに記憶されます。 一部のファクシミリからは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 97 ページ「インクカートリッジを交換する」
印刷できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 104 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 117 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
回線種別を設定できませんでした	ADSL の IP フォンに接続している。 PBX に接続している。 マンションアダプター回線に接続している。	手動で回線種別を設定し直してください。 ⇒ 24 ページ「回線種別を設定する」
画像が小さすぎます	画像が小さすぎて、画像の補正やトリミングができない。	この解像度ではご利用いただけません。一辺が 640pixel 以上となる解像度でご利用ください。
画像が長すぎます	画像が長すぎて、画像の補正やトリミングができない。	縦横比が、8：3 より小さい比率でご利用ください。カメラ側で変更できない場合は、パソコン等をご利用ください。また、パノラマ合成写真などのプリントはサポートしておりません。
カバーが開いています ADF（自動原稿送り装置）のカバーを閉じてください	ADF カバーが完全に閉まっていない。	ADF カバーを閉め直してください。

エラーメッセージ	原因	対処
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを閉め直してください。
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	本体カバーが完全に閉まっていない。	本体カバーを閉め直してください。
記録紙が詰まっています　後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 106 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」
	ガイドが記録紙のサイズに合っていない。	ガイドが記録紙のサイズに合っていることを確認してください。
	記録紙トレイが広げられている。	A5 サイズよりも小さなサイズの記録紙をセットする場合は、記録紙トレイを広げないでください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 92 ページ「給紙ローラーを清掃する」
記録紙が詰まっています　前	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 105 ページ「記録紙が前面に詰まったときは」
	ガイドが記録紙のサイズに合っていない。	ガイドが記録紙のサイズに合っていることを確認してください。
	記録紙トレイが広げられている。	A5 サイズよりも小さなサイズの記録紙をセットする場合は、記録紙トレイを広げないでください。
記録紙が詰まっています　前，後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒106 ページ「記録紙が前面と背面に詰まったときは」
	ガイドが記録紙のサイズに合っていない。	ガイドが記録紙のサイズに合っていることを確認してください。
	記録紙トレイが広げられている。	A5 サイズよりも小さなサイズの記録紙をセットする場合は、記録紙トレイを広げないでください。
記録紙サイズが違います	セットされている記録紙のサイズが間違っている。	セットした記録紙のサイズを確認してください。 記録紙が横長にセットされているときは、トレイの目盛りに合わせて縦長にセットして、スタート カラー または モノクロ スタート を押してください。 ⇒ 32 ページ「記録紙のセット」
記録紙を送れません 記録紙を入れ直してスタート を押してください	記録紙がないか、正しくセットされていない。	記録紙を補給するか、正しくセットして、スタート カラー または モノクロ スタート を押してください。 ⇒ 32 ページ「記録紙のセット」
	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 104 ページ「記録紙が詰まったときは」
	紙づまり解除カバーが開いている。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 104 ページ「記録紙が詰まったときは」
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 92 ページ「給紙ローラーを清掃する」
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ 100 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」

エラーメッセージ	原因	対処
クリーニングできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 104 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 117 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
原稿が詰まっています / 長すぎます	原稿が ADF に詰まっている。	詰まった原稿を取り除き、正しくセットし直してください。原稿づまりが解消されても ADF の開け閉めは必ず行ってください。 ⇒ 108 ページ「ADF に原稿が詰まったときは」
室温が高すぎます 室温を下げてください	室温が高くなっている。	室温を下げてお使いください。
室温が低すぎます 室温を上げてください	室温が低くなっている。	室温を上げてお使いください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外して On/Off ボタンでリセットしてください	本製品に対応していない USB 機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから写真をプリントすることもできます。 ⇒77ページ「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする」
使用不能な USB 機器です USB 機器を抜いてください	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
使用不能なUSBハブです USB ハブを抜いてください	USB ハブまたはハブを内蔵した USB 機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部の USB フラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応しておりません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。 ※使用可能な USB 機器の詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）〈http://solutions.brother.co.jp/〉にある「よくあるご質問（Q&A）」の「USB フラッシュメモリーの他社製品動作確認情報」をご覧ください。
初期化できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 104 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 117 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」

エラーメッセージ	原因	対処
スキャンできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 104 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 117 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
切断されました	通信中に相手機から回線が切断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
タッチパネルエラー	電源オン後のタッチパネルの初期化完了前に画面に触れた。	電源プラグをコンセントから外すか、本機の電源をオフにします。タッチパネルに乗ったり触れたりしているものがないことを確認し、本機の電源プラグをコンセントに差し込むか、電源をオンにします。画面上にボタンが表示されるまで待ってからタッチパネルを使用してください。
	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っている。	タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用している。(相手側を含む)	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
データが残っています	印刷データが本体のメモリーに残っている。	停止/終了 を押してください。 (印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。)
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
トレイ設定が間違っています	本製品で設定した【記録紙サイズ】が、パソコンからの印刷やコピーを行うときに指定した記録紙のサイズと一致していない。	記録紙トレイ設定 を押して、【記録紙サイズ】の設定を印刷したいサイズに変更し、トレイに印刷したいサイズの記録紙をセットしてください。 ⇒ 45 ページ「記録紙トレイの設定をする」 モノクロスタート または スタートカラー を押して印刷を再開してください。
廃インク吸収パッド満杯です	廃インク吸収パッド[*1]の吸収量が限界に達した。 [*1] ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
話し中/応答がありません	相手先が話し中か応答がなかった。	少し時間を置いて、かけ直してください。相手がファクスではない場合は応答しないので、再ダイヤルを繰り返したあと、【話し中 / 応答がありません】になります。

エラーメッセージ	原因	対処
ファイルがありません	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。
ファクスメモリーが少なくなりました	みるだけ受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを一部またはすべて消去してメモリーを確保してください。 ⇒58ページ「ファクスをメモリーから消去する」(一部) ⇒59ページ「すべてのファクスを消去する」(すべて)
	メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	メモリー受信でメモリーに記憶されたファクスデータを印刷または消去してメモリーを確保してください。 ⇒61ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 62 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 ただし、印刷せずに直接メモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。 ⇒ 61 ページ「ファクスをメモリーで受信する」
	• 記録紙がセットされていない • インクが不足している 上記いずれかまたは両方の理由で、ファクスの受信方法がメモリー代行受信に切り替わり、ファクスが印刷されずにメモリーに蓄積され、そのデータ量が保存できる限界に近づいている。	記録紙をセットし、インクに不足があればインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」 ⇒ 97 ページ「インクカートリッジを交換する」
プリンタ使用中	本製品のプリンターが動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。
まもなくインク切れ BK Y C M	インクの残りが少なくなっている。 このとき、カラーファクスの受信は中止されるため、カラーファクスが送られてきても、モノクロで受信されます。また、一部のファクシミリからは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 97 ページ「インクカートリッジを交換する」 弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。 ⇒ 181 ページ「消耗品などのご注文について」 なお、モノクロでのファクス受信やカラーコピーに影響はありません。【印刷できません】になるまで、利用できます。
まもなく廃インク吸収パッド満杯	廃インク吸収パッド[*1]の吸収量が限界に近づいている。 [*1] ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お買い求めいただいた販売店またはコールセンター(お客様相談窓口)にご連絡ください。
メディアがいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、合わせて 999 個以上のフォルダーとファイルが保存されている。	本製品からメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存できるフォルダーとファイルの数は最大 999 個です。 フォルダーとファイルの数を 999 個より少なくしてください。 999 個より少ない場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。

エラーメッセージ	原因	対処
メモリーがいっぱいです	空きメモリーが不足している。	メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 58 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 58 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 61 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 62 ページ「ファクスをメモリーから消去する」
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてからお試しください。
メモリーがいっぱいです ■ を押してください	空きメモリーが不足している。	停止/終了 を押して、送信またはコピーをキャンセルします。 メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 58 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 58 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 61 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 62 ページ「ファクスをメモリーから消去する」
メモリーがいっぱいです 読み取り分送信⇒ ■ □ 中止⇒■	空きメモリーが不足している。	すでに読み取りが終わっているファクス原稿は、スタート カラー または モノクロ スタート を押すと送信されます。 停止/終了 を押すと送信をキャンセルします。 メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 58 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 58 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒61ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 62 ページ「ファクスをメモリーから消去する」
メモリカードエラー（メモリーカードがセットされている場合） 使用不能な USB 機器です（USB フラッシュメモリーがセットされている場合）	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがフォーマットされていない。 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが壊れている。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを抜き、パソコンでフォーマットしてください。 または、正しいメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品のメモリーがいっぱいで、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルが読み取れない。	本製品のメモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 または、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データのサイズを小さくしてください。

エラーメッセージ	原因	対処
モノクロ印刷のみ可能です	1 色以上のカラーインクがなくなっている。 この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。 • 印刷 プリンタードライバーからグレースケール印刷の指示をすれば、モノクロで引き続き印刷できます。通常の使用頻度で約1ヶ月間使用できます。ただし、両面印刷はできません。 • コピー 記録紙タイプを【普通紙】に設定している場合、モノクロでコピーできます。ただし、両面コピーはできません。 • ファクス 記録紙タイプを【普通紙】【インクジェット紙】に設定している場合、モノクロで受信し、印刷します。 ただし、次の場合は新しいインクカートリッジを取り付けるまで、モノクロでも印刷できません。 • 電源プラグを抜いたり、空のインクカートリッジを取り外した場合 • 記録紙タイプを【ブラザーBP71 光沢】、【ブラザーBP61 光沢】、【その他光沢】、【OHP フィルム】に設定している場合 • プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしている場合	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 97 ページ「インクカートリッジを交換する」

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】【初期化できません】などのエラーが解決されない場合は、本製品でファクスメッセージを印刷できません。以下の方法でメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかパソコンに転送できます。

別のファクシミリに転送する場合

(1) 停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる
(2) 【メニュー】を押す
(3) ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【サービス】を押す
(4) 【データ転送】を押す
(5) 【ファクス転送】を押す
◆【受信データはありません】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。
◆ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 (6) に進んでください。
(6) 転送先のファクス番号を入力し、モノクロスタート を押す
※発信元登録がされていないと転送ができません。

本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合

(1) 停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる
(2) 【メニュー】を押す
(3) 【ファクス】を押す
(4) 【受信設定】を押す
(5) ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す
(6) 【PC ファクス受信】を押す
(7) メッセージを確認して、【OK】を押す
◆パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」
(8) PC-FAX 受信を起動させたパソコンを選び、OK を押す
USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。
◆メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスを PC に転送しますか ?／はい／いいえ】と表示されます。
(9) 【はい】を押す
◆現在「みるだけ受信」が設定されていない場合は、このあと、本体で印刷するかどうかを選択する画面が表示されます。【本体では印刷しない】を押してください。
(10) 停止/終了 を押す
※この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【メモリー受信】の設定を当初の状態（オフ／ファクス転送／電話呼び出し／メモリ保持のみ）に戻してください。（154 ページ）

通信管理レポートを別のファクシミリに転送する場合

(1) 停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる
(2) 【メニュー】を押す
(3) ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【サービス】を押す
(4) 【データ転送】を押す
(5) 【レポート転送】を押す
(6) 転送先のファクス番号を入力し、モノクロスタート を押す
※発信元登録がされていないと転送ができません。

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約されていますか。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
ISDN	電話がかかってきても本製品の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているか確認してください。
		電源が入っていますか。	電源プラグを接続してください。
		本製品に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプターが正しく設定されていません。ターミナルアダプターの設定を確認してください。また、ターミナルアダプターの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	本製品が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。（初期値のままで使用可能です。）
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
			i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
		相手側のターミナルアダプターの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	ISDNの交換機で、グローバル着信をしないように設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【ISDN】にしてください。 ⇒ 133 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	ファクス送受信ができない。 （外付け電話も使えない）	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口にご連絡ください。
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
リモコン機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		携帯電話からかけていませんか。	トーン信号の出せる固定電話からかけ直してください。
ファクス/コピー	ファクス送信/受信ができない。	本製品と接続している電話機が通話中ではありませんか。	本製品と接続している電話機を確認してください。
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 24 ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。（ISDN回線の場合）	ターミナルアダプターの設定を確認してください。
		インターネット電話やIPフォンなど、IP網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話やIPフォンなど、IP網の状況によりファクス送信/受信ができないことがあります。IP網を使わずに送信/受信してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
			安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 133 ページ「安心通信モードに設定する」
		ファクスを送信/受信できる相手とできない相手がいますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 133 ページ「安心通信モードに設定する」
		みるだけ受信が設定されていませんか。	みるだけ受信が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 57 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/印刷する」 自動で記録紙に印刷したいときは「みるだけ受信」の設定を解除してください。 ⇒ 59 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）」
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ファクスを受信できない。	転送電話（ボイスワープ）の契約をしていませんか。	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	カラーファクス受信ができない。	みるだけ受信を【する】にしていませんか。	カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【ファクス転送】にしていませんか。	カラーファクスを転送することはできません。カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【メモリ保持のみ】にしていませんか。	カラーファクスをメモリーに記憶させることはできません。カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【PC ファクス受信】にしていませんか。	カラーファクスをパソコンに転送することはできません。カラーファクスはパソコンに転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		安心通信モードを【安心(VoIP）】にしていませんか。	カラーファクスを受信することはできません。 カラーファクスを受信するには、安心通信モードを【標準】または【高速】にしてください。 ⇒ 133 ページ「安心通信モードに設定する」
		インクが残り少なくなるとカラーファクスの受信ができません。	カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 97 ページ「インクカートリッジを交換する」
	ファクスを送信できない場合がある。(IP 網を使用している場合)	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話(NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに 履歴/ポーズ を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		自動送信機能を利用していますか。	
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など) を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。
	ファクスを複数枚送信できない。	リアルタイム送信を【する】にしていませんか。	リアルタイム送信を【しない】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「原稿をすぐに送る」
		オンフック を押してファクスを送信していませんか。	オンフック を押さずに送信してください。
		カラーファクスを原稿台ガラスから送信していませんか。	カラーファクスを複数枚送るときは、ADF をお使いください。 ⇒ 52 ページ「ADF からファクスを送る」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	送信後、相手から画像が乱れている（黒い縦の線が入る）と連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 ⇒ 91 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認してください。または、別のファクスから相手先に送信してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「画質や濃度を変更する」
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないようにしてください。 ⇒かんたん設置ガイド
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本製品の読み取り部分、または受信側ファクシミリのプリンターのヘッドが汚れていませんか。	読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。 ⇒ 91 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。
	受信したファクスが縮んでいる。	安心通信モードを【安心（VoIP）】に設定していませんか。	安心通信モードを【標準】に設定してください。 ⇒ 133 ページ「安心通信モードに設定する」
	受信したファクスに白抜けした所がある。		
	受信 / コピーしても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、本体カバーを正しくセットしてください。 ⇒ 32 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がなくなっていませんか。	
		本体カバーまたはインクカバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙が詰まっていませんか。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 104 ページ「記録紙が詰まったときは」
		インクの残量は十分ですか。	インク残量を確認してください。 ⇒ 99 ページ「インク残量を確認する」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 57 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷するには、「みるだけ受信」の設定を解除してください。 ⇒ 59 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 92 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる。	相手が原稿を裏返しに送信していませんか。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。 ⇒ 73 ページ「コピーする」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	読み取り部を清掃してください。 ⇒ 91 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
	コピーに黒い縦の線が入る。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 91 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 103 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿が A4 より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「自動的に縮小して受ける」
	自動受信できない。	呼出回数が多すぎませんか。	呼出回数を 6 回以下に設定してください。 ⇒ 30 ページ「呼出回数を設定する（ファクスのとき着信音を鳴らさずに受信する）」 または、モノクロ スタート や スタート カラー を押して手動で受信してください。
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	自動で記録紙に印刷するには、「みるだけ受信」の設定を解除してください。 ⇒ 59 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する）」
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足しているとファクスが受信できない場合があります。メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。
	構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない。	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認します。	特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ 133 ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 109 ページ「紙片が本体内部に詰まったときは」
	自動両面コピーのとき、記録紙が何度も詰まる。	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 94 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面コピーのとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	あんしん設定（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「両面コピーする」）をお試しください。
	ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ADF 使用時、原稿が送り込まれていかない。	画面に【原稿セット OK】と表示される位置まで原稿をしっかりと差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実にセットしてください。
		ADF カバーは確実に閉まっていますか。	ADF カバーを閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスまたはコピーしてください。
		原稿が小さすぎませんか。	小さすぎる原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていませんか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取り除いてください。
	ADF 使用時、原稿が斜めになってしまう。	ADF ガイドを原稿に合わせていますか。	ADF ガイドを原稿の幅に合わせてから原稿をセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていませんか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取り除いてください。
	ADF 使用時、本製品の動作が遅くなる。	大量の原稿を連続で読み取らせていませんか。	製品の温度上昇を防ぐため、動作が遅くなることがあります。しばらく時間をおいてからご使用ください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 92 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を 1 枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 32 ページ「記録紙のセット」
	拡大 / 縮小で【用紙に合わせる】が機能しない。	セットした原稿が傾いていませんか。	セットした原稿が 3° 以上傾いていると、原稿サイズが正しく検知されず、【用紙に合わせる】が機能しません。原稿が傾かないようにセットし直してください。
	A3/B4 サイズの記録紙を使うと用紙が汚れたり詰まったりする。	横目の記録紙を使用していませんか。	縦目紙を使用してください。 縦目／横目の見分けかた ⇒ 47 ページ「A3/B4 横目あんしん給紙」
			横目紙を使用する場合は、【A3/B4 横目あんしん給紙】を【オン】に設定してください。 ⇒ 47 ページ「A3/B4 横目あんしん給紙」 それでも効果がない場合は、【コピー濃度】の設定を薄くしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「設定を変えてコピーする」
	印刷面の下部が汚れる。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 91 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」手順 9

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 32 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	コルクの部分を清掃してください。 ⇒ 92 ページ「記録紙トレイ 1 の給紙ローラーを清掃する」手順 ❸
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	パソコンから印刷できない。 （①～⑪の順番に試してください。）	① 本製品とパソコンの接続方式（USB、有線 LAN、無線 LAN）を変更していませんか。	接続方式を変更する場合は、新しい接続方式のドライバーを追加インストールする必要があります。 ⇒かんたん設置ガイド また、有線 LAN と無線 LAN を切り替える場合は、インストール作業を行う前に、本製品のネットワークメニューから【有線 / 無線切替え】で、新しい接続方式に設定を切り替えてください（【メニュー】→【ネットワーク】→【有線 / 無線切替え】→新たに変更したい接続方式、の順に選択）。
		② 本製品の電源は入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 110 ページ「エラーメッセージ」
		③ USB ケーブルはパソコンと本体側にしっかりと接続されていますか。 また、LAN ケーブルでの接続の場合は正しく接続されていますか。無線LAN接続の場合、正しくセットアップされていますか。	本体側と、パソコン側の両方の USB ケーブルを差し直してください。 ※USBハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは（トラブル対処方法）」をご覧ください。
		④ インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒97ページ「インクカートリッジを交換する」
		⑤ 印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。［プリンター］アイコンを開き、［プリンター］から［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。 <Windows® 7> ［スタート］－［デバイスとプリンター］－［プリンターとFAX］の順にクリックします。 <Windows Vista®> ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。 <Windows® XP> ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。 <Windows® 2000> ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。（①～⑪の順番に試してください。）	⑥ ［通常使用するプリンター］の設定になっていますか。	プリンターアイコンにチェックマークがついているか確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、［通常使うプリンターに設定］をクリックしてチェックをつけます。
		⑦ ［一時停止］の状態になっていませんか。	プリンターアイコンを右クリックして、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。
		⑧ ［オフライン］の状態になっていませんか。	プリンターアイコンを右クリックして、［プリンターをオンラインで使用する］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンターをオンラインで使用する］をクリックしてください。
		⑨ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか。	プリンターアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして印刷先のポートが正しく設定されているか確認してください。
		⑩ 以上の手順をすべて確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してみてください。	
		⑪ ①～⑩までをすべて確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、別冊の「かんたん設置ガイド」に従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法（Windows® のみ） ［スタート］－［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-J6910CDW］－［アンインストール］の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。	
	斜めに印刷されてしまう。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙をセットし直してください。 ⇒ 32 ページ「記録紙のセット」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉じてください。 ⇒ 106 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 5
	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」手順 9
		記録紙が正しくセットされていますか。	トレイに記録紙を正しくセットしてください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉じてください。 ⇒ 106 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 5
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	コルクの部分を清掃してください。 ⇒ 92 ページ「記録紙トレイ 1 の給紙ローラーを清掃する」手順 3
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 92 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を 1 枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 32 ページ「記録紙のセット」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	A3/B4 サイズの記録紙を使うと用紙が汚れたり詰まったりする。	横目の記録紙を使用していませんか。	縦目紙を使用してください。 縦目／横目の見分けかた ⇒ 47 ページ「A3/B4 横目あんしん給紙」
			横目紙を使用する場合は、プリンタードライバーの［基本設定］タブの［用紙サイズ］を［（横目紙あんしん給紙）］が付いた設定に変更します。 それでも効果がない場合は、［基本設定］タブの［乾きにくい紙］をチェックしてください。
	印刷された画像に規則的に横縞が現れる。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしてください。
	文字や画像がゆがんでいる。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 32 ページ「記録紙のセット」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 106 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 ❺
	印刷速度が極端に遅い。	［画質強調］が設定されていませんか。	プリンタードライバーの［拡張機能］タブの［カラー / モノクロ］の［カラー設定］をクリックして表示される画面で、［画質強調］のチェックを外してください。
		［ふちなし印刷］の設定になっていませんか。	ふちなし印刷中は通常よりも速度が遅くなります。印刷速度を優先するときは、Windows®の場合は、プリンタードライバーの［基本設定］タブにある［ふちなし印刷］のチェックを外してください。 Macintosh の場合は、ページ設定画面［用紙サイズ］で［（ふちなし）］の記載がないものを選んでください。
	［画質強調］が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では［画質強調］は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも24ビットカラー以上をご使用ください。Windows® の［スタート］メニューから（［設定］－）［コントロールパネル］－［画面］－［設定］を選び、画面の色を 24 ビット以上に設定してください。
		画素数の多いカメラで撮影した画像データですか。	メガピクセルのカメラで撮影した画像データは［画質強調］に設定する必要はありません。画素数の少ないカメラで撮影した画像データに対して有効です。
	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていないですか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 パッケージに有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本製品の使用環境温度内でご利用ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	印刷したページの上部中央に汚れ、またはしみがある。	記録紙が厚すぎる、またはカールしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 33 ページ「使用できる記録紙」 カールしていない記録紙をご利用ください。
	印刷面の下部が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」手順 9
	印刷面のうら側が汚れたり、給紙ローラーのあとが残る。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 92 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		プラテンが汚れていませんか。	プラテンを清掃してください。 ⇒ 95 ページ「本体内部を清掃する」
	印刷された記録紙にしわがよる。	［双方向印刷］の設定になっていませんか。	Windows®の場合は、プリンタードライバーの［拡張機能］タブで［カラー / モノクロ］の［カラー設定］をクリックし、［双方向印刷］のチェックを外してください。Macintosh の場合は、印刷設定画面の［拡張設定］－［その他特殊機能］をクリックし、［双方向印刷］のチェックを外してください。
	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		印刷面を上にしてセットしていませんか。	印刷面を下にして、セットしてください。 ⇒36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 103 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 100 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 33 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 34 ページ「専用紙・推奨紙」
	カラーで受信したはずのファクスがモノクロで印刷される。	カラーインクカートリッジが空かほとんど空になっていませんか。	カラー用のカートリッジを交換してください。
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本製品が平らで、水平な場所に置かれているか確認してください。	問題が改善されない場合は、ヘッドクリーニングを数回します。印刷し直しても印刷の質が良くならない場合は、インクカートリッジを交換してください。 インクカートリッジを交換してもまだ印刷の質に問題がある場合、お客様相談窓口にご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。 ⇒ 97 ページ「インクカートリッジを交換する」
		プリントヘッドがずれていませんか。	印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 103 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
		プリンタードライバーの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。
		インクカートリッジの有効期限が過ぎていませんか。	有効期限内のインクカートリッジをお使いください。
		本製品に取り付けられているインクカートリッジが、6ヶ月以上取り付けられたままになっていませんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。
		純正以外のインクを使用していませんか。	4色とも純正インクカートリッジと交換して、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷の質が悪い場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 33 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 34 ページ「専用紙・推奨紙」
		室温が高すぎるか低すぎませんか。	印刷品質のためには、室温が 20 ～ 33 ℃の状態でご利用になることをお勧めします。 ⇒ 167 ページ「電源その他」
	写真用光沢紙で印刷したとき、インクがにじんだり、流れたりする。	印刷面を上にしてセットしていませんか。	印刷面を下にして、セットしてください。 ⇒36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。
	写真プリントや動画プリントでインクが乾くのに時間がかかる。	印刷面を上にしてセットしていませんか。	印刷面を下にして、セットしてください。 ⇒36 ページ「記録紙トレイ 1 にセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンからプリントしている場合は、プリンタードライバーの［基本設定］タブの用紙種類で設定します。
	［2 ページ］印刷がうまく印刷できない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタードライバーの設定を確認してください。	アプリケーションで［2 ページ］を設定している場合は、プリンタードライバーの［2 ページ］の設定を解除してください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 109 ページ「紙片が本体内部に詰まったときは」
	自動両面印刷のとき、記録紙が何度も詰まる。	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 94 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面印刷のとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	両面印刷あんしん設定をお試しください。 Windows® の場合 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Windows® 編」－「［拡張機能］タブの設定」 Macintosh の場合 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Macintosh 編」－「拡張設定」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
デジカメプリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	本体側とカメラ側の両方の USB ケーブルを差し直してください。USB ケーブルは、本製品前面の PictBridge ケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridge に対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridge のロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
	写真や動画の画像の一部がプリントされない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
スキャナー	スキャン開始時に TWAIN エラーが表示される。	ブラザー TWAIN ドライバーが選択されていますか。	アプリケーションで［ファイル］－［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、ブラザー TWAIN ドライバーを選択し、［選択］をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
	ADF を使ってきれいにスキャンできない。（黒い縦の線が入る）	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 91 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
ソフト Windows®	［本製品接続エラー］か［本製品はビジー状態です。］というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付 CD-ROM、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	Adobe® Illustrator® を使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	BRUSB： USBXXX： への書き込みエラーが表示される。	本製品の画面に【印刷できません インク交換：XX*1】と表示されていませんか。 *1XX は BK など、インクのカラー表示です。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。 ※リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter を使います。 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラーでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のフォルダーを表示していませんか。	パソコン上で［取り出し］操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。(メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラーをすべて閉じないと、［取り出し］操作はできません。)
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れ直し、電源を入れてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「リモートセットアップを起動する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Windows®	ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されます。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバーのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、接続方式を選ぶ画面で、[カスタム] をチェックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 ・IP 取得方法の変更 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「IP 取得方法」 ・ネットワーク設定リストの印刷 ⇒かんたん設置ガイド「ネットワーク設定リストを印刷する」	
ソフト Macintosh	接続したプリンターが表示されない。	プリンターの電源が入っていますか。	プリンターの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタードライバーが正しくインストールされていますか。	プリンタードライバーを正しくインストールしてください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンターを正しく選択していますか。	プリンタードライバーがインストールされていることを確認して、プリンターを選択し直してください。
	Adobe® Illustrator®使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
その他	電源が入らない。	On/Off を押して電源をオンにしましたか。	操作パネル上の On/Off を押して、電源をオンにしてください。 ⇒ 23 ページ「電源ボタン」
		電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをいったん抜き、確実に差し込んでください。それでも電源が入らない場合は、落雷などの影響で本製品に異常が発生した可能性があります。落雷故障は有償にて修理を承ります。
		コンセントに異常はありませんか。	電源プラグを抜き、ほかの電化製品の電源プラグを差し込み、動作を確認してください。ほかの電化製品の電源も入らない場合は、そのコンセントに電気が届いていない可能性があります。別のコンセントを使用してください。
	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	出力された記録紙の下端が汚れる。	記録紙ストッパーを閉じたままにしていませんか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。記録紙ストッパーを開いてください。 ⇒36ページ「記録紙トレイ1にセットする」
	出力された記録紙がそろわない。		
	画面の文字が読みにくい。	画面の明るさが【暗く】になっていませんか。	画面の明るさを【標準】または【明るく】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「画面の設定を変更する」
	本製品に接続されている電話機から電話をかけたとき、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	お使いの電話の環境が影響している可能性があります。	受話器をあげて、発信音（ツー音）を確認してからダイヤルしてください。
	モノクロ印刷しかしていないのに、カラーのインクがなくなる。	本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷していなくてもインクが消費されます。	
	記録紙トレイが抜けない。	記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
その他	記録紙トレイを引き出しにくい、または差し込みにくい。	不安定な場所に設置していませんか。	水平で凹凸のない場所に設置してください。
	プリントヘッドの下に詰まった記録紙を取り除きたいが、プリントヘッドが動かない。	プリントヘッドが右端で止まっていませんか。	以下の手順で操作してください。 ①停止/終了を長押しする プリントヘッドが中央に移動します。 ②電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く ③本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む 本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。
	ネットワーク接続でのトラブル	ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは(トラブル対処方法)」を参照してください。	
	操作パネルのダイヤルボタンを押しても数字などが入力されない。	画面にテンキーなどが表示されていませんか。	画面にテンキーなどが表示されている場合、画面上のテンキーから入力してください。
	使用中にタッチパネルが反応しなくなった。	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っていませんか。	本製品の電源プラグを 1 回抜き差ししてください。【タッチパネルエラー】というエラーメッセージが表示される場合は、タッチパネルの下部と枠の間に異物が入った可能性があります。 タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。 本製品の電源プラグを抜き差ししても、エラーメッセージが表示されない場合は、本製品に問題がある可能性があります。お客様相談窓口にご連絡ください。

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動している恐れがあります。

- 画面が正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、**電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**
これによって、改善される場合があります。
上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口にご連絡ください。

修理について

※各サービスパックについては、［出張修理］か［引取り修理］を選択していただけます。
※各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。
※引取り修理は、宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送します。引取り修理契約には、送料も含まれております。
※出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応します。出張修理契約には、出張料が含まれております。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金等の詳細は、下記窓口へお問合せください。
TEL052-824-3253　http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

通信がうまくいかないときに回線環境を改善する

通信がうまくいかないときは、状況に応じて、以下の操作をお試しください。

特別な回線に合わせて設定する

［特別回線対応］

ファクスがうまく送信・受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。
お買い上げ時は【一般】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す

4 【特別回線対応】を押す

5 回線種別を選ぶ

お使いの環境に合わせて、【一般／ISDN／PBX】から選びます。

6 停止/終了を押して設定を終了する

【PBX】に設定すると、ナンバー・ディスプレイの設定が自動的に【なし】になります。ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にするときは、特別回線対応の設定を【一般】にしてください。

安心通信モードに設定する

［安心通信モード］

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、【安心通信モード】の設定を変えます。
お買い上げ時は【高速】に設定されているので、【安心（VoIP）】に設定してお試しください。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【安心通信モード】を押す

4 設定値を選ぶ

【安心（VoIP）】に設定してお試しください。

注意

■【安心（VoIP）】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。（相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。）

5 停止/終了を押して設定を終了する

- ファクスの送信・受信にかかる時間は、【高速】→【標準】→【安心（VoIP）】の順に、長くなります。
- IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ 4 つ）を付けておかけください。このとき、通信料は NTT などの一般の加入電話からの請求になります。
ひかり電話をご利用の場合は、「0000」（ゼロを 4 つ）付けてかけることができません。
- 【安心（VoIP）】への設定は通信エラーの多発する特定の相手との通信時のみに限定して一時的に変更してください。通常は【高速】または【標準】に設定して使用します。
- ファクスの通信エラーは、本製品の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本製品の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

［ダイヤルトーン設定］

ファクス送信後 2 分以内に、画面に【話し中 / 応答がありません】と表示され、送信レポートがプリントされた場合は、電話番号が正しく送信されていません。ダイヤルトーン設定を【検知する】に設定してください。
お買い上げ時は【検知する】に設定されています。

注意

■ 使用している PBX や IP 電話のアダプターによっては、【検知する】に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】のままお使いください。

1 **【メニュー】を押す**

2 **▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**

3 **▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す**

4 **【ダイヤルトーン設定】を押す**

5 **【検知する】または【検知しない】を押す**

6 **停止/終了 を押して設定を終了する**

ナンバープレフィックスを設定する

［ナンバープレフィックス］

外線に接続するときなどに先頭に付けてダイヤルする番号（「0」など）をあらかじめ設定できます。

設定した番号は、ダイヤル時に自動的に付加されます。

注意

- オンフック を押してダイヤルした場合は、ナンバープレフィックスを【オン】に設定していても番号は付加されません。
- PC ファクスの場合は、［PC-FAX 設定］の［ダイヤル設定］が優先されます。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ【初期設定】を押す

3 ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ【その他】を押す

4 【ナンバープレフィックス】を押す

5 【オン】を押す

現在の設定値が表示されます。

6 【ナンバープレフィックス】を押す

7 画面に表示されているテンキーで、番号を入力し、OK を押す

5 桁まで入力できます。

ダイヤル回線の場合は、「＊」、「＃」、「！」は入力できません。
「！」は、数字、「＊」、「＃」と一緒に使用できません。

8 停止/終了 を押して設定を終了する

初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、登録した情報をすべて消去したりできます。

機能設定を元に戻す

[機能設定リセット]

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
電話帳・履歴・メモリー内のデータは消去されません。

注意

- 通信待ちのファクスは消去されます。
(⇒ 63 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」)
- 外線使用中は、機能設定リセットを使用できません。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【設定リセット】を押す

4 【機能設定リセット】を押す

【機能設定をリセットしますか?／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【再起動しますか ? 実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を 2 秒以上押す

設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。回線種別の自動設定が始まります。

ネットワーク設定を元に戻す

[ネットワーク設定リセット]

本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ【設定リセット】を押す

4 【ネットワーク設定リセット】を押す

【ネットワーク設定をリセットしますか ? ／はい／いいえ 】と表示されます。

5 【はい】を押す

【再起動しますか ? 実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を 2 秒以上押す

ネットワーク設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。

電話帳・履歴・メモリーを消去する

［電話帳 & ファクスリセット］

本製品の以下の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- お客様の名前・電話番号
  （⇒ 26 ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」）
- 電話帳の内容
  （⇒ 66 ページ「電話帳を利用する」）
- グループダイヤルの内容
  （⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「グループダイヤルを登録する」）
- 発信履歴（再ダイヤル機能）の内容
- ファクスの発信履歴、着信履歴の内容
  （⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」）
- ファクス転送の設定
  （⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「ファクスを転送する」）
- 電話呼び出しの設定
  （⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「ファクスが届いたことを電話で知らせる」）
- 通信管理レポートの内容
  （⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「通信管理レポートを印刷する」）
- メモリーの内容（受信データも消去されます。）

注意

■ メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかを確認してください。
⇒ 57 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」
⇒ 61 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」

1 【メニュー】を押す

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【設定リセット】を押す

4 【電話帳&ファクスリセット】を押す

【電話帳&ファクスをリセットしますか ？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【再起動しますか ？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を 2 秒以上押す

電話帳・履歴・メモリーが消去され、本製品が自動的に再起動します。

すべての設定を元に戻す

［全設定リセット］

本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

注意

■ 全設定リセットを実行すると、電話帳などの内容を元に戻すことはできません。あらかじめ、電話帳に登録されている電話番号を印刷しておくことをお勧めします。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「電話帳リストを印刷する」

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【設定リセット】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【全設定リセット】を押す

【全設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【再起動しますか ？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を 2 秒以上押す

設定した内容が消去され、本製品が自動的に再起動します。回線種別の自動設定が始まります。

こんなときは

ユーザーズガイド CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは

付属のユーザーズガイド CD-ROM には、下記のユーザーズガイドが PDF 形式で収録されています。

- ユーザーズガイド 応用編
- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク知識編
- ユーザーズガイド ネットワーク操作編

Windows® の場合

1 付属のユーザーズガイド CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

［ブラザー ユーザーズガイド CD-ROM］の画面が表示されます。

画面が表示されないときは、［マイコンピューター（コンピューター）］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［index.html］をダブルクリックしてください。

2 お使いの製品名にカーソルを合わせる

3 ［ユーザーズガイドを表示する］にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする

注意

■ ブラウザーの上部にセキュリティー警告のメッセージが表示されたときは、メッセージをクリックしてください。そのあと、［ブロックされているコンテンツを許可］をクリックし、［はい］をクリックしてください。

（Microsoft® Internet Explorer® 6 以上のみ）
［ユーザーズガイドを PC にコピーする］をクリックして、ユーザーズガイドをパソコンに保存すると、CD-ROM がなくてもユーザーズガイドを見ることができます。

Macintosh の場合

1 付属のユーザーズガイド CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

2 ユーザーズガイド CD-ROM のアイコンをダブルクリックする

3 [index.html] をダブルクリックする

[ブラザー ユーザーズガイド CD-ROM] の画面が表示されます。

4 お使いの製品名にカーソルを合わせる

5 [ユーザーズガイドを表示する] にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属のドライバー& ソフトウェア CD-ROM から、サポートサイトなどの案内を表示させることができます。

Windows® の場合

1 付属のドライバー & ソフトウェア CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

[トップメニュー] が表示されます。

画面が表示されないときは、[マイコンピューター (コンピューター)] から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、[start.exe] をダブルクリックしてください。

2 [サービスとサポート] をクリックする

3 見たい項目をクリックする

- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- ソリューションセンター
  サポートサイトを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  インクカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

Macintosh の場合

1 付属のドライバー & ソフトウェア CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

2 [サービスとサポート] をダブルクリックする

3 見たい項目をクリックする

- Presto! PageManager
  Presto! PageManagerのインストーラーをダウンロードします。
- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- ソリューションセンター
  サポートサイトを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは

最新のドライバーやファームウェアのダウンロードは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の「ソフトウェアダウンロード」から行ってください。詳しい手順は、サポートサイトに記載されています。
ダウンロードおよびインストールする際は、サポートサイトに記載されている注意や利用規約、制約条項をよくお読みください。また、以下の注意もお守りください。

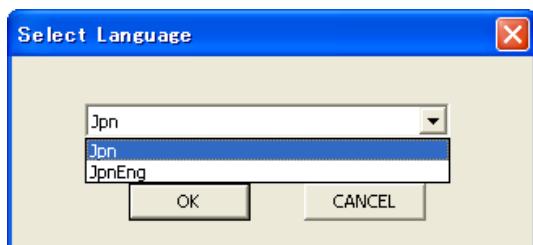
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の URL

http://solutions.brother.co.jp/

ドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードするときは

- ダウンロードするドライバーやファームウェアの製品名は、本製品の操作パネル中央部で確認して、正しく選択してください。
- ダウンロードするドライバーやファームウェアの対応 OS は、パソコンの取扱説明書などで確認して、正しく選択してください。

ドライバーをインストールするときの注意

● インストールの途中で下記の画面が表示されたときは、［Jpn］を選択し［OK］をクリックしてください。［JpnEng］を選択すると、ドライバーのインストール時、手順を案内する表示言語が英語になったり、印刷設定のプロパティ画面において表示言語が英語に替わったりします。

ファームウェアをインストールするときの注意

● ファームウェアを更新する際には、製品が動作中でないこと、メモリーに使用中のデータが残っていないことなどの条件や、製品に残されていた履歴が削除されるなどの制約があります。ソフトウェアダウンロードページの「ファームウェア更新時の注意事項」を読んでよくご理解いただいた上で、条件に従って更新作業をお進めください。

停電になったときは

停電したときは以下のようにデータが消去されます。

停電になっても消去されないデータ	電話帳、各種登録・設定内容
停電が数時間続くと消去されるデータ	着信履歴、発信履歴、通信管理レポート、受信メモリー文書、送信メモリー文書

注意

■ 日付と時刻は設定し直してください。
⇒ 25 ページ「日付と時刻を設定する」

■ 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。

■ 停電中はファクスの送受信ができません。本製品の機能はすべて使用できなくなります。

■ 本製品に接続している電話機は、停電中でも使用できる機器もあります。詳しくは、お使いの電話機の取扱説明書をご覧ください。

本製品のシリアルナンバーを確認する

［シリアル No.］

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【製品情報】を押す

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

3 停止/終了を押す

本製品の設定内容や機能を確認する

［レポート印刷］

1 記録紙をセットする

2 【メニュー】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「送信結果レポートを印刷する」
- 【機能案内】：
  本製品のメニューボタンを押して設定できる項目を一覧にします。
- 【電話帳リスト】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「電話帳リストを印刷する」
- 【通信管理レポート】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
  本製品の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
  本製品のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
  無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「着信履歴リストを印刷する」

5 モノクロスタートを押す

レポートが印刷されます。

6 停止/終了を押す

本製品を輸送するときは

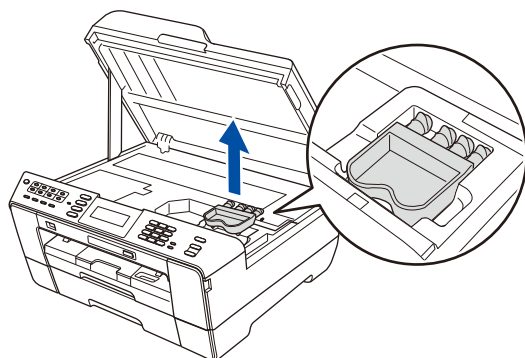
引っ越しや修理などで本製品を輸送するときは、以下の手順で梱包してください。

1 電話機コードを抜く

2 電源プラグをコンセントから抜く

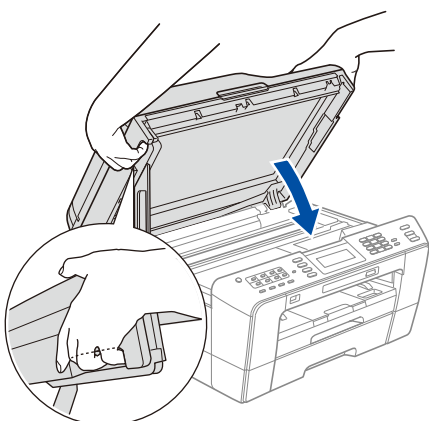
3 両手で本体カバーを開け、ケーブル類を取り外す

本体カバーが固定される位置まで上げてください。

4 オレンジ色の保護部材を取り出す

5 本体カバーを閉める

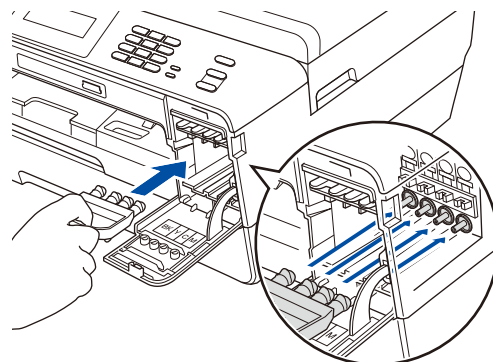
⚠注意

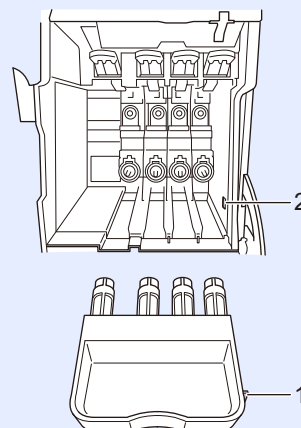
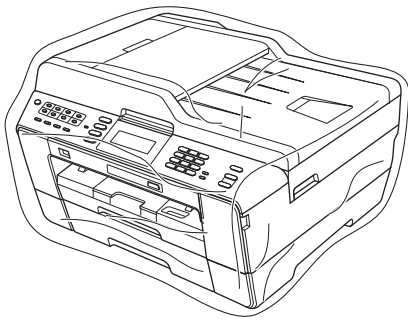
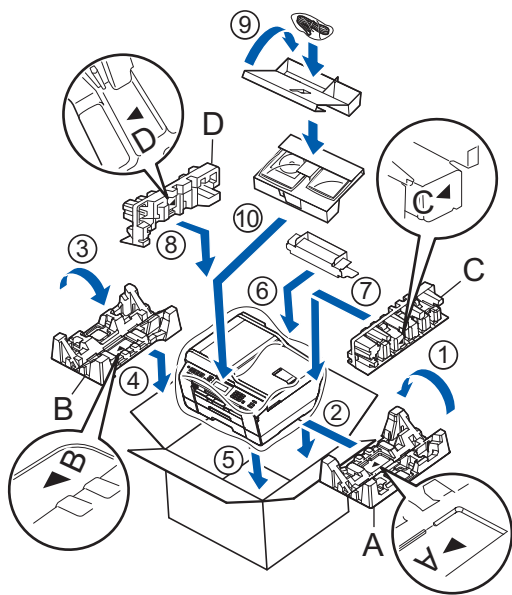
- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

6 インクカバーを開く

7 リリースレバーを押してすべての色のインクカートリッジを取り出す

8 オレンジ色の保護部材をセットして、インクカバーを閉める

保護部材がない場合は、何も装着していない状態で輸送してください。

注意

■ 保護部材の突起（1）が、カートリッジのセット部内壁の溝 (2) の位置までくるように、しっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。

9 本体が入っていた袋に入れる

10 図のように印刷物、付属品を梱包する

11 外箱をしっかりとテープで閉じる

本製品を廃棄するときは

本製品には充電式ニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、本製品に組み込まれている電池を取り外してください。また、取り外した電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店または弊社回収拠点にお持ちください。

- 被覆ははがさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ
- コード先端を 1 本ずつテープなどで絶縁してから、ポリ袋に入れてリサイクル箱へ

本製品のバッテリーは以下の手順で取り外します。

注意

■ バックアップ用のバッテリーは、本製品を廃棄するとき以外は外さないでください。本製品が使用できなくなります。

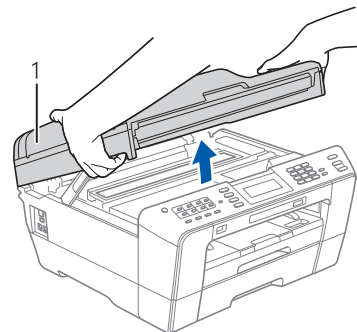
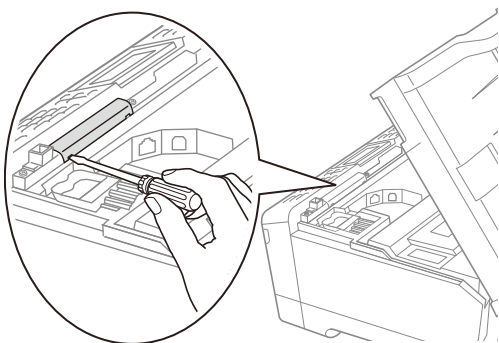
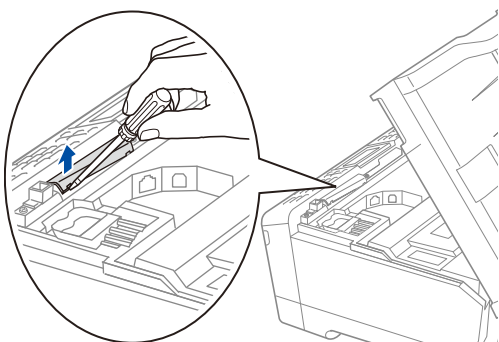
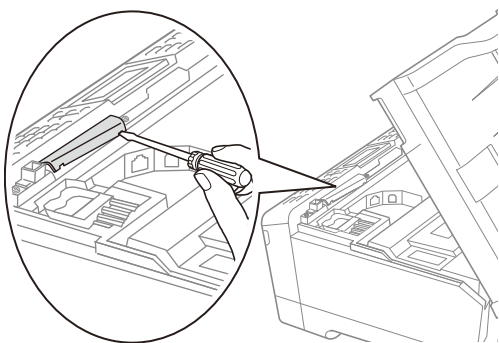
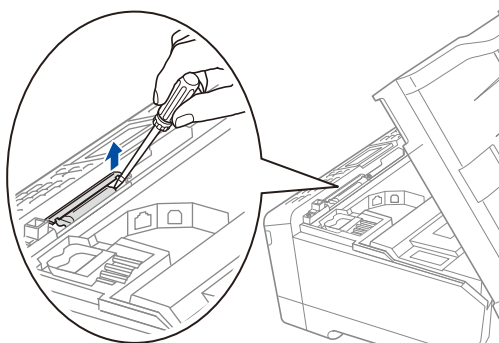
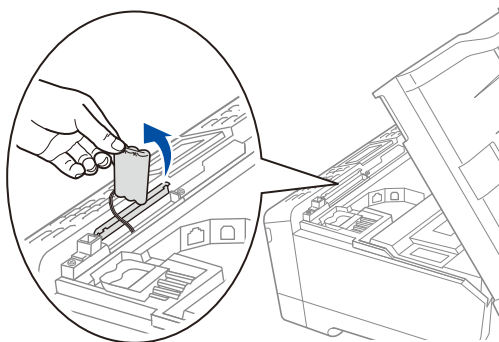
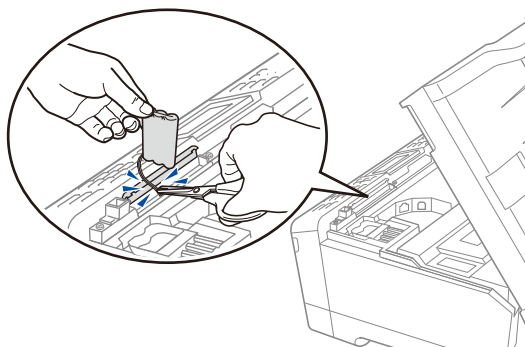
1 本製品に保存されているすべての情報を消去する

⇒ 138 ページ「すべての設定を元に戻す」

2 本製品の電源を切る

3 電源プラグをコンセントから抜く

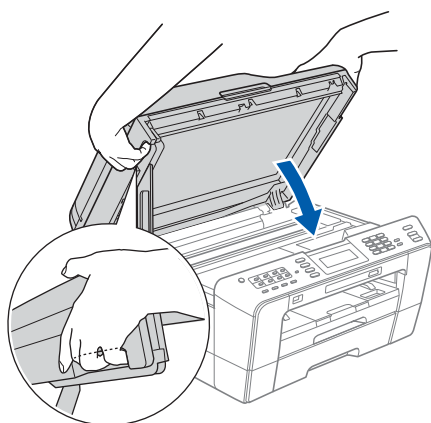
4 両手で本体カバー（1）を開ける

本体カバーが固定される位置まで上げてください。

5 バッテリーカバーの穴に、マイナスドライバーを差し込む

6 マイナスドライバーを持ち上げて、バッテリーカバーを開く

7 バッテリーカバーのもうひとつの穴に、マイナスドライバーを差し込む

8 マイナスドライバーを持ち上げて、バッテリーカバーをさらに開く

9 バッテリーを引き出す

10 バッテリーのコードを 1 本ずつはさみで切って、バッテリーを取り外す

11 取り出したバッテリーのコードを 1 本ずつテープなどで巻く

12 本体カバーを閉める

注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両方の側面の溝に手をかけて両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

使用済み電池の届け出

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼ってから、ポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

(1) ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収 BOX に入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人 JBRC
  ホームページ：
  http://www.jbrc.com
- 社団法人 電池工業会
  ホームページ：http://www.baj.or.jp
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

(2) 事業所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所
  〒 104-0031 東京都中央区京橋 3-3-8
  電話：03-3272-0351
- ブラザー販売（株）関西事業所
  〒 564-0045　大阪府吹田市金田町 28-21
  電話：06-6310-8863
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

付　録

文字の入力方法 150
文字の割り当て 150
機能ボタンの使いかた 151
入力制限（入力できる文字の種類や文字数）...... 151
入力例 151

機能一覧 152
みるだけ受信ボタン 152
メニューボタン 153
インクボタン 159
履歴 / ポーズボタン 159
電話帳ボタン 159
ファクスボタン 160
スキャンボタン 161
コピーボタン 162
デジカメプリントボタン 164

仕様 166
外形寸法 166
ファクス 166
コピー 167
電源その他 167
プリンター＆スキャナー 167
フォトメディアキャプチャ 168

使用環境 169

索引 171

リモコンアクセスカード 177

関連製品のご案内 179
innobella 179
消耗品 179
インクカートリッジ 179
専用紙・推奨紙 180

文字の入力方法

発信元登録、電話帳の登録では、画面に表示されるキーボードを使って文字を入力します。入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

文字の割り当て

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	ま	まみむめも
か	かきくけこ	や	やゆよゃゅょ
さ	さしすせそ	ら	らりるれろ
た	たちつてとっ	わ	わをん
な	なにぬねの	゛゜	(濁点、半濁点)
は	はひふへほ	ー	ー

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
ア	アイウエオ ァィゥェォ	マ	マミムメモ
カ	カキクケコ	ヤ	ヤユヨャュョ
サ	サシスセソ	ラ	ラリルレロ
タ	タチツテトッ	ワ	ワヲン
ナ	ナニヌネノ	゛゜	(濁点、半濁点)
ハ	ハヒフヘホ	ー	ー

● 英字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
ABC	ABCabc	TUV	TUVtuv
DEF	DEFdef	WXYZ	WXYZwxyz
GHI	GHIghi	;	;
JKL	JKLjkl	:	:
MNO	MNOmno	@	@
PQRS	PQRSpqrs	!	!

● 数字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
1	1	7	7
2	2	8	8
3	3	9	9
4	4	0	0
5	5	＊	＊
6	6	#	#

● 記号

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
!?&	!?&	,.	,.
#$	#$	:;	:;
+-	+ -	<>	< >
=/	=/	[]	[ ]
@%＊	@% ＊	()	( )
" '	” ’	␣^_	(スペース) ^_

機能ボタンの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
あアA1@ / A1@	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびに カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または→数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。
変換	ひらがなを漢字に変換します。
確定	入力した文字を確定します。
⌫	選択中の文字を消去します。 ◀ を押して削除したい文字までカーソルを移動して押します。
◀ ▶	カーソルを左右に移動します。 同じボタンを続けて入力する場合には、▶ を押します。
📞✉	ファクス（電話）番号または E メールアドレスの登録時、キーボードの文字列を切り替えます。 押すたびに E メールアドレス→ファクス（電話）番号の順に切り替わります。

変換範囲を変更することはできません。

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○ *1	20
読み仮名	×	○	○	16
名前 *2	○	○	○	10

*1 電話帳での電話番号入力時は、0 〜 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは ポーズ で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。
発信元登録での電話番号入力時は 0 〜 9、「＋」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

*2 発信元登録では、16 文字まで入力できます。

漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

「鈴木エリ」と入力するときは、下記のように操作します。

操作	画面表示
さ を 3 回押す	す
▶ を 1 回押す	す
さ を 3 回押す	すす
゛゜ を 1 回押す	すず
か を 2 回押す	すずき
変換 を1回押す	スズキ すずき 鈴木 鱸 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
あアA1@ を1回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
ア を 4 回押す	鈴木エ
ラ を 2 回押す	鈴木エリ

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。画面に表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

みるだけ受信ボタン

みるだけ受信設定時に、みるだけ受信 または待ち受け画面の【ファクス確認】を押して表示される画面で、以下の項目を実行します。
みるだけ受信が設定されていないときは、、待ち受け画面に【みるだけ受信】ボタンが表示されます。このときはみるだけ受信 または【みるだけ受信】ボタンを押すと、みるだけ受信にするかどうかの設定ができます。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>説明</th><th>参照</th></tr>
<tr><td colspan="2">新着ファクス</td><td>未読ファクスを一覧表示します。</td><td rowspan="2">⇒57ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">既読ファクス</td><td>既読ファクスを一覧表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">メニュー</td><td>すべてプリント</td><td>メモリー内のすべてのファクスを印刷します。</td><td rowspan="3">⇒59ページ</td></tr>
<tr><td>すべて消去</td><td>メモリー内のすべてのファクスを削除します。</td></tr>
<tr><td>みるだけ受信をしない
(受信したら印刷)</td><td>みるだけ受信を解除します。</td></tr>
</table>

メニューボタン

待ち受け画面の【メニュー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます

● **基本設定**

機能	項目		説明	設定（太字：初期設定）	参照
基本設定	モードタイマー		ファクスモードに戻る時間を設定します。【切】を選ぶと最後に使ったモードを保持します。	切／0秒／30秒／1分／**2分**／5分	⇒応用編
	記録紙トレイ設定	記録紙トレイ#1	記録紙トレイ 1 の記録紙サイズ、記録紙タイプを設定します。	**A4**／B4／A3／A5／B5／ハガキ／2L判／L判	⇒45ページ
				普通紙／インクジェット紙／ブラザーBP71　光沢／ブラザーBP61 光沢／その他光沢／ OHPフィルム	
		記録紙トレイ#2	記録紙トレイ2の記録紙サイズを設定します。 記録紙タイプは「普通紙」で固定です。	**A4**／B4／A3／B5	
		トレイ選択：コピー	コピー時に使用する記録紙トレイを設定します。	記録紙トレイ #1 ／記録紙トレイ #2 ／**自動選択**	
		トレイ選択：ファクス	ファクス受信時に使用する記録紙トレイを設定します。	記録紙トレイ #1 ／記録紙トレイ #2 ／**自動選択**	
	音量	着信音量	着信音の音量を設定します。	切／小／**中**／大	⇒31ページ
		ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／**小**／中／大	
		スピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。	切／小／**中**／大	
	画面の設定	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	**明るく**／標準／暗く	⇒応用編
		照明ダウンタイマー	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	切／10秒／20秒／**30秒**	
	スリープモード		スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1分／2分／3分／**5分**／10分／30分／60分	⇒応用編
	A3/B4 横目あんしん給紙		A3サイズ、B4サイズの横目用紙を給紙するときに設定します。	オン／**オフ**	⇒47ページ
	セキュリティ機能ロック	パスワード設定	セキュリティ機能ロックのパスワードを設定します。	－	⇒応用編
		ロック Off⇒On	セキュリティ機能ロックの On/Off を切り替えます。	－	
		ユーザ設定	アクセスできるユーザーを設定します。	－	

● ファクス

機能	項目		説明	設定（太字：初期設定）	参照
ファクス	受信設定	呼出回数	「ファクス専用モード」と「自動切換えモード」のとき、自動受信するまでの呼出回数を設定します。	0 ～ 10（初期設定は **4**）	⇒ 30 ページ
		再呼出回数	「自動切換えモード」のとき、着信音の後に鳴る呼出音の回数を設定します。	**8** ／ 15 ／ 20	⇒ 30 ページ
		親切受信	自動受信する前に電話をとった場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。	する／**しない**	⇒ 56 ページ
		リモート受信	本製品と接続している電話機からファクスを受信する機能を設定します。	する／**しない**	⇒応用編
		自動縮小	【記録紙サイズ】で設定した記録紙のサイズより長辺が長いファクスが送られてきたとき、自動的に縮小するかどうかを設定します。	**する**／しない	⇒応用編
		メモリー受信	ファクスのメモリー受信の内容を設定します。	**オフ**／ファクス転送／電話呼び出し／メモリ保持のみ／PC ファクス受信	⇒ 61 ページ ⇒応用編
		みるだけ受信	受信したファクスの内容を画面で確認します。	する（画面で確認）／**しない（受信したら印刷）**	⇒ 59 ページ
	レポート設定	送信結果レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	オン／オン＋イメージ／オフ／**オフ＋イメージ**／オフ 2 ／オフ 2 ＋イメージ	⇒応用編
		通信管理レポート	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	レポート出力しない／**50件ごと**／6時間ごと／12時間ごと／24 時間ごと／2 日ごと／7日ごと	⇒応用編
	ファクス出力		みるだけ受信をしていない場合にのみ、メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。	－	⇒ 61 ページ
	暗証番号		外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。	－－－＊	⇒応用編
	通信待ち一覧		タイマー送信などの設定を確認したり解除したりできます。	－	⇒ 63 ページ

● **ネットワーク**

本製品をネットワーク環境で使用する場合の詳細については、ユーザーズガイド ネットワーク操作編をご覧ください。

機能	項目			説明	設定（太字：初期設定）
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRNxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバ	WINS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
			IPv6	IPv6 を設定します。	オン／**オフ**
		イーサネット		LAN のリンクモードを設定します。	**Auto** ／ 100B-FD ／ 100B-HD ／ 10B-FD ／ 10B-HD
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバ	WINS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
			IPv6	IPv6 を設定します。	オン／**オフ**
		無線接続ウィザード		無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－
		WPS/AOSS		WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－
		WPS（PIN コード）		WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	－
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	アクティブ（11b）／アクティブ（11g）／アクティブ（11n）／接続に失敗しました／ AOSS アクティブ
			電波状態	無線 LAN の電波状態を表示します。	電波：強い／普通／弱い／なし
			SSID	接続先の無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。	（32 文字まで表示）
			通信モード	無線LANの通信モードを表示します。	アドホック／インフラストラクチャ
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－

機能	項目				説明	設定（太字：初期設定）
ネットワーク	E メール /IFAX	メール アドレス			本製品のメールアドレスを設定します。	xxxxx@example.com（60 文字以内）
		サーバ設定	SMTP サーバ		SMTP メールサーバーの IP アドレスまたはサーバー名を設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]（サーバー名は 30 文字以内）
			SMTP ポート		SMTP メールサーバーのポートを指定します。	1 ～ 65535（初期値 **25**）
			SMTP Auth.		ユーザー認証を必要とする SMTP サーバーを経由して E メールを送信する場合、認証の設定を行います。	**認証しない**／SMTP Auth.／POP before SMTP
			POP3 サーバ		POP3 メールサーバーの IP アドレスまたはサーバー名を設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]（サーバー名は 30 文字以内）
			POP3 ポート		POP3 メールサーバーのポートを指定します。	1 ～ 65535（初期値 **110**）
			アカウント名		POP3 メールサーバーにアクセスするアカウントを設定します。	（20 文字以内）
			パスワード		POP3 メールサーバーにアクセスするパスワードを設定します。	（20 文字以内）
			APOP		アカウントやパスワードのセキュリティーを保つため、APOP の設定を行います。	オン／**オフ**
		メール受信設定	自動受信		定期的に POP3 サーバーへメールが届いているかチェックします。	**オン**／オフ
				ポーリング間隔	自動受信で【オン】を選んだ場合に、POP3 サーバーへアクセスする間隔を設定します。	1 分／ 3 分／ 5 分／ **10 分**／ 30 分／ 60 分
			ヘッダ印刷		インターネットファクス、E メール受信時にヘッダーの印刷を行うかどうかを設定します。	全て／ヘッダのみ／**なし**
			エラーメール削除		POP3 サーバーから取得できなかったメールを削除します。	**オン**／オフ
			受信確認		インターネットファクス受信時に、送信者に受信したことを通知するよう設定します。	オン／ MDN ／**オフ**
		メール送信設定	メールタイトル		E メール送信時のタイトルを設定します。	**Internet Fax Job**（40 文字以内）
			サイズ制限		1MB を超える E メール受信時にメール送信を中断するよう設定できます。	オン／**オフ**
			受信確認要求		インターネットファクス送信時に、受信側から確認メッセージを受け取るよう設定します。	オン／**オフ**
		リレー設定	リレー許可		リレー配信を行うかどうかを設定します。	オン／**オフ**
			許可ドメイン		本製品を経由して転送が可能なドメイン名を設定します。	リレー 01 ～ 05：XXXXXXXXXX（初期値 **01**、ドメイン名は 30 文字以内）
			リレーレポート		本製品を経由してインターネットファクス転送が行われたとき、レポートを出力するかどうかを設定します。	オン／**オフ**
	タイムゾーン				本製品が設置されている地域のタイムゾーンを設定します。	UTC-12:00 ～ UTC+12:00（初期値 **UTC ＋ 09:00**）
	有線 / 無線切替え				有線LAN／無線LANを切り替えます。	**有線 LAN** ／無線 LAN
	ネットワーク設定リセット				ネットワークの設定（有線・無線とも）をすべて初期値に戻します。	－

● レポート印刷

機能	項目	説明	参照
レポート印刷	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	⇒応用編
	機能案内	本製品の機能一覧を印刷します。	⇒143ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	⇒応用編
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 件分の結果を印刷します。	⇒応用編
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒143ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作しているネットワーク（有線 LAN または無線 LAN）の設定内容を印刷します。	⇒143ページ
	無線 LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	⇒143ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	⇒応用編

● 製品情報

機能	項目	説明	参照
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	⇒143ページ

● 初期設定

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">項目</th><th>説明</th><th>設定（太字：初期設定）</th><th>参照</th></tr>
<tr><td rowspan="13">初期設定</td><td colspan="2">受信モード</td><td>ファクスの受信方法を選びます。</td><td>FAX=ファクス専用／F/T=自動切換え／留守=外付け留守電／ TEL= 電話</td><td>⇒ 27 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">時計セット</td><td>画面に表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。</td><td>－</td><td>⇒ 25 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">発信元登録</td><td>ファクスに印刷される発信元のファクス番号と名前を設定します。</td><td>ファクス：－
名前：－</td><td>⇒ 26 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">回線種別設定</td><td>お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。</td><td>プッシュ回線／ダイヤル 10PPS ／ダイヤル 20PPS ／自動設定</td><td>⇒ 24 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ナンバーディスプレイ</td><td>ナンバー・ディスプレイサービスを使用する / しないを設定します。</td><td>あり／なし／外付け電話優先</td><td>⇒応用編</td></tr>
<tr><td colspan="2">安心通信モード</td><td>安心通信モードに設定します。</td><td>高速／標準／安心（VoIP）</td><td>⇒133ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">設定リセット</td><td>機能設定リセット</td><td>本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>－</td><td>⇒136ページ</td></tr>
<tr><td>ネットワーク設定リセット</td><td>本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>－</td><td>⇒136ページ</td></tr>
<tr><td>電話帳 & ファクスリセット</td><td>電話帳や着信履歴、メモリーなどを消去します。</td><td>－</td><td>⇒137ページ</td></tr>
<tr><td>全設定リセット</td><td>本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>－</td><td>⇒138ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他</td><td>ダイヤルトーン設定</td><td>ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。</td><td>検知する／検知しない</td><td>⇒134ページ</td></tr>
<tr><td>ナンバープレフィックス</td><td>PBX 使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号を登録します。</td><td>オン／オフ</td><td>⇒135ページ</td></tr>
<tr><td>特別回線対応</td><td>特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。</td><td>一般／ ISDN ／ PBX</td><td>⇒133ページ</td></tr>
</table>

インクボタン

待ち受け画面の[インク] を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

機能	項目	説明	設定	参照
インク	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／ 印刷位置チェックシート	⇒ 102 ページ
	ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	⇒ 100 ページ
	インク残量	インク残量を確認します。	ー	⇒ 99 ページ

履歴 / ポーズボタン

履歴/ポーズ または待ち受け画面の[履歴] を押して表示される画面で、発信 / 着信履歴を確認できます。また、履歴確認後、その相手先の番号を電話帳に登録できます。

ダイヤル中は、履歴/ポーズ を押してポーズを入力できます。

※ナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合は、電話番号と名前も表示されます。

機能	項目		説明	参照
発信履歴 着信履歴	ファクス送信		選んだ相手先にファクスを送信します。	⇒応用編
	メニュー	電話帳に登録	電話帳に相手先番号と名前を登録します。	⇒ 68 ページ
		ワンタッチダイヤル登録	操作パネル上にあるワンタッチボタンに相手先番号と名前を登録します。	⇒ 66 ページ
		消去	電話帳に登録されている相手先を消去します。	⇒ 69 ページ

電話帳ボタン

待ち受け画面の[電話帳] を押して表示される画面で、以下の設定が行えます。

項目		説明	参照
ファクス送信		選んだ相手先にファクスを送信します。	⇒応用編
メニュー	電話帳登録	電話帳に相手先番号と名前を登録します。	⇒ 68 ページ
	ワンタッチダイヤル登録	操作パネル上にあるワンタッチボタンに相手先番号と名前を登録します	⇒ 66 ページ
	グループ登録	複数の相手先を「グループ」として登録します。	⇒応用編
	変更	電話帳に登録されている相手先の情報を変更します。	⇒67 ページ、69 ページ
	消去	電話帳に登録されている相手先を消去します。	⇒67 ページ、69 ページ

ファクスボタン

ファクス を押して表示される画面で、ファクス機能に関する設定ができます。

項目		説明	設定（太字：初期設定）	参照
履歴		発信／着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合は、着信履歴に電話番号と名前も表示されます。	－	⇒応用編
	発信履歴			
	着信履歴			
電話帳		電話帳の内容を検索および、電話帳への登録を行います。	－	⇒ 68 ページ ⇒応用編
ファクス画質		送信時の画質を一時的に設定します。	**標準**／ファイン／スーパーファイン／写真	⇒応用編
両面ファクス		両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	**オフ**／ 両面スキャン：長辺綴じ原稿／ 両面スキャン：短辺綴じ原稿	⇒応用編
原稿濃度		原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	**自動**／濃く／薄く	⇒応用編
ガラス面読取サイズ		原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	**A4** ／ B4 ／ A3	⇒応用編
同報送信		複数の相手先に同じ原稿を送ります。	－	⇒応用編
みてから送信		画面でファクスの内容を確認してから送信します。	する／**しない**	⇒応用編
タイマー送信		タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	する（現在の時刻を表示）／**しない**	⇒応用編
とりまとめ送信		タイマー送信で同じ相手に同じ時刻に送信する原稿がある場合、まとめて送信するように設定します。	する／**しない**	⇒応用編
リアルタイム送信		メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	する／**しない**	⇒応用編
ポーリング送信		ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	標準／機密／**しない**	⇒応用編
ポーリング受信		ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	標準／機密／タイマー／**しない**	⇒応用編
海外送信モード		海外にファクスを送るときに設定します。	する／**しない**	⇒応用編
設定を保持する		変更した設定を保持します。	－	⇒応用編
設定をリセットする		設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	

スキャンボタン

（スキャン）を押して表示される画面で、スキャン機能に関する設定ができます。

項目	説明	参照
ファイル：フォルダ保存	スキャンしたデータをパソコンの指定したフォルダーに保存します。	⇒パソコン活用編
メディア保存	スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	⇒ 84 ページ
ネットワーク保存	スキャンしたデータをネットワーク上のパソコンに保存します。	⇒パソコン活用編
FTP サーバ保存	スキャンしたデータを指定したFTPサーバーに保存します。	⇒パソコン活用編
E メール：E メール添付	スキャンしたデータを添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	⇒パソコン活用編
OCR：テキストデータ	スキャンしたデータをテキストに変換してパソコンに保存します。	⇒パソコン活用編
イメージ：PC 表示	スキャンしたデータをパソコンに保存します。	⇒パソコン活用編

【メディア保存】では、以下の項目を確認および設定できます。

項目	説明	設定（太字：初期設定）	参照
両面スキャン	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	**オフ**／両面スキャン：長辺綴じ原稿／両面スキャン：短辺綴じ原稿	⇒ 84 ページ
スキャン画質	スキャン to メディア時の画質を設定します。	カラー 100dpi ／**カラー 200dpi** ／カラー 300dpi ／カラー 600dpi ／モノクロ 100dpi ／モノクロ 200dpi ／モノクロ 300dpi	
ファイル形式	スキャンするときのファイル形式を設定します。	カラー：**PDF** ／ JPEG モノクロ：TIFF ／ **PDF**	
ガラス面読取サイズ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	**A4** ／ B4 ／ A3	
ファイル名	ファイル名を設定します。	−	
おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	オン／**オフ**	⇒ 86 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。	−	⇒ 87 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	−	

コピーボタン

コピー を押して表示される画面で、コピーに関する設定ができます。

項目	説明	設定（太字：初期設定）	参照
コピー画質	印刷品質に合わせて設定します。	高速／**標準**／高画質	⇒応用編
記録紙タイプ	【トレイ選択：コピー】で【記録紙トレイ #1】を選んだときに、記録紙トレイ 1 にセットした記録紙の種類に合わせて設定します。【トレイ選択：コピー】で【記録紙トレイ #2】を選んだときは【普通紙】で固定されるため、記録紙タイプの設定は変えられません。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザーBP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム	⇒応用編
記録紙サイズ	【記録紙トレイ選択】で選んだ記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	A3 ／ B4 ／ **A4** ／ A5*1 ／ B5 ／ ハガキ *1 ／ 2L 判 *1 ／ L 判 *1	⇒応用編
記録紙トレイ選択	使用する記録紙トレイを設定します。	記録紙トレイ #1 ／記録紙トレイ #2 ／**自動選択**	⇒応用編
拡大 / 縮小	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	**等倍 100%**：－ 拡大：240% L 判⇒ A4 204% ハガキ⇒ A4 141% A4 ⇒ A3、B5 ⇒ B4 123% A4 ⇒ B4 115% B4 ⇒ A3、B5 ⇒ A4 113% L 判⇒ハガキ 縮小：86% A3 ⇒ B4、A4 ⇒ B5 81% B4 ⇒ A4 69% A3 ⇒ A4、B4 ⇒ B5 46% A4 ⇒ハガキ 40% A4 ⇒ L 判 用紙に合わせる：－ カスタム：25% ～ 400%	⇒応用編
コピー濃度	濃度を調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／＋ 1 ／＋ 2	⇒応用編
スタック / ソート	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	**スタックコピー**／ソートコピー	⇒応用編
レイアウトコピー	複数の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	**オフ（1in1）** ／ 2in1（タテ長）／ 2in1（ヨコ長）／ 2in1（ID カード）／ 4in1（タテ長）／ 4in1（ヨコ長）／ 2 枚に分割／ポスター（2 x 1）／ ポスター（2 x 2）／ポスター（3 x 3）	⇒応用編
傾き補正	原稿台ガラスに原稿をセットするときに、原稿の傾きを自動的に補正してコピーします。	**自動**／オフ	⇒応用編
両面コピー	両面コピーします。 とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	**オフ**／両面⇒両面／片面⇒両面 長辺綴じ原稿／両面⇒片面 長辺綴じ原稿／片面⇒両面 短辺綴じ原稿／両面⇒片面 短辺綴じ原稿 メニュー あんしん設定：**オフ**／あんしん 1 ／あんしん 2 A3/B4 両面コピー設定：**余白に合わせて縮小コピー**／縮尺を保持して上下カット	⇒応用編

*1 【記録紙トレイ選択】が【記録紙トレイ #1】のときのみ表示されます。

項目			説明	設定（太字：初期設定）		参照
便利なコピー設定	オフ		便利なコピー設定を使用しません。	－		－
便利なコピー設定	インク節約モード		文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	－		⇒応用編
便利なコピー設定	裏写り除去コピー		コピー時の裏写りを軽減します。	－		⇒応用編
便利なコピー設定	ブックコピー		本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーします。	－		⇒応用編
便利なコピー設定	透かしコピー		コピー画像にロゴマークやテキストなど、設定した画像を重ねます。	－		⇒応用編
便利なコピー設定	透かしコピー	テンプレートを使う	あらかじめ設定されている文字を選択し、位置やサイズなどを設定します。	テキスト：CONFIDENTIAL／重要／**COPY** 位置：A／B／C／D／**E**／F／G／H／I／全面 サイズ：小／**中**／大 回転：-90°／**-45°**／0°／+45°／+90° 透過度：-2／-1／**0**／+1／+2 色：**黒**／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄		⇒応用編
便利なコピー設定	透かしコピー	スキャン/メディアの画像を使う	スキャンした画像、または、メモリーカードから画像を選択し、位置やサイズなどを設定します。	スキャン	透過度：-2／-1／**0**／+1／+2	⇒応用編
				メディア	位置：A／B／C／D／**E**／F／G／H／I／全面 サイズ：小／**中**／大 回転：-90°／**-45°**／0°／+45°／+90° 透過度：-2／-1／**0**／+1／+2	⇒応用編
お気に入り設定			お気に入り設定コピーに関する下記の設定を、組み合わせを変えるなどして3つまで名前をつけて登録しておくことができます。 コピー画質・記録紙トレイ選択・記録紙サイズ・記録紙タイプ・拡大/縮小・コピー濃度・スタック/ソート・レイアウトコピー・両面コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・傾き補正・透かしコピー（「テンプレートを使う」のみ）	保存／名前の変更	お気に入り 1／お気に入り 2／お気に入り 3[*1]	⇒応用編
お気に入り			お気に入りに登録した設定値を呼び出します。	お気に入り 1／お気に入り 2／お気に入り 3[*1]		⇒応用編

[*1] お気に入りとして保存するときに名前を登録すると、その後は登録名が表示されます。

デジカメプリントボタン

デジカメプリント を押して表示される画面で、デジカメプリント機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容			参照
かんたんプリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を簡単な操作でプリントします。自動色補正のみ行えます。 スライドショーの途中でプリントしたい写真があれば、OK を押して印刷設定に進みます。	スライドショー (写真個別選択 *1)			⇒80ページ
		全部プリント	はい／いいえ すべての写真枚数を1枚に設定します。一度に選択できる写真は、100枚までです。 設定後自動色補正を行うとすべての写真を一括で補正できます。		
こだわりプリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を個別に補正したりトリミングを行ったりしながらプリントします。 スライドショーの途中でプリントしたい写真があれば、OK を押して印刷設定に進みます。	スライドショー (写真個別選択 *1)	お好み色補正	自動色補正 肌色あかるさ補正 *3 色あざやか補正 *3 赤目補正 夜景補正 *3 逆光補正 *3 ホワイトボード補正 モノクロ セピア 自動色補正＆赤目補正	⇒応用編
			トリミング	−	⇒応用編
インデックスプリント	インデックスシートの印刷または番号を指定して写真のプリントをします。	インデックスシート *2		速い／ 1 行 6 個印刷 きれい／ 1 行 5 個印刷	⇒応用編
		番号指定プリント		−	⇒応用編

*1 写真選択後、プリントする記録紙やサイズなど更に設定が可能です。詳細は次ページに記載しています。

*2 インデックスシートをプリントする記録紙タイプの設定が可能です。詳細は次ページに記載しています。

*3 画像を補正した結果を起点に± 1 色調変更

プリント前に表示される確認画面の【印刷設定】では、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照
プリント画質 *1	プリント時の画質を設定します。	標準／**きれい**	⇒応用編
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／**その他光沢**	⇒応用編
記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	**L 判**／ 2L 判／ハガキ／ A4 ／ A3	⇒応用編
プリントサイズ	記録紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm ／ 9x13cm ／ 10x15cm ／ 13x18cm ／ 15x20cm ／**用紙全体に印刷**	
明るさ *2	プリントの明るさを調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	⇒応用編
コントラスト *2	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	⇒応用編
画質強調 *2	＜ホワイトバランス＞ 画像の白色部分の色合いを調整します。	する：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 **しない**	⇒応用編
	＜シャープネス＞ 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。		
	＜カラー調整＞ 画像のカラー全体の濃度を調整します。		
画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	**する**／しない	⇒応用編
ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	**する**／しない	⇒応用編
日付印刷 *1	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／**しない**	⇒応用編
設定を保持する	変更した設定を保持します。	ー	⇒応用編
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	⇒応用編

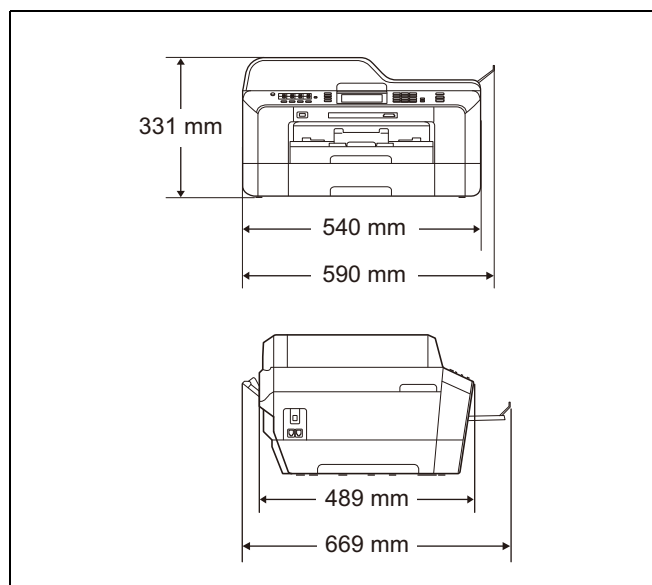
*1 DPOF 印刷の場合は表示されません。

*2 こだわりプリントでは、【トリミング】を設定した場合のみ調整可能です。

インデックスシートをプリントするときに【印刷設定】で確認および設定できる内容は以下のとおりです。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢	⇒応用編

仕様

外形寸法

※3.3 インチワイドカラー液晶ディスプレー搭載。

※外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

ファクス

形式	ITU-T Super Group 3
圧縮方式	MH/MR/MMR/JPEG
電送時間 [*1]	約 3 秒
通信速度	33600/31200/28800/26400/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400bps （自動切換）
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時 幅：最大 297mm 長さ：最大 431.8mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：最大 297mm 長さ：最大 431.8mm
記録紙サイズ	A4/B4/A3
最大有効読取幅 [*2]	288mm
最大有効読取領域（両面送信時）	ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：208mm 長さ：349.6mm
最大有効記録幅	291mm
記録方式	インクジェット式
読取方式	W-CIS 方式
ハーフトーン	256 階調
走査線密度	主走査：8 ドット /mm 副走査（モノクロ時） • 標準：3.85 本 /mm • ファイン / 写真：7.7 本 /mm • スーパーファイン：15.4 本 /mm 副走査（カラー時） • 標準：7.7 本 /mm • ファイン：7.7 本 /mm • 「写真」「スーパーファイン」なし
適用回線	一般電話回線、ファクシミリ通信網（16Hz のみ対応）
メモリー記憶枚数 [*3]	約 400 枚

[*1] A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で高速モード（33600bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

[*2] A3 サイズの原稿を使用し、A3 記録が可能な相手機種の場合の最大有効読取幅です。

[*3] A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

コピー速度 ESAT (ISO/IEC 24735 準拠)	モノクロ：6ipm カラー：6ipm （測定環境等の詳細は、弊社ホームページの製品情報ページをご確認ください）
拡大縮小	25 ～ 400 （%）
印刷解像度	• モノクロ： 最大 1200（主走査） × 1200（副走査） dpi • カラー： 最大 1200（主走査） × 1200（副走査） dpi

電源その他

使用環境	温度：10 ～ 35 ℃、湿度：20 ～ 80% ※印刷品質のためには、20 ～ 33 ℃でご利用になることをお勧めします。
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力 [*1]	コピー時：約 28W[*2] 待機時：約 8W スリープモード時：約 4W 電源 OFF 時：約 0.3W
稼働音	動作時：50dB(A) 以下 ※お使いの機能により数値は変わります。
メモリー容量	192MB
本体重量	18.5kg ※インクカートリッジを含む

[*1] 全モード USB 接続時
[*2] ADF 使用、片面印字・片面読取、画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン

プリンター＆スキャナー

インターフェイス	USB2.0 ハイスピードインターフェイス対応 有線 LAN（10BASE-T/100BASE-TX）/ 無線 LAN（IEEE 802.11b/g/n） 対応
印刷方式	インクジェット式
印刷解像度	最大 1200（主走査） × 6000（副走査） dpi
プリント速度 ESAT (ISO/IEC 24734 準拠)	モノクロ：12ipm カラー：10ipm （測定環境等の詳細は、弊社ホームページの製品情報ページをご確認ください）
スキャナー解像度	光学解像度 原稿台ガラス使用時： 最大 2400（主走査） dpi × 2400（副走査） dpi ADF（自動原稿送り装置） 使用時： • 片面スキャン 最大 2400（主走査） dpi × 1200（副走査） dpi • 両面スキャン 最大 600（主走査） dpi × 600（副走査） dpi

フォトメディアキャプチャ

対応メディア	• メモリースティック™/ メモリースティック PRO™/ メモリースティック デュオ™/ メモリースティック PRO デュオ™/ メモリースティック マイクロ™ (M2™) メモリースティック マイクロ™ (M2™) を本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • SD メモリーカード / SDHC メモリーカード / miniSD カード / microSD カード / miniSDHC カード / microSDHC カード miniSD カード /microSD カード / miniSDHC カード /microSDHC カードを本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • マルチメディアカード / マルチメディアカード plus/ マルチメディアカード mobile マルチメディアカード mobile を本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • USB フラッシュメモリー ※MagicGate™ の音楽データには対応していません。 ※著作権保護機能には対応していません。
メディアファイルフォーマット	DPOF 形式、EXIF 形式、DCF 形式
対応画ファイルフォーマット	デジカメプリント JPEG 形式 拡張子が「.JPG」のファイルに限ります。 プログレッシブ JPEG には対応していません。 動画プリント • AVI 形式の MotionJPEG • MOV 形式の MotionJPEG ファイルとフォルダーをあわせて 999 個までの対応です。 5 階層以上のフォルダーには対応していません。 スキャン to メディア カラー：JPEG 形式、PDF 形式 モノクロ：TIFF 形式、PDF 形式

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		サポートしている機能	インターフェイス	CPU/システムメモリー	必要なメモリー	推奨メモリー	必要なディスク容量	
							ドライバー	その他のソフトウェア
Windows®*1	Windows® 2000 Professional	プリント、PC-FAX*4、スキャン、リムーバブルディスク*5	USB、10/100Base-TX（イーサネット）、無線 LAN（IEEE 802.11b/g/n）	Intel® Pentium® II プロセッサ相当	64 MB	256 MB	150 MB	500 MB
	Windows® XP Home*2 Windows® XP Professional*2				128 MB			
	Windows® XP Professional x64 Edition*2			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）	256 MB	512 MB		
	Windows Vista®*2			Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当 64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）	512 MB	1 GB	500 MB	1.2 GB
	Windows® 7*2				1 GB（32 ビット） 2 GB（64 ビット）	1 GB（32 ビット） 2 GB（64 ビット）	650 MB	
	Windows Server® 2003（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）	プリント	10/100Base-TX（イーサネット）、無線 LAN（IEEE 802.11b/g/n）	Intel® Pentium® III プロセッサ相当	256 MB	512 MB	50 MB	なし
	Windows Server® 2003 x64 Edition（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）				
	Windows Server® 2003 R2（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			Intel® Pentium® III プロセッサ相当				
	Windows Server® 2003 R2 x64 Edition（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）	512 MB	1 GB		
	Windows Server® 2008（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当 64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）		2 GB		
	Windows Server® 2008 R2（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）				
Macintosh	Mac OS X 10.4.11、10.5.x	プリント、PC-FAX 送信*4、スキャン、リムーバブルディスク*5	USB*3、10/100Base-TX（イーサネット）、無線 LAN（IEEE 802.11b/g/n）	PowerPC G4/G5 Intel® Core™ プロセッサ	512 MB	1 GB	80 MB	400 MB
	Mac OS X 10.6.x			Intel® Core™ プロセッサ	1 GB	2 GB		

*1 Microsoft® Internet Explorer® 6 以上が必要です。
*2 WIA を使ったスキャンは、最大 1200x1200dpi の解像度に対応しています。スキャナーユーティリティーを使用すれば、最大 19200x19200dpi の解像度に対応できます。
*3 サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
*4 PC-FAX はモノクロのみ対応しています。
*5 リムーバブルディスクはフォトメディアキャプチャの機能です。

- 最新のドライバーは http://solutions.brother.co.jp/ からダウンロードできます。
- ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

索引

数字

2 ページ印刷がうまくできない 128
2 枚に分かれて印刷される（ファクス受信）........ 122

A

A3/B4 横目あんしん給紙 47
AC 電源コード 18
ADF ガイド 18
ADF カバー 18
ADF からファクス 52
ADF 原稿ストッパー 18
ADF 原稿トレイ 18
ADF でスキャン時に黒い縦線 129
ADF に原稿をセットする 49
ADF のトラブル 123
ADF（自動原稿送り装置）..................................... 18
Adobe® Illustrator® で印刷できない 129, 130
ADSL のトラブル 119

B

BRUSB への書き込みエラー 129

C

ControlCenter 15
CPU 169

D

DPOF 81

F

FaceFilter Studio 15

I

innobella 179
ISDN のトラブル 118

L

LAN ケーブル差し込み口 19

M

Macintosh 169
Macintosh 使用時のトラブル 130
microSD カード 77
miniSD カード 77

N

Nin1 コピーボタン 20

O

OHP フィルム 33
OS 169

P

PBX 69
PBX 経由でファクス受信できない 122
PictBridge 82
PictBridge ケーブル差し込み口 18
PictBridge のトラブル 129
Presto! PageManager のお問い合わせ .... 裏表紙

S

SD メモリーカード 77

T

TWAIN エラー 129

U

USBxxx への書き込みエラー 129
USB ケーブル差し込み口 19
USB フラッシュメモリー 77
USB フラッシュメモリー差し込み口 18, 77
USB フラッシュメモリーのアクセス状況 78
USB フラッシュメモリーのセット / 取り出し 77

W

Windows® 169
Windows® 使用時のトラブル 129

あ

明るすぎる（印刷）..126
アクセス状況 78
アナログポートに 1 ～ 2 回おきにしか着信しない
（ISDN）...118
アフターサービスのご案内 .... 裏表紙
安心通信モード 133

い

イノベラ 179
インクカートリッジのご注文 181
インクカートリッジの廃棄 98
インクカートリッジを交換 97
インクが乾くのに時間がかかる 128
インクがにじむ（印刷）........ 127
インクカバー 18
インク残量 99
インクジェット紙 33
インクボタンの機能 159
印刷位置チェック 103
印刷が明るすぎる / 暗すぎる 126
印刷が汚い 100, 128
印刷が極端に遅い 126
印刷が斜めになる 125
印刷できない 124
印刷できない（Adobe® Illustrator®）........ 129, 130
印刷できない（Macintosh）........ 130
印刷テスト 102
印刷に規則的な横縞が出る 126
印刷の端や中央がかすむ 127
印刷の汚れ、しみ 127
印刷範囲 35
印刷品質チェック 102
印刷面の白い筋 127
インデックスカード 33

え

エラーメッセージ 110

お

お客様相談窓口 .... 裏表紙
遅い（印刷）........ 126
お手入れ 90
おまかせ一括スキャン 86
オンフックボタン 20
音量 31

か

カードスロット 18
外出先から操作できない 119
回線種別設定 24
回線接続端子 18
各部の名称とはたらき 18
画質が悪い 91
画質強調が働かない（デジカメプリント）........ 126
画像が明るすぎる / 暗すぎる（印刷）........ 126
画像の周りに余白ができる（スキャン）........ 129
画像の乱れ（ファクス通信）........ 121
紙が詰まったときは（記録紙）........ 92, 104
紙が詰まったときは（原稿）........ 108
紙づまり解除カバー 18
画面の操作 22
画面の文字が読みにくい 130
カラーコピー 73
カラースタートボタン 20
カラーファクスがモノクロ印刷される 127
カラーファクス受信ができない 120
ガラス面読取サイズ 85
かんたんプリント 80
関連製品のご案内 179

き

機能案内 143
機能一覧 152
機能設定リセット 136
キャッチホンのトラブル 121
給紙ローラーの清掃 92
強制リセット 132
記録紙 32
記録紙うら面の汚れ 101
記録紙が重なって送られる 124
記録紙がしわになる（印刷後）........ 127
記録紙がそろわない 130
記録紙下端の汚れ 130
記録紙が出てこない（コピー / ファクス受信）........ 121
記録紙が白紙で排出される（ファクス受信）........ 121
記録紙ストッパー 18
記録紙トレイ 1 .... 18, 19
記録紙トレイ 2 .... 18, 19
記録紙トレイ設定ボタン 20
記録紙トレイの設定 45
記録紙トレイの選択（コピー）........ 46
記録紙トレイの選択（ファクス）........ 46
記録紙のセット 36, 40, 43

く

暗すぎる（印刷）........ 126
クリーニング（プリンター内部）........ 91, 92
クリーニング（プリントヘッド）........ 100
黒い縦線が出る 91
黒い縦線（ADF 使用でスキャン）........ 129
黒い縦線（コピー、ファクス）........ 121, 122

け

原稿 48
原稿ガイド 19
原稿が送り込まれない（ADF 使用）........ 123
原稿が斜めになる（ADF 使用）........ 123
原稿台カバー 19
原稿台ガラス 19
原稿のセット 48
原稿の読み取り範囲 48

こ

光沢紙 33
光沢紙が送り込まれない（印刷）........ 125
光沢紙が送り込まれない（コピー / ファクス受信）........ 123
構内交換機経由でファクス受信できない 122

コールセンター .... 裏表紙
故障 118
コピー 73
コピーに関するご注意 72
コピーの汚れ 122
コピーボタンの機能 162

さ

再呼出回数 30

し

自動印刷する 59
自動受信 55
自動送信 52, 53, 54
自動的に本製品が動き出す（操作なしで）................................ 130
シフトボタン 20
写真や動画の画像の一部がプリントされない 129
写真をプリントする（PictBridge）................................ 83
写真をプリントする（デジカメプリント）................................ 80
写真を見る 80
受信したファクスの汚れ 122
受信できない（構内交換機（PBX）接続）................................ 122
受信モード 27
手動受信 55
仕様 166
使用環境 169
使用済み電池の届出 147
初期状態に戻す 136
シリアルナンバー 143
白い筋（印刷面）................................ 127
しわ（印刷後）................................ 127
親切受信 56

す

推奨紙 34
スキャナー（ADF 読み取り部）................................ 19
スキャナー（読み取り部）の清掃 91
スキャン to メディア 84
スキャン画質 84
スキャンのトラブル 129
スキャンボタンの機能 161
筋（印刷面）................................ 127
スタートボタン 20
スピーカー音量 31
すべての設定を元に戻す 138

せ

清掃 90
製品情報 143
接続エラー 129
設定内容リスト 143
セットできる記録紙 33
全設定リセット 138
専用紙 34

そ

操作パネル 20
送受信できない 119
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 26
送信できない（IP 網使用）................................ 120
送信できない（電話帳）................................ 120
送信のキャンセル 52, 53
送信待ちファクス 63
外付け電話端子 18

た

ダイヤルイン 122
ダイヤル回線 24
ダイヤルトーン設定 134
ダイヤルボタン 20
ダイレクトクラブ 181
他機器の呼出ベルが鳴る（ISDN）................................ 119
タッチパネル 22

ち

縮んでいる（ファクス受信）................................ 121
着信音 30, 31
着信音が鳴らない（ISDN）................................ 118
着信音量 31
着信音を鳴らさず受信 27
中央がかすむ（印刷）................................ 127
注文 181

つ

通信エラーが増えた（ADSL）................................ 119
通信エラーの解消（安心通信モード）................................ 133
通信待ち一覧 63
つながらない（ISDN）................................ 118

て

定期メンテナンス 100
停止 / 終了ボタン 20
停電 142
手差しトレイ 18
デジカメからプリントできない（PictBridge）................................ 129
デジカメプリント 80
デジカメプリントボタンの機能 164
デュアルアクセス 54
電源オン / オフ 23
電源が入らない 130
電源ボタン 23
電話がかけられない 24
電話帳 66
電話帳 & ファクスリセット 137
電話帳からファクス送信できない 120
電話帳登録 68
電話帳ボタンの機能 159
電話帳を消去する 137

電話番号が表示されない
（ナンバー・ディスプレイ） 118

と

動画の画像をプリントする 80
動画の画像を見る 80
特別回線対応 133
時計セット 25
トレイの種類 35

な

斜めに印刷される 125
斜めに原稿が送られる 123
ナンバープレフィックス 135
ナンバー・ディスプレイのトラブル 118

に

にじみ（印刷） 127

ね

ネットワーク設定リスト 143
ネットワーク設定リセット 136
ネットワークリモート接続の失敗 129

は

廃棄（インクカートリッジ） 98
排紙ローラーの清掃 94
はがき 33
白紙が出る（ファクス受信） 121
端がかすむ（印刷） 127
発信元登録 26

ひ

ビジー状態 129
日付と時刻の設定 25

ふ

ファクス自動送信 52, 53, 54
ファクス受信 55
ファクス受信できない（構内交換機経由） 122
ファクス受信のトラブル 120, 122
ファクス専用に設定 27
ファクス送受信できない 119
ファクス送信できない（IP 網使用） 120
ファクス送信できない（電話帳） 120
ファクス通信できない（ISDN） 119
ファクスに印刷される送信側の名前と
ファクス番号を登録する / 削除する 26
ファクスボタンの機能 160
ファクスを印刷する 58, 59
ファクスを消去する 58, 59
ファクスをメモリーで受信する 61
ファクスのトラブル 119
封筒 33
フォトメディアキャプチャ 76
複数枚送信できない 120
普通紙 33
プッシュ回線 24
プリントのトラブル 124
プリントヘッド 100

へ

ヘッドクリーニング 100
ベル（呼び出し回数） 30
ベル（着信音） 31

ほ

ポストカード 33
ボタン確認音量 31
本製品が表示されない（Macintosh） 130
「本製品接続エラー」 129
「本製品はビジー状態です」 129
本体カバー 19
本体カバーサポート 19

ま

待ち受け画面 21
マルチメディアカード 77

み

みるだけ受信 57
みるだけ受信ボタン 20
みるだけ受信ボタンの機能 152

む

無線 LAN レポート 143

め

メディア保存 84
メニューボタンの機能 153
メモリー 169
メモリーカードのアクセス状況 78
メモリーカードのセット / 取り出し 77
メモリーカードのトラブル 129
メモリー受信 61
メモリースティック ™ 77
メモリー代行受信 60
メモリーを消去する 137
メンテナンス 90

も

モードボタン 20

文字が読みにくい（画面） 130
文字の入れかた 150
文字化け、文字欠け、水平方向の線 126
文字や画像のゆがみ 126
モノクロスタートボタン 20

ゆ

ゆがみ（文字や画像） 126
輸送（本製品） 144

よ

用紙に合わせるが機能しない 123
横縞が出る（印刷） 126
横目紙 47
汚れ（印刷） 127
汚れ（記録紙の下端） 123, 127
汚れ（コピー、受信したファクス） 122
汚れ（本製品） 90
呼出回数 30
読み取り範囲 48

り

リサイクル 145
リセット（本製品の強制リセット） 132
リモコンアクセスカード 177
両面ボタン 20
リリースボタン 19
履歴 / ポーズボタン 20
履歴 / ポーズボタンの機能 159
履歴を消去する 137

れ

レポート印刷 143

わ

ワンタッチダイヤルに登録 66
ワンタッチボタン 20

リモコンアクセスカード

外出先から本製品を操作する場合（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「外出先から本製品を操作する」）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キリトリ線>

暗　証　番　号

〇〇〇＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。もう一度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。
3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、受信したファクスはありません。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたら、リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

<キリトリ線>

暗　証　番　号

〇〇〇＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。もう一度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。
3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、受信したファクスはありません。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたら、リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

<キリトリ線>

暗　証　番　号

〇〇〇＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。もう一度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。
3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、受信したファクスはありません。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたら、リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
メモリー受信をOFFにする（※1）		951
ファクス転送の設定		952（※2）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送先番号+＃＃
メモリー受信をONにする		956
ファクスの取り出し		962+転送先番号+＃＃
受信状況のチェック	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電モード	981
	自動切替モード	982
	ファクスモード	983
終了		90

※1：電話呼出やファクス転送の設定も解除されます。
※2：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
メモリー受信をOFFにする（※1）		951
ファクス転送の設定		952（※2）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送先番号+＃＃
メモリー受信をONにする		956
ファクスの取り出し		962+転送先番号+＃＃
受信状況のチェック	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電モード	981
	自動切替モード	982
	ファクスモード	983
終了		90

※1：電話呼出やファクス転送の設定も解除されます。
※2：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
メモリー受信をOFFにする（※1）		951
ファクス転送の設定		952（※2）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送先番号+＃＃
メモリー受信をONにする		956
ファクスの取り出し		962+転送先番号+＃＃
受信状況のチェック	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電モード	981
	自動切替モード	982
	ファクスモード	983
終了		90

※1：電話呼出やファクス転送の設定も解除されます。
※2：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。
名前は、innovation（イノベーション：英語で「革新」）とBella（ベラ：イタリア語で「美しい」）の2つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。
特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。
高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は携帯電話からもご注文いただけます。

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC12BK、LC17BK（大容量）
イエロー（黄）	LC12Y、LC17Y（大容量）
シアン（青）	LC12C、LC17C（大容量）
マゼンタ（赤）	LC12M、LC17M（大容量）
4個パック［ブラック（黒）/イエロー（黄）/シアン（青）/マゼンタ（赤）各1個］	LC12-4PK、LC17-4PK（大容量）
黒2個パック［ブラック（黒）2個］	LC12BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA3（A3）	250 枚入り
		BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA3（A3）	20 枚入り
		BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA3（A3）	25 枚入り
		BP60MA（A4）	25 枚入り

- OHP フィルムは、住友スリーエム社製 OHP フィルム（型番：CG3410）のご使用を推奨します。
- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

消耗品などのご注文について

- 純正消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、インターネット、電話によるご注文も承っております。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 3,000 円以上の場合は全国無料です。
3,000 円未満の場合は 350 円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

< 代引き >・・・ご注文後 2 〜 3 営業日後の商品発送
< お振込み（銀行・郵便）>・・・ご入金確認後 2 〜 3 営業日後の商品発送
※代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。）
※振り込み手数料はお客様負担となります。
< クレジットカード >・・・カード番号確認後 2 〜 3 営業日後の商品発送

ご注文先

ブラザー販売（株）	ダイレクトクラブ
インターネット	http://direct.brother.co.jp/shop/
携帯サイト	右の二次元コードにアクセス ※携帯サイトからのお支払い方法は代金引換のみとなります。
ファクス	052-825-0311
電話	0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時〜 12 時、13 時〜 17 時）
振込先	口座名義：ブラザー販売株式会社　ダイレクトクラブ 銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357 ゆうちょ銀行　振替口座　00860 − 1 − 27600

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

消耗品はブラザー純正品をお使いください

ブラザージャスティオシリーズについて、印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

故障・トラブルかんたん診断（ブラザーサポートナビ 24）

該当するトラブルを選択し進んでいくことで、解決のヒントが見つかります。万が一故障と診断された場合、そのままオンライン修理申込も可能です。

サポート ブラザー　検 索

http://solutions.brother.co.jp/

ブラザーマイポータル

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

050-3786-7712　受付時間：月～金　9:00 ～ 20:00 ／土　9:00 ～ 17:00
日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザー サービス エクスプレス

A3カラー複合機　1年間無償保証

製品ご購入後１年間無償保証いたします。　※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

●コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶48時間以内に故障機の回収。※一部地域を除く
事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
※本製品を修理にお出しいただくときは、本書の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。

●5日以内に修理品を返送。
弊社到着後、3～５日でお客様のお手元へ修理完了品をお返しします。
※お住まいの地域や症状により５日以上かかる可能性もあります。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
※Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。
　ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
　電話 ：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00（土日・祝日を除く）
　テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

● お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
● 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後５年です。（印刷物は２年です）

ブラザー工業株式会社
〒 467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1